

令和2年度

奈良県の教育データ集

奈良県教育委員会

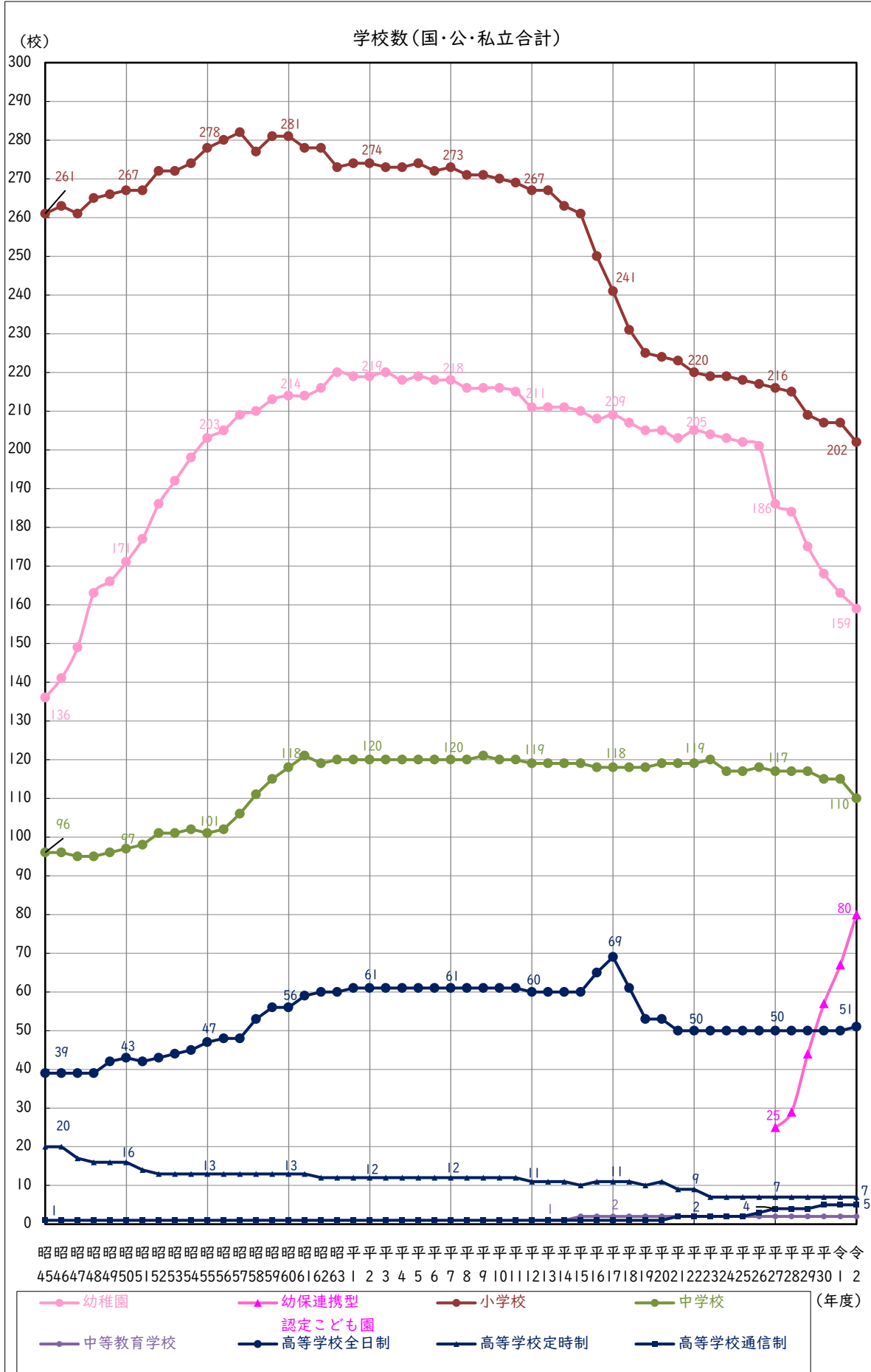
奈良県の教育データ集(グラフ編)

1	学校数	1
	1 学校数の推移	
	2 学級数別の学校数の推移	
2	在籍者数	3
	1 在籍者数の推移	
	2 特別支援学校・学級の在籍者数の推移	
	3 特別支援学校の在籍者数の推移	
	4 特別支援学校の障害種別在籍者数の推移	
	5 学年別児童生徒数	
	6 公立高等学校学科別生徒の構成(全日制)	
	7 年少人口推計	
3	進学率等	10
	1 大学等への進学状況	
	2 高等学校等への進学状況	
4	卒業後の進路	11
	1 高等学校卒業者の進路状況	
	2 中学校卒業者の進路状況	
5	学力・学習等	12
	1 学力状況	
	2 学習状況・家庭での状況	
	3 生活状況・地域での状況等	
	4 規範意識・自分自身に対する意識	
6	体力・体格	16
	1 50M走	
	2 20Mシャトルラン	
	3 持久走	
	4 ボール投げ	
	5 体力合計点	
	6 身長、体重	
7	生徒指導	22
	1 不登校児童生徒数(小学校・中学校)	
	2 小・中学校における学年別不登校児童生徒数等	
	3 高等学校の中途退学者数	
	4 いじめの認知件数等(小学校・中学校・高等学校)	
	5 暴力行為の発生件数(小学校・中学校・高等学校)	
8	教職員等	30
	1 本務教員数の推移	
	2 女性教員の比率の推移	
	3 1学級当たりの児童生徒数の推移	
	4 本務教員一人当たりの児童生徒数の推移	
	5 本務教員の平均年齢の推移	
	6 教員の年齢構成(小学校・中学校・高等学校)	
	7 公立学校教員採用者数の推移	
	8 公立学校教員採用倍率の推移	
9	国際化	38
	1 日本語指導が必要な外国籍児童生徒数	
	2 帰国児童生徒の人数	
	3 外国語指導助手の配置状況	
10	情報化	41
	1 教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数の推移	
	2 普通教室のLAN整備率の推移	
	3 教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数(県内市町村別)	
	4 教員のICT活用指導力の状況(公立学校)	
11	その他	46
	1 図書標準の達成状況(全国)	
	2 図書標準の達成状況(県内市町村別)	

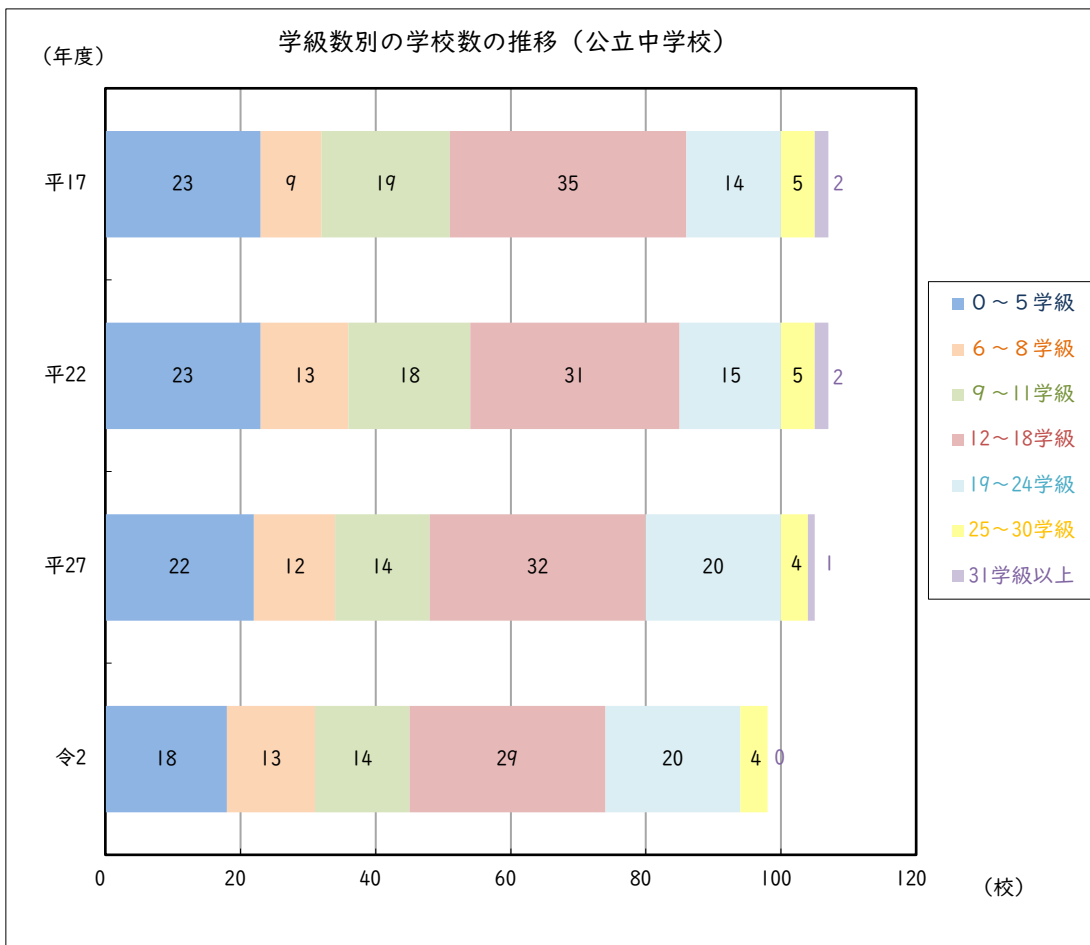
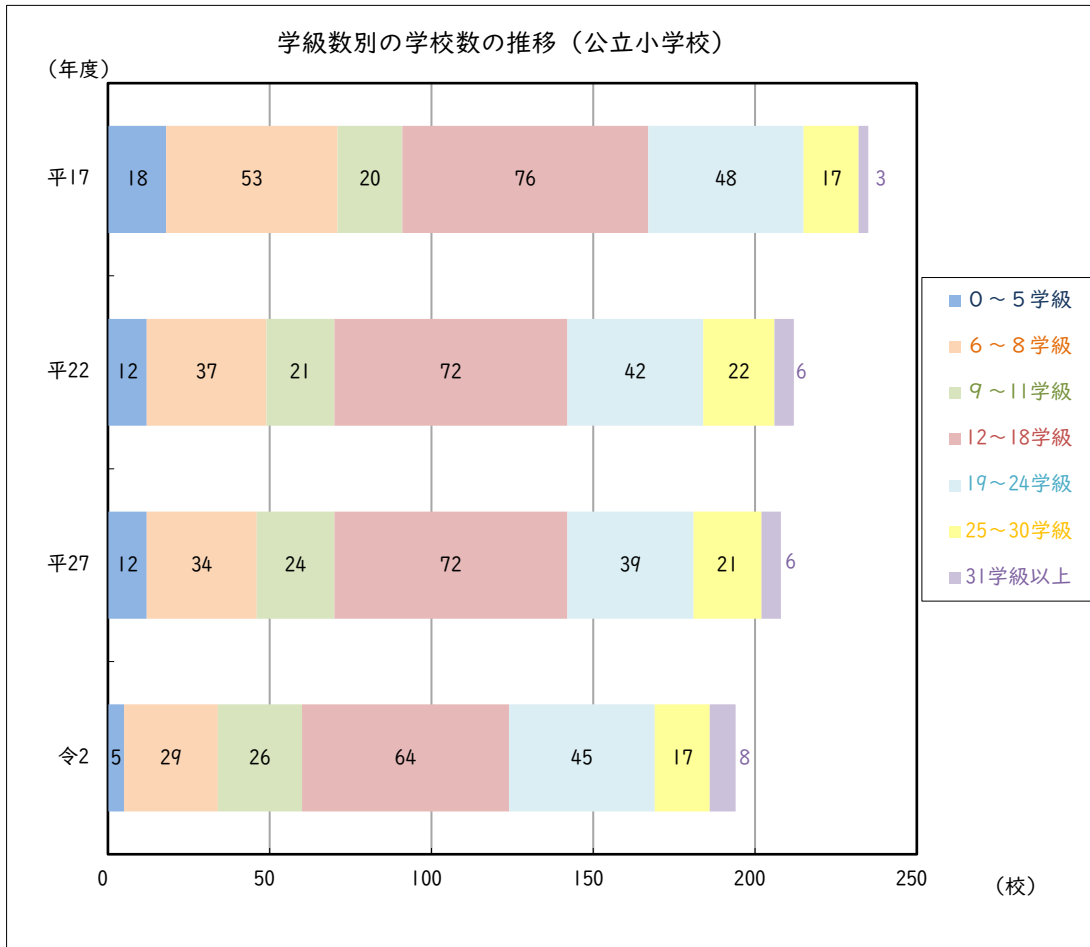
1 学校数

1-1 学校数の推移

過去20年間の学校数は、幼稚園・小学校で大きく減少し、中学校は、ほぼ横ばいである。平成29年度以降、認定こども園は幼稚園等からの移行により増加している。



1-2 学級数別の学校数の推移



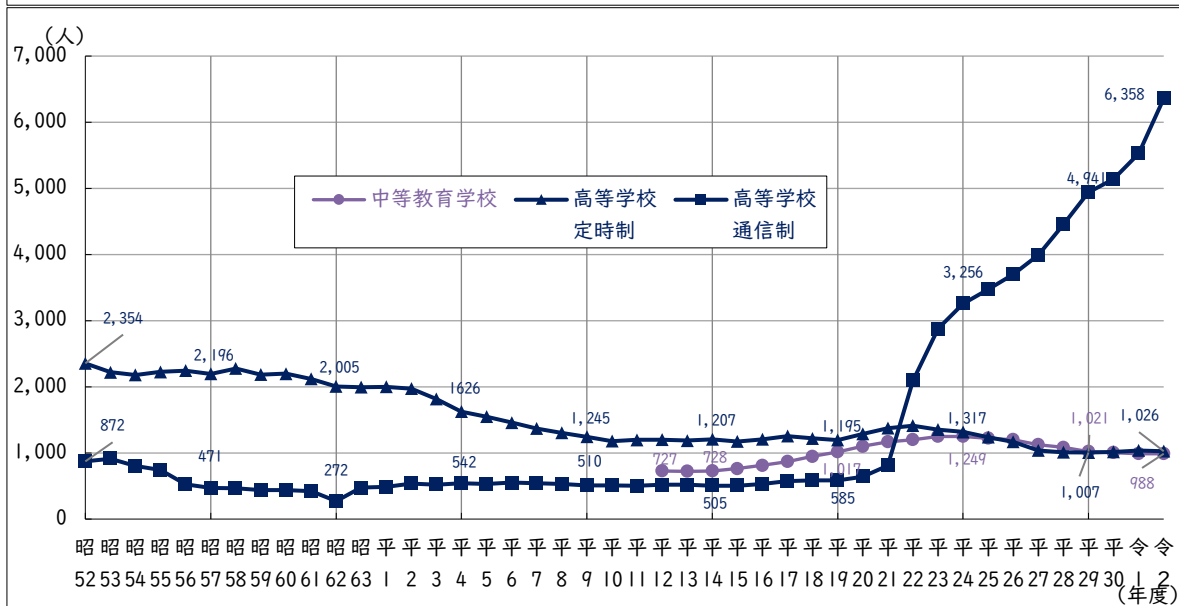
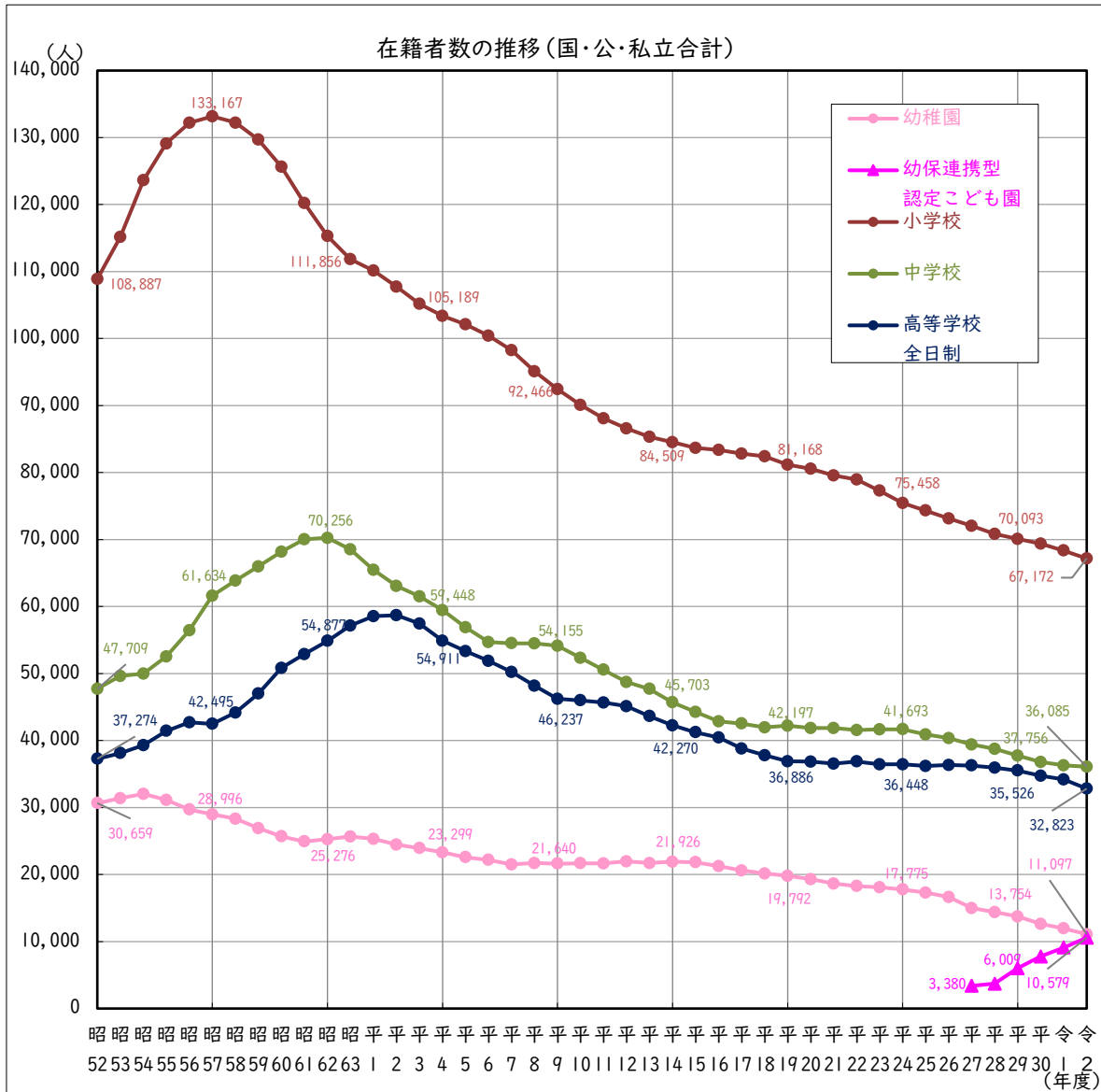
更新:R3.2

(資料)文部科学省「学校基本調査」

2 在籍者数

2-1 在籍者数の推移

過去30年間の在籍者数は、幼稚園・小学校・中学校・高等学校（全日制）ともに減少傾向にある。幼保連携型認定こども園・高等学校（通信制）は、近年増加している。

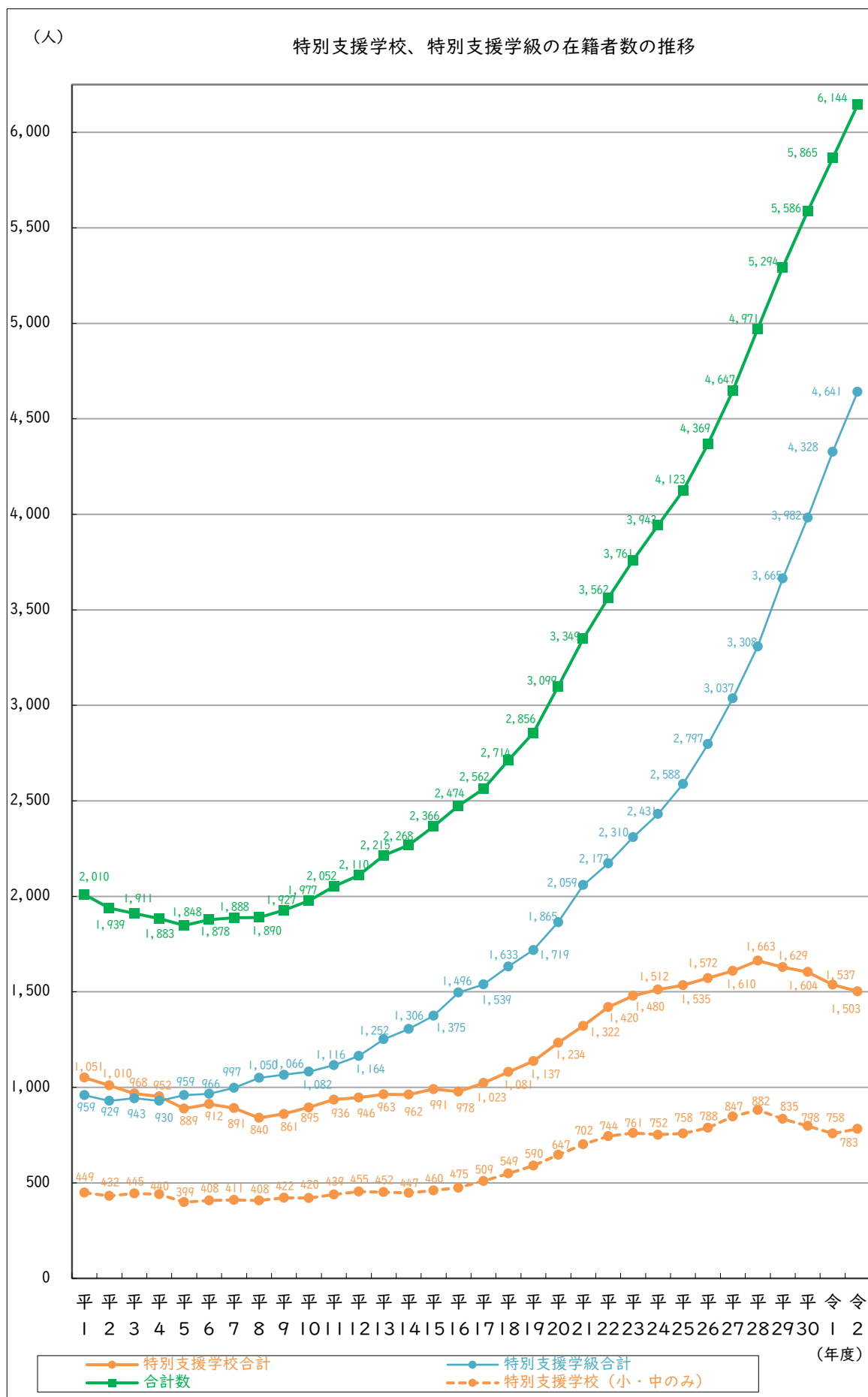


更新:R3.2

(資料)文部科学省「学校基本調査」

2-2 特別支援学校・学級の在籍者数の推移

特別支援学級の在籍者数は増加傾向にあり、10年前と比較すると在籍者数は約2倍になっている。特別支援学校の在籍者数は最近5年間はやや減少している。特別支援学校・特別支援学級の在籍者数の合計は増加傾向にある。

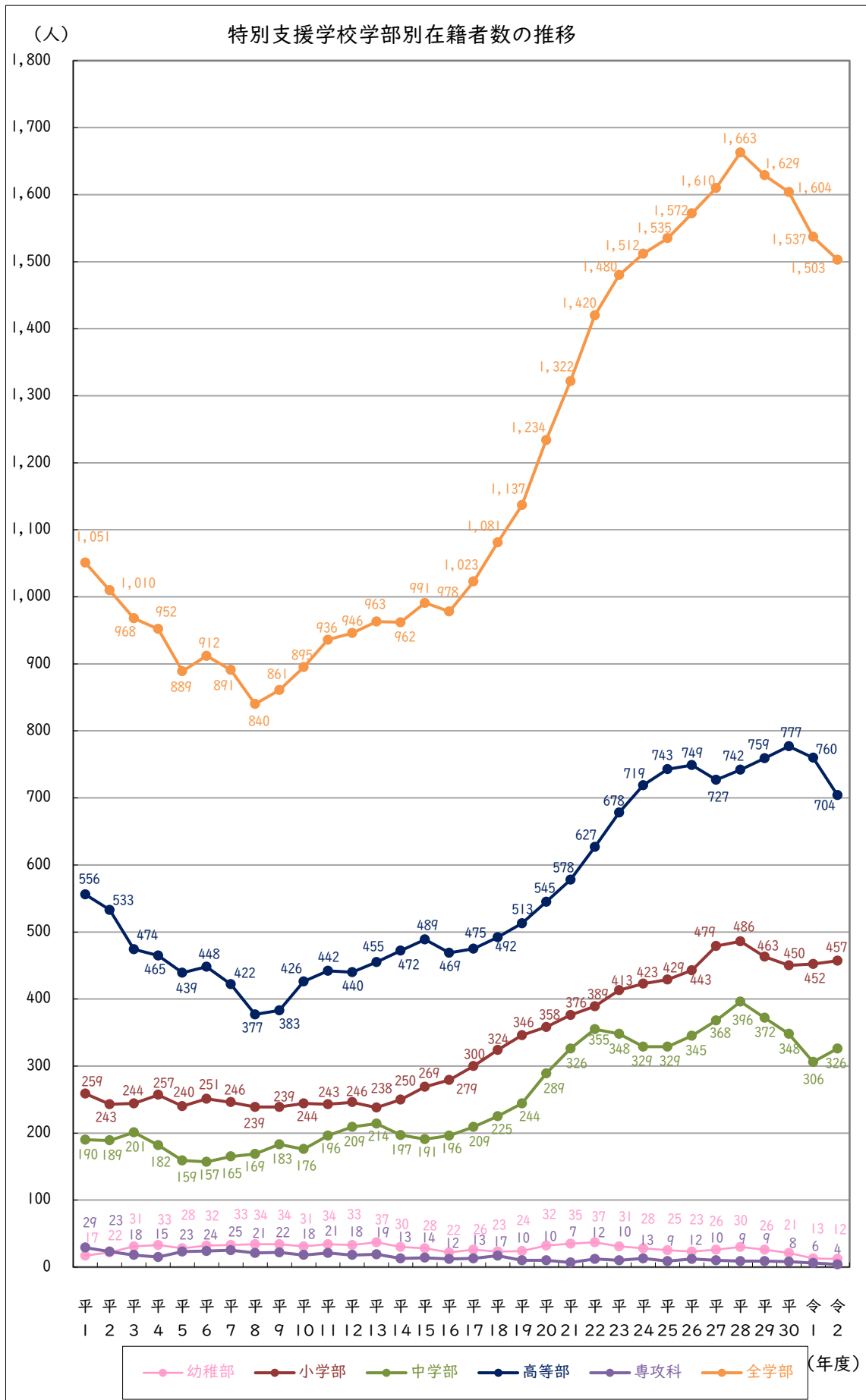


更新：R3.2

(資料) 文部科学省「学校基本調査」

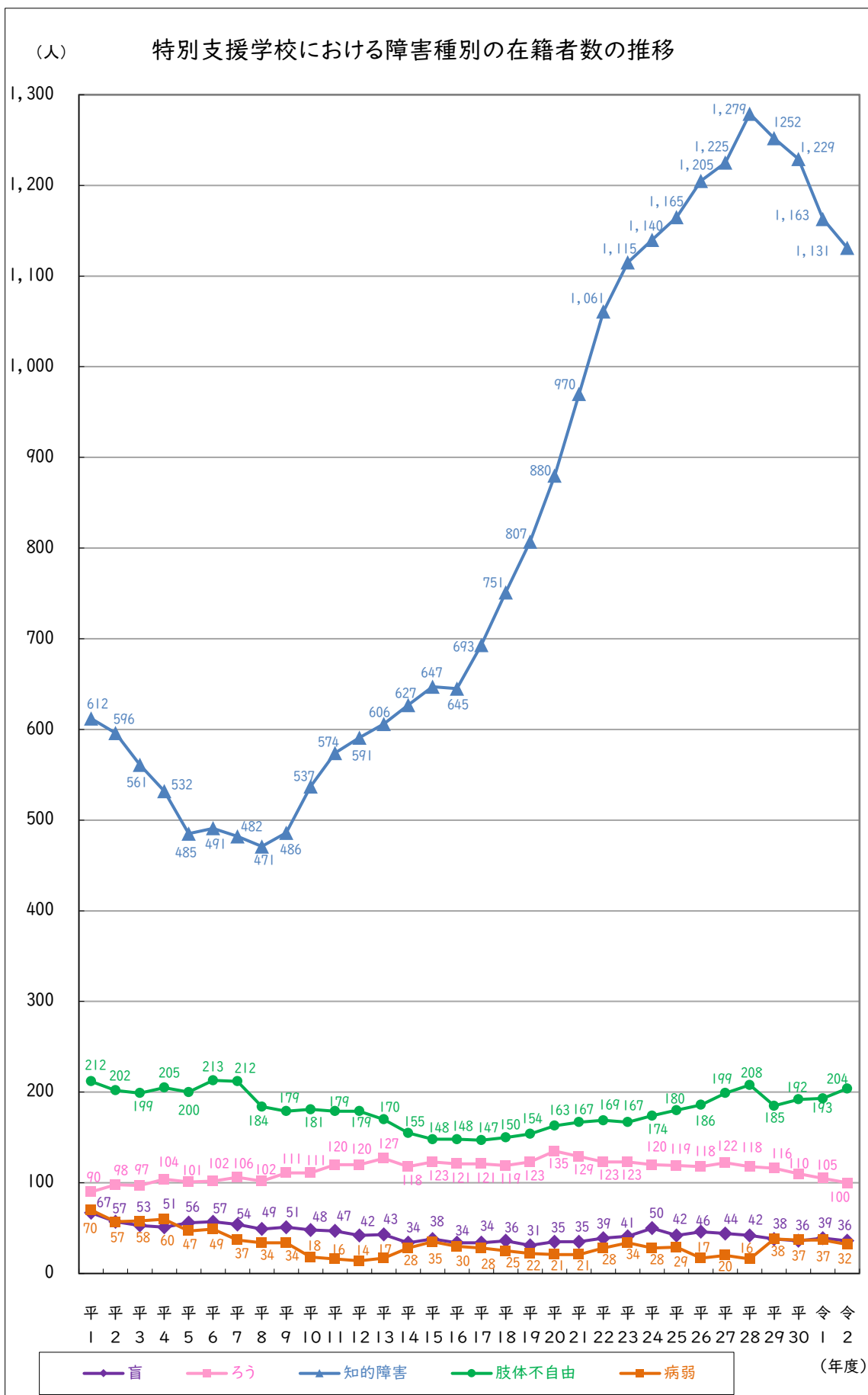
2-3 特別支援学校の在籍者数の推移

平成8年度から20年間の特別支援学校の在籍者数は増加傾向にあったが、最近は減少傾向にある。



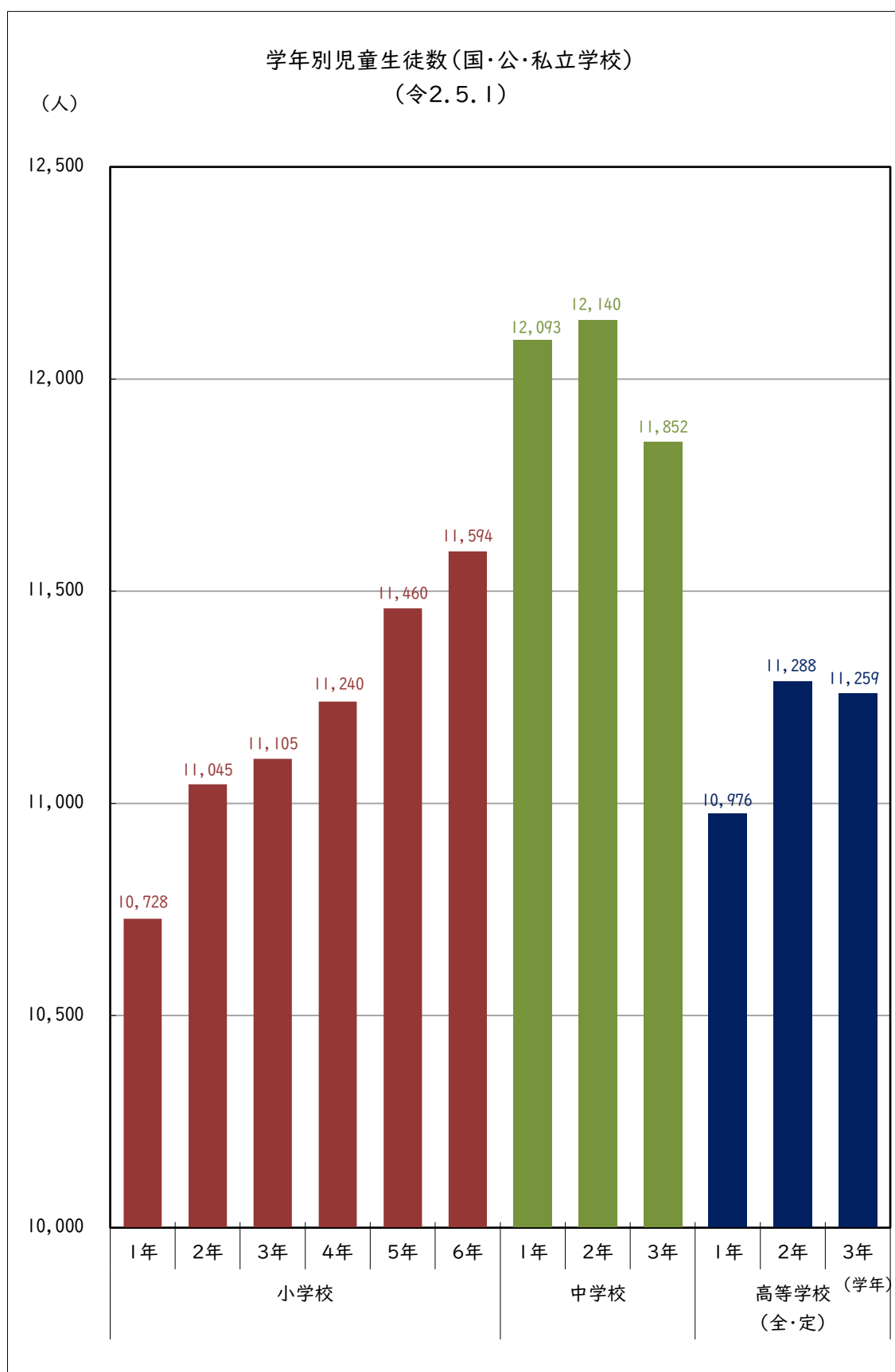
2-4 特別支援学校の障害種別在籍者数の推移

特別支援学校における障害種別在籍者数の推移は、平成16年から約10年間は主として知的障害のある児童生徒数の増加が著しかったが、近年は減少傾向である。



2-5 学年別児童生徒数

学年別児童生徒数は、中学2年生が最も多い。

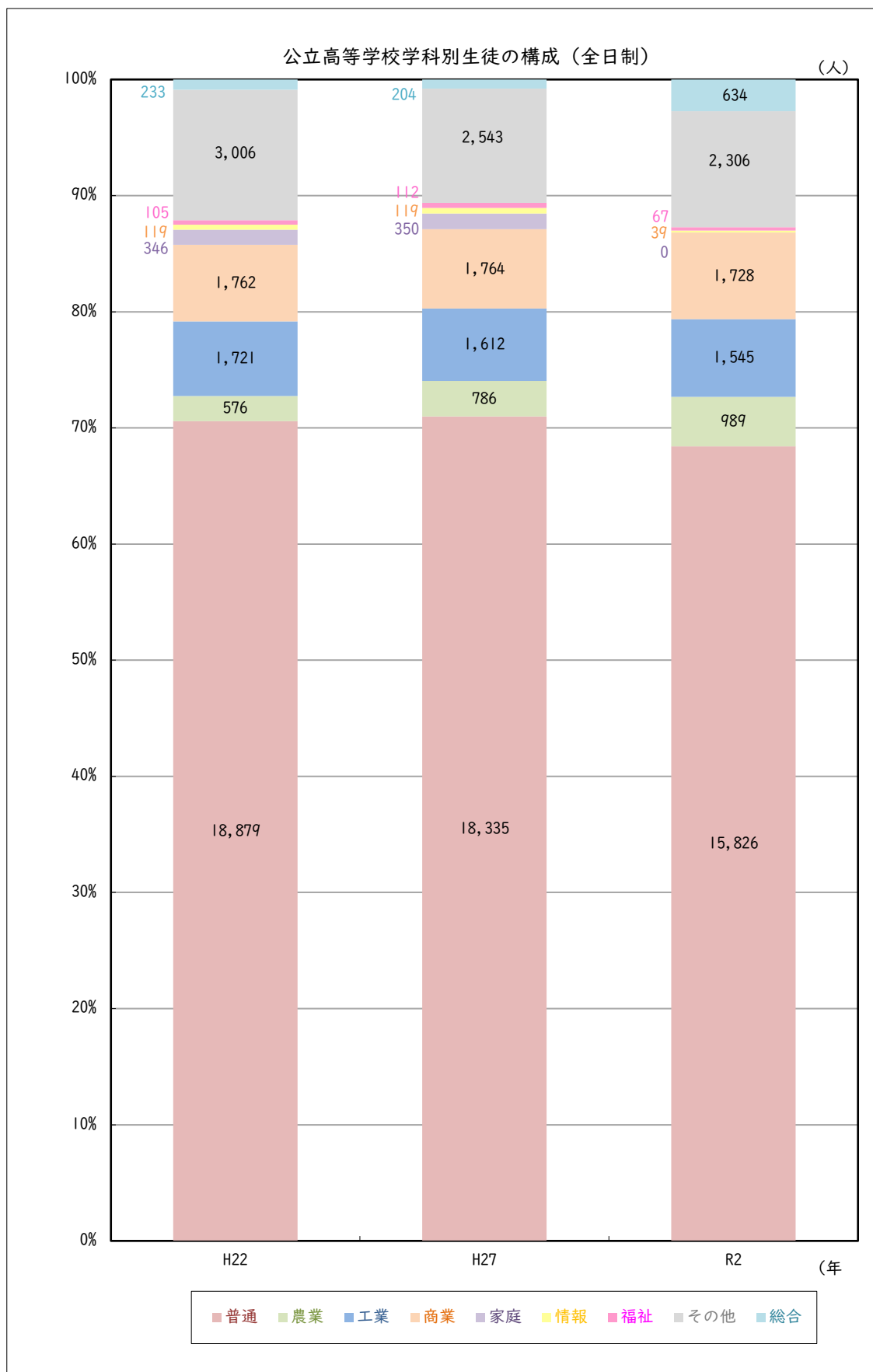


更新:R3.2

(資料)文部科学省「学校基本調査」

2-6 公立高等学校学科別生徒の構成(全日制)

公立高等学校の生徒数の学科別割合は、普通科が約70%前後となっている。

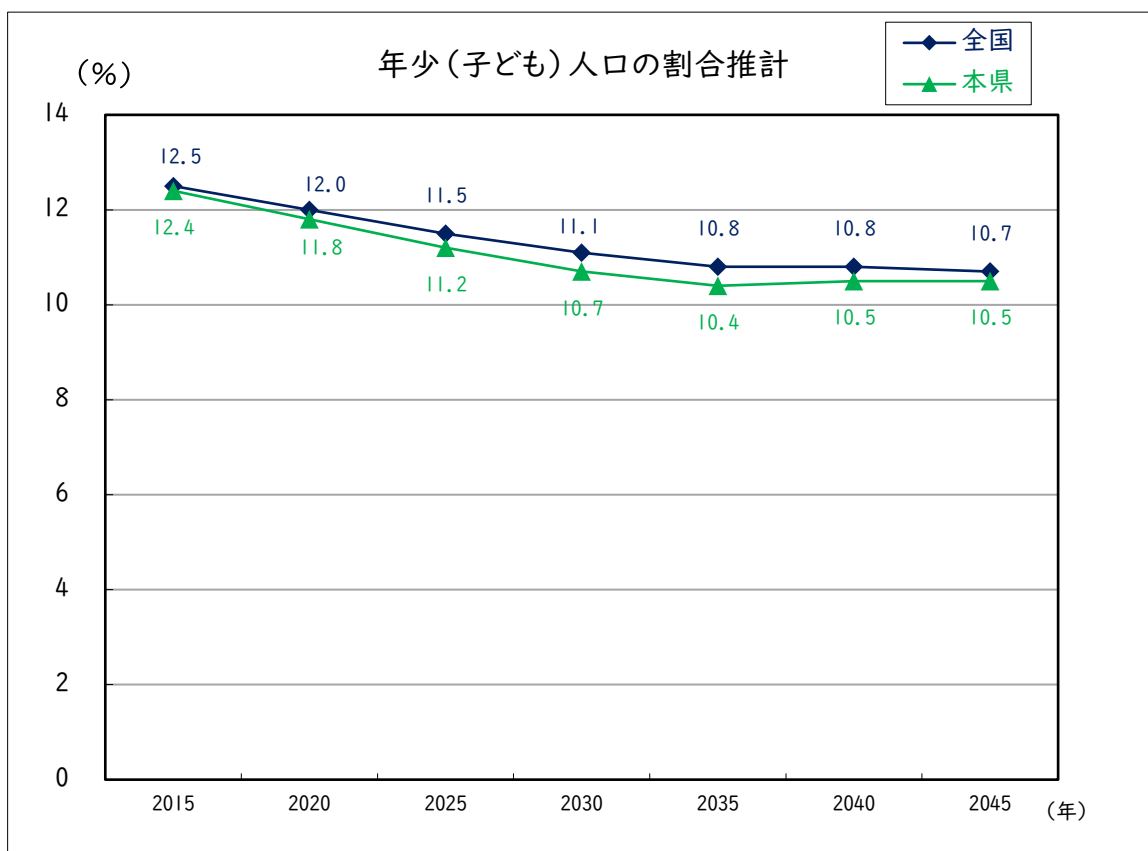
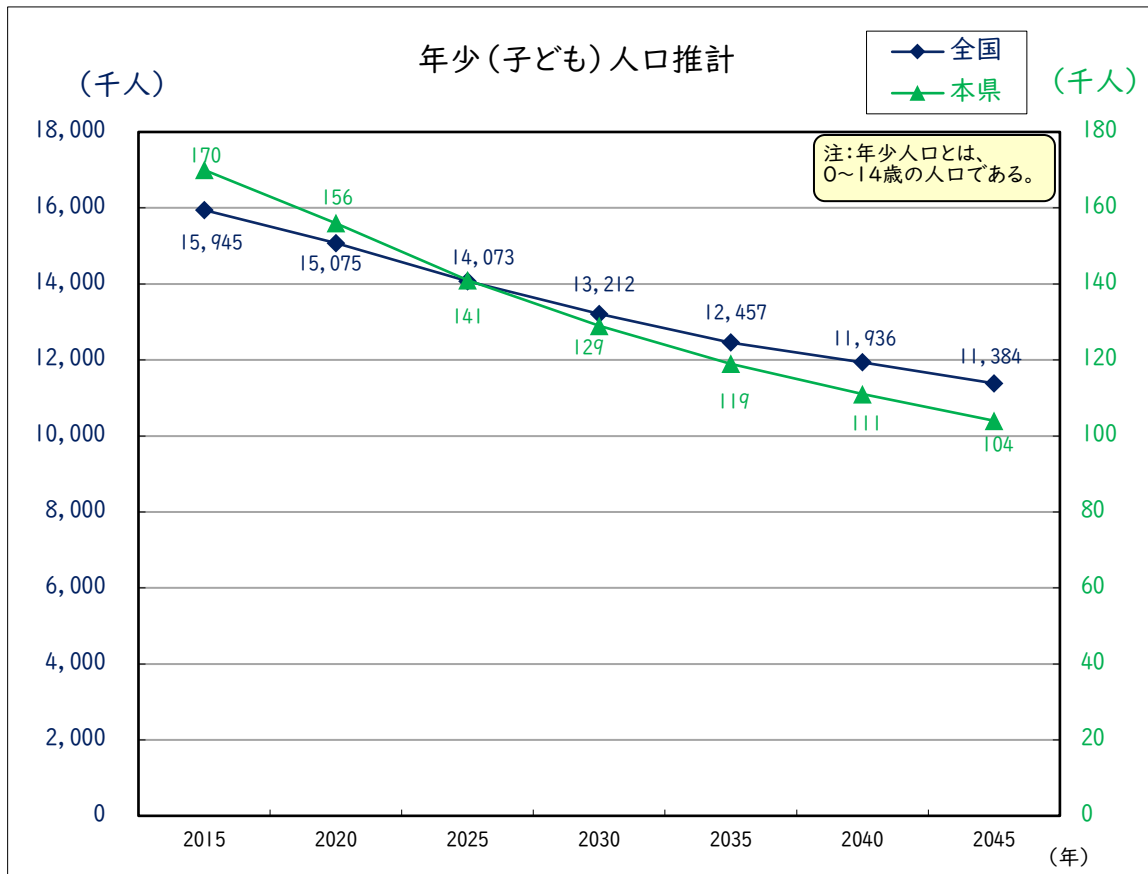


更新:R3.2

(資料)文部科学省「学校基本調査」

2-7 年少人口推計

年少人口は今後減少していき、本県においては、2015年から2045年までの30年間で、4割程度減少すると推計されている。また、年少人口の割合も減少していくと推計されている。



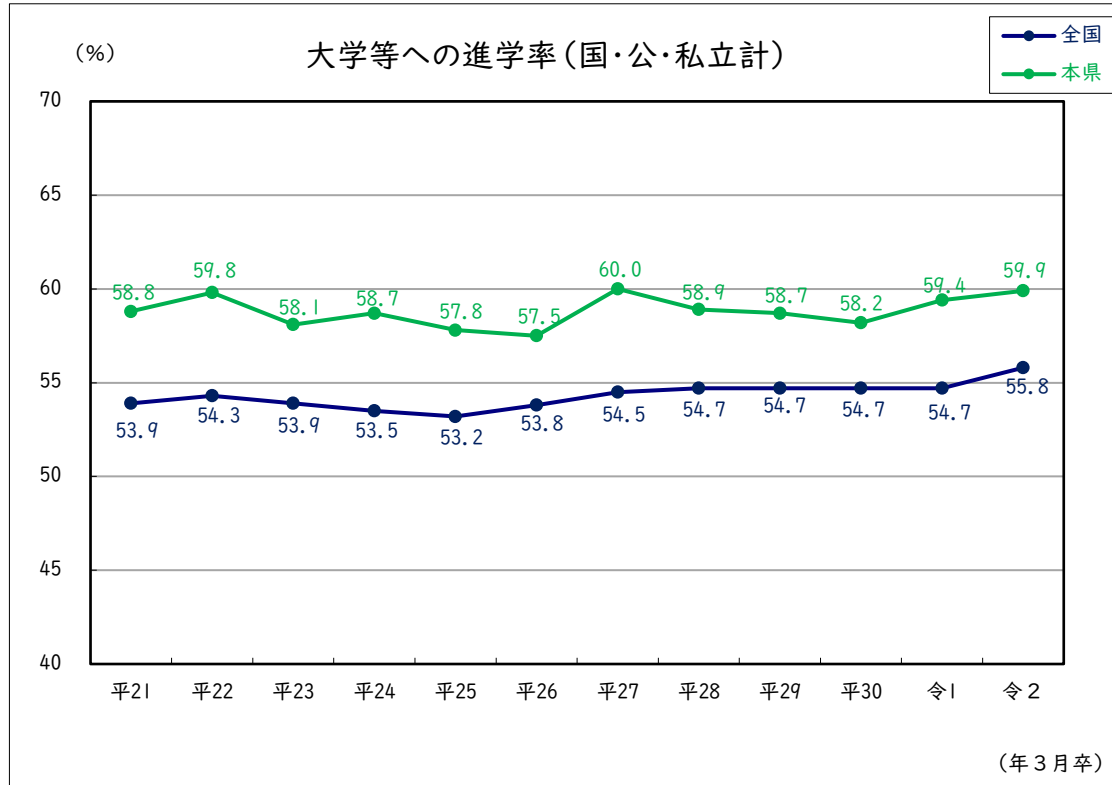
更新:H31.2

(資料) 国立社会保障・人口問題研究所「都道府県の将来推計人口(平成30(2018)年推計)」

3 進学率等

3-1 大学等への進学状況

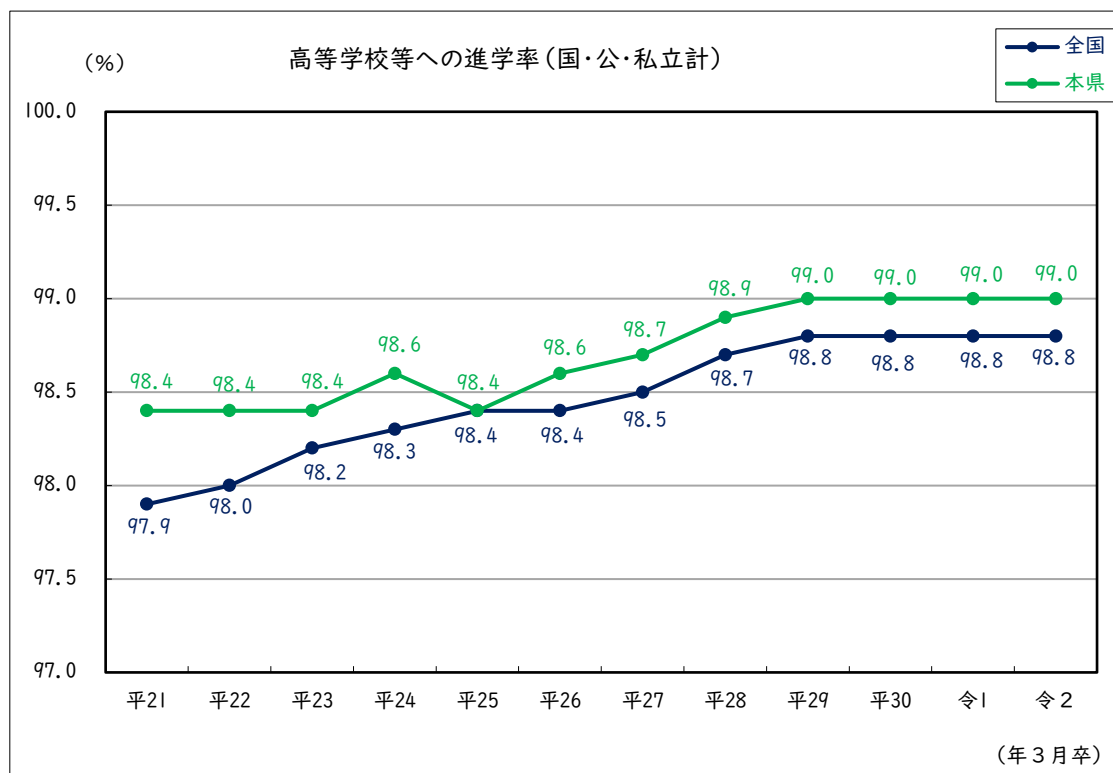
大学等への進学率は全国平均を上回っている。



更新:R3.2

3-2 高等学校等への進学状況

最近4年間の高等学校等への進学率は、99.0%で推移している。



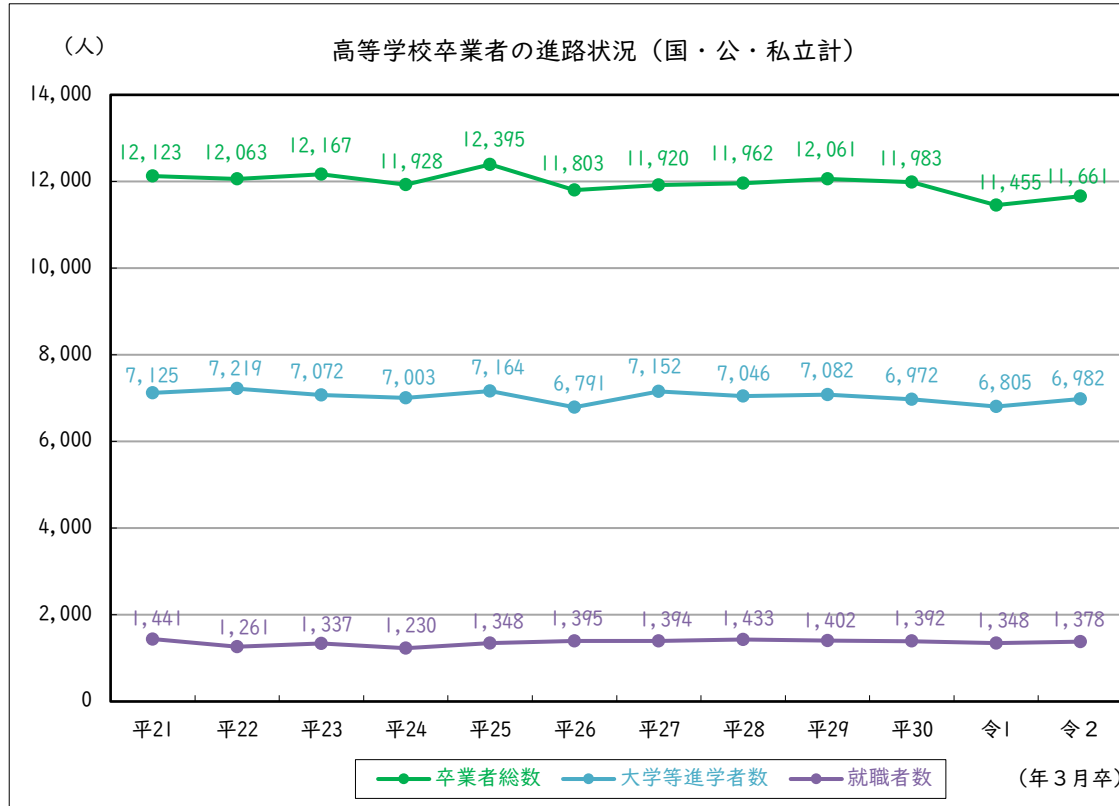
更新:R3.2

(資料)文部科学省「学校基本調査」

4 卒業後の進路

4-1 高等学校卒業者の進路状況

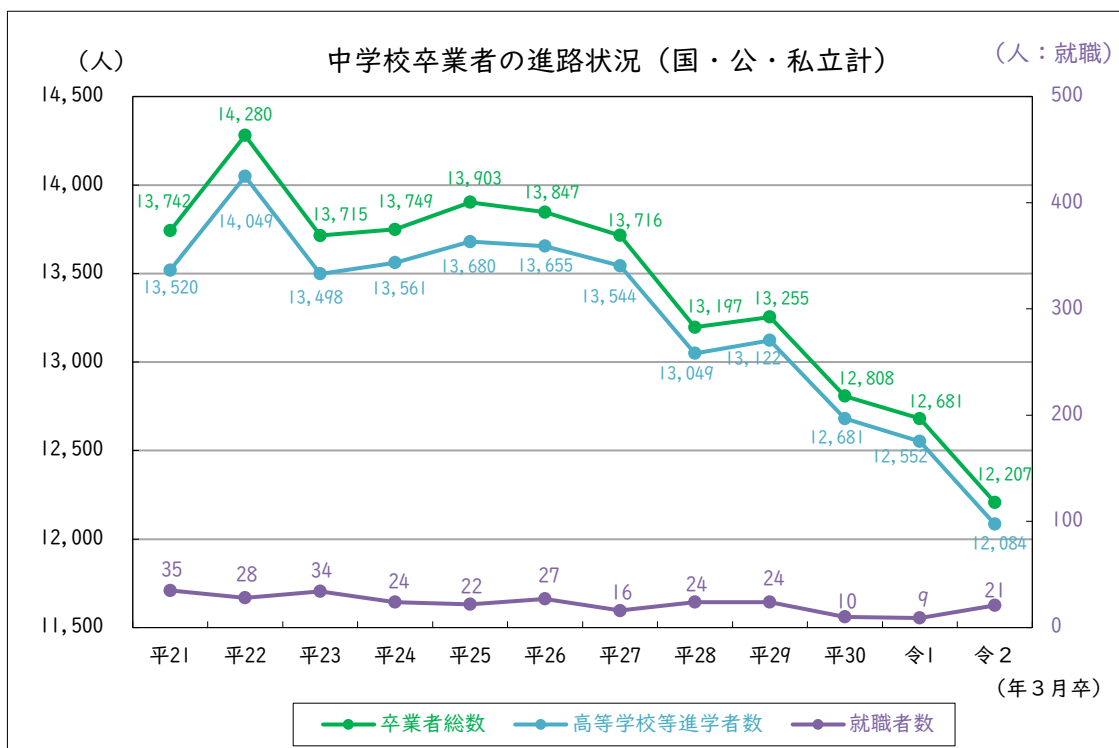
高等学校卒業者の進路状況は、約10年間ほぼ変化がない。



更新:R3.2

4-2 中学校卒業者の進路状況

中学校卒業者総数は、減少傾向にある。



更新:R3.2

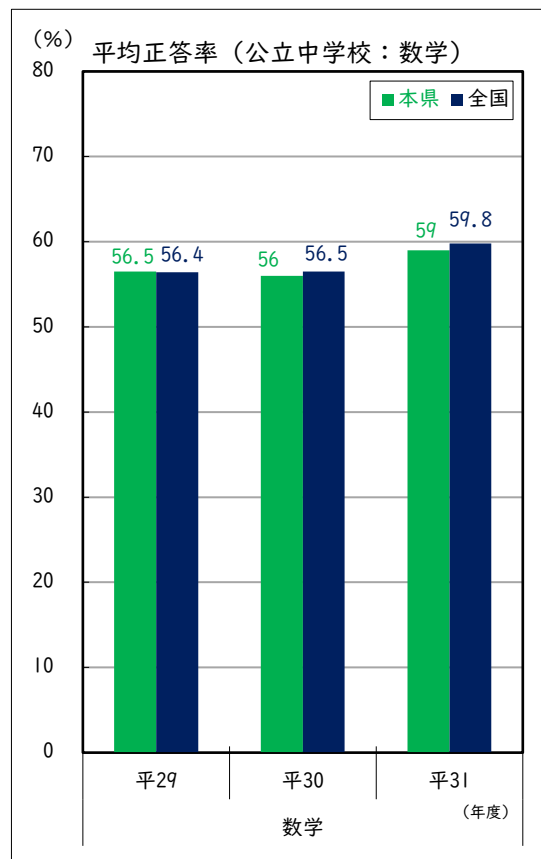
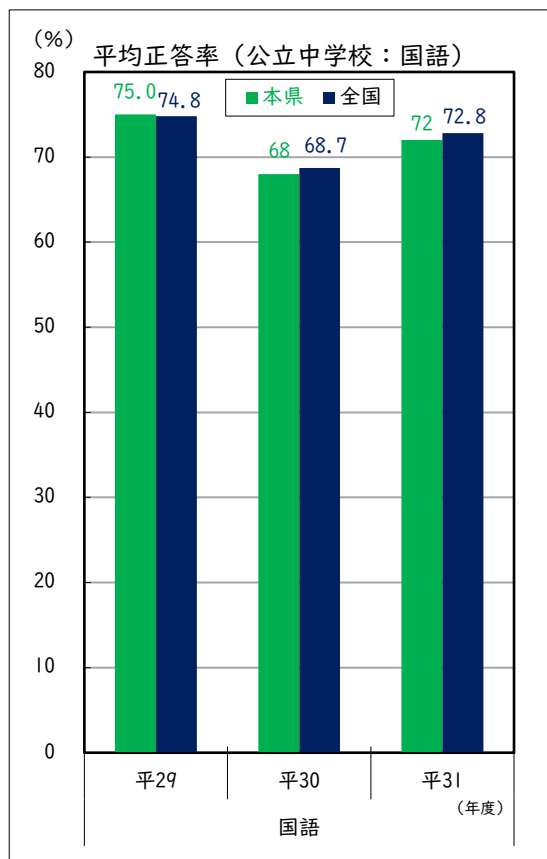
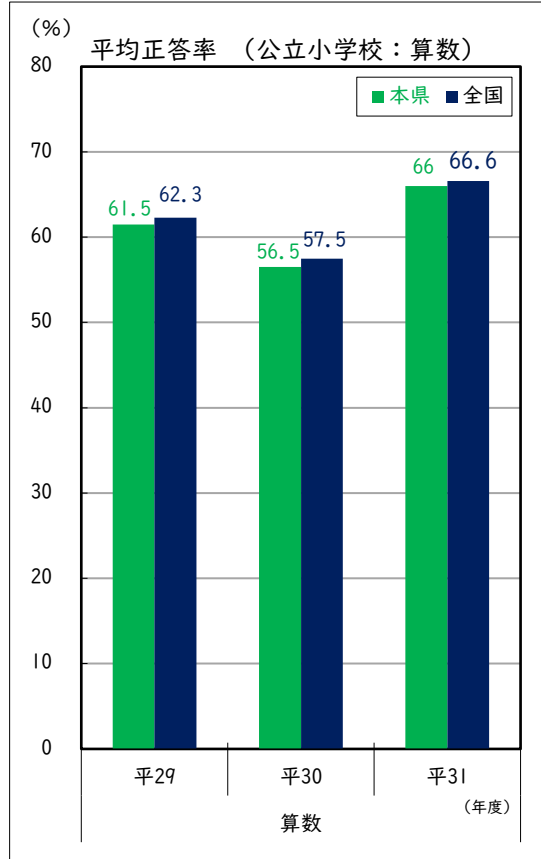
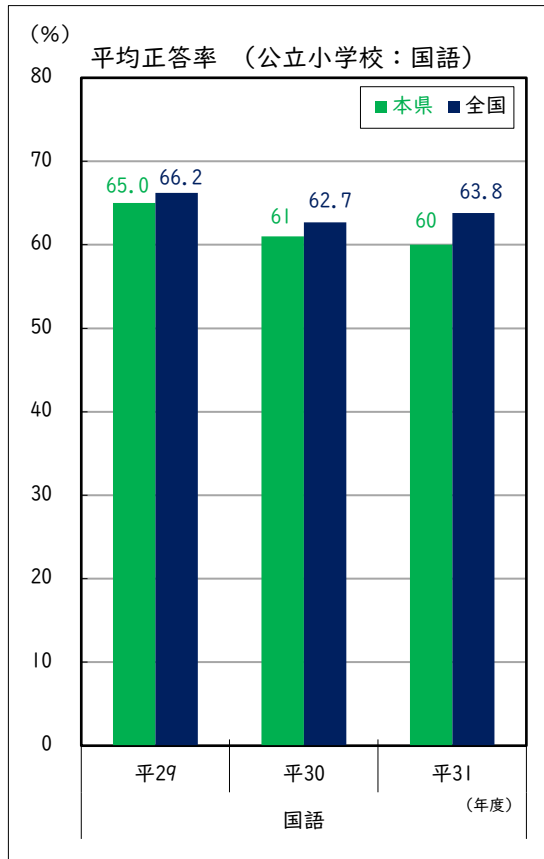
（資料）文部科学省「学校基本調査」

5 学力・学習等

5-1 学力状況

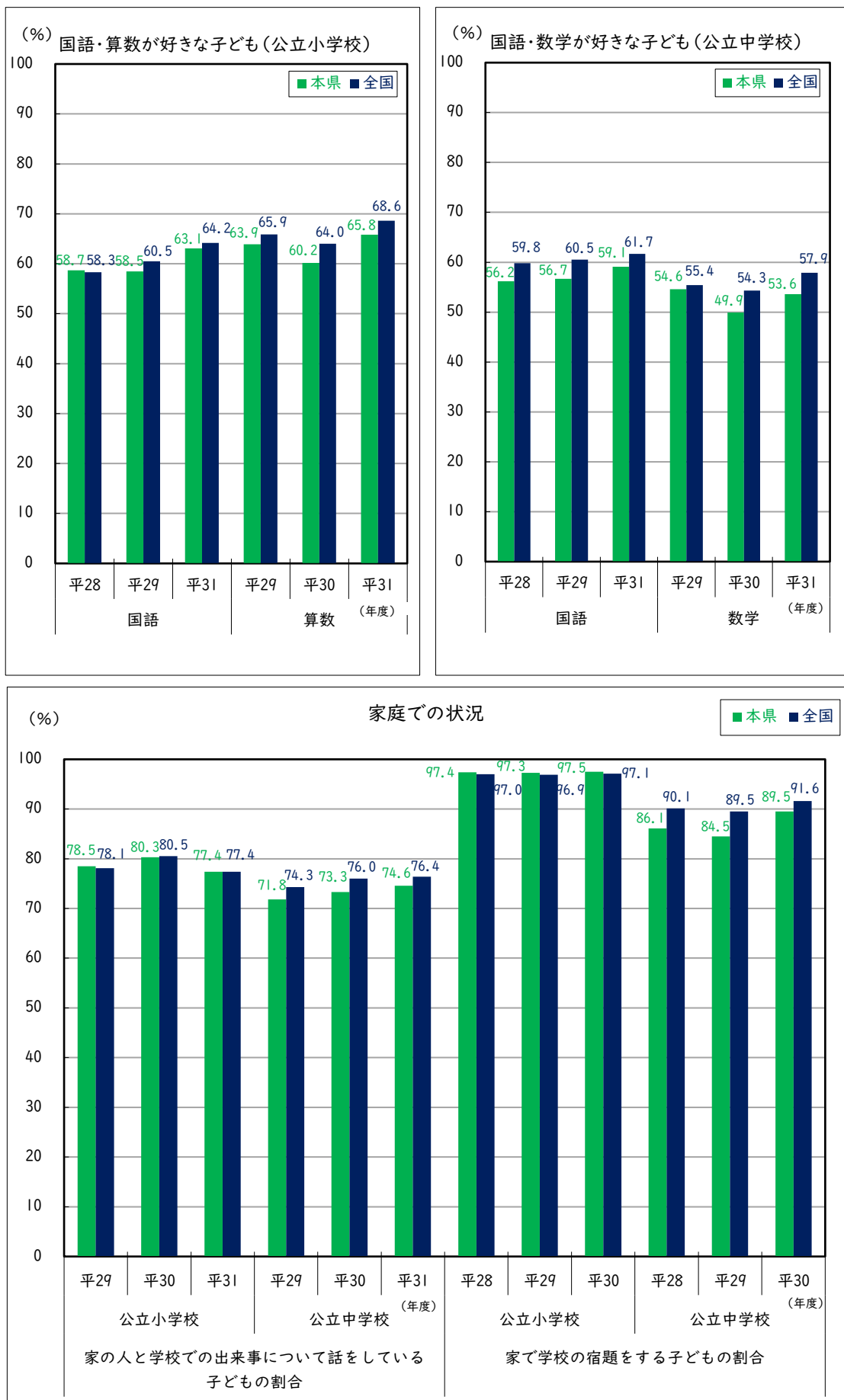
平成31年度の平均正答率については、公立小・中学校とも全国平均を下回っている。小学校の国語において全国平均との差が顕著である。

(注) 平成29～30年の平均正答率は、各教科のA問題とB問題の平均正答率の平均



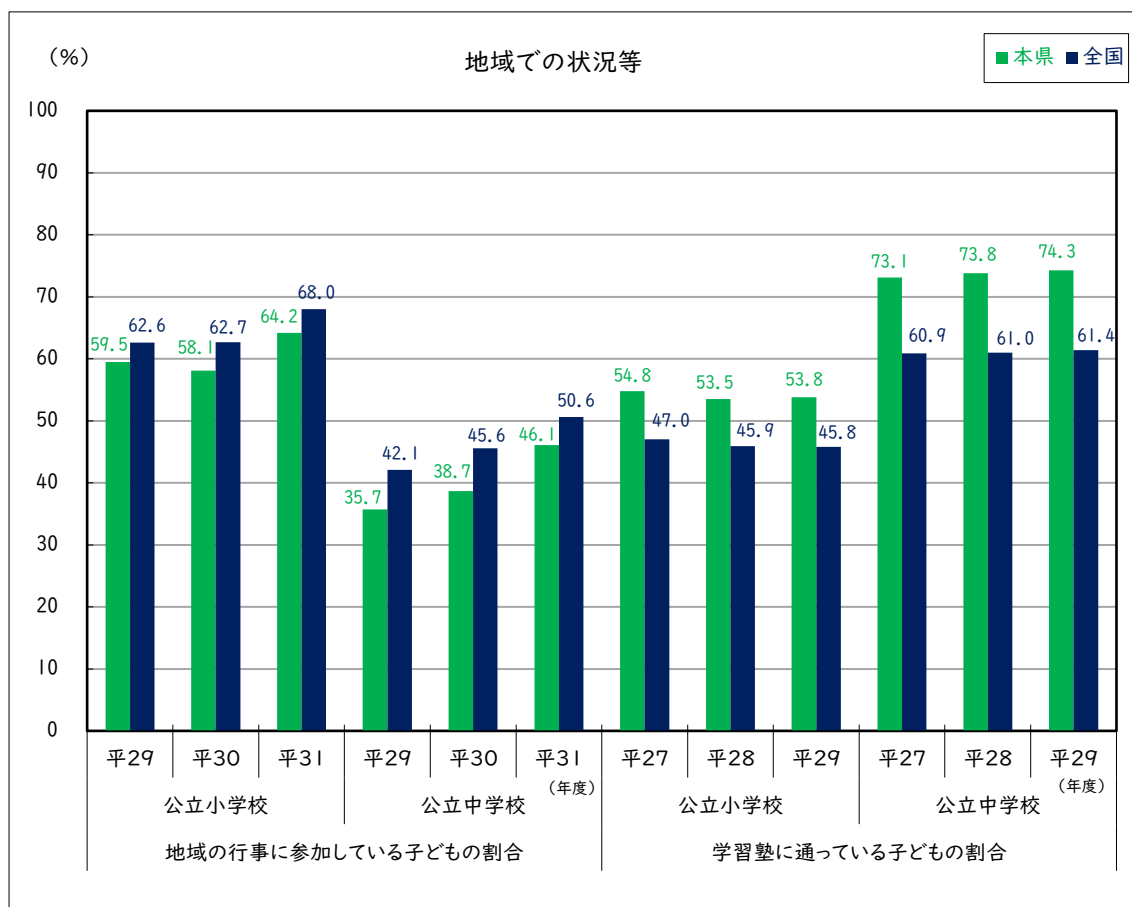
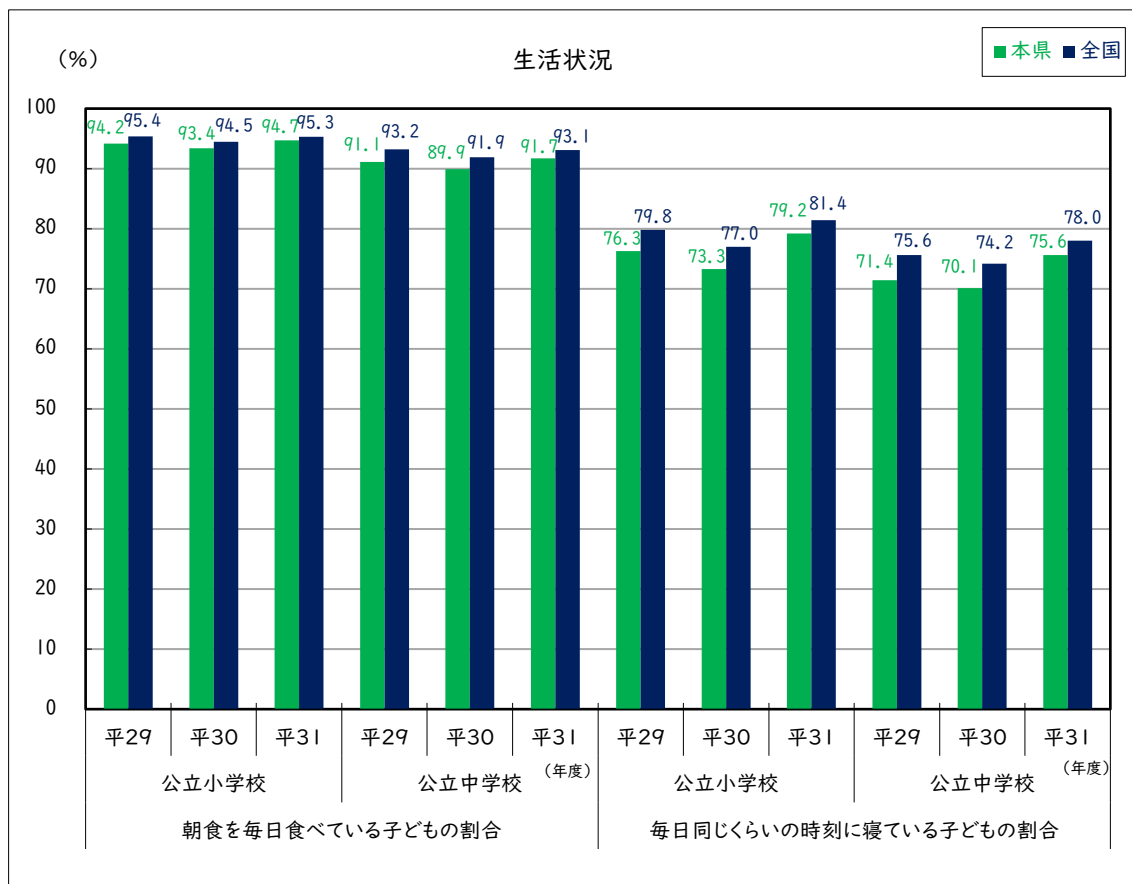
5-2 学習状況・家庭での状況

平成31年度は、「算数・数学が好きな子どもの割合」は、小・中学校とも全国平均よりも低い（国語については平成31年度調査なし）。「家の人と学校での出来事について話をしている子どもの割合」は、中学校が全国平均を下回っている。「家で学校の宿題をする子どもの割合」は、小学校で全国平均を上回っているが、中学校では下回っている（平成31年度調査なし）。



5-3 生活状況・地域での状況等

「朝食を毎日食べている子どもの割合」「毎日同じくらいの時刻に寝ている子どもの割合」「地域の行事に参加している子どもの割合」は、全国平均を下回っている。「学習塾に通っている子どもの割合」は全国平均に比べて高くなっている（平成30～31年度調査なし）。

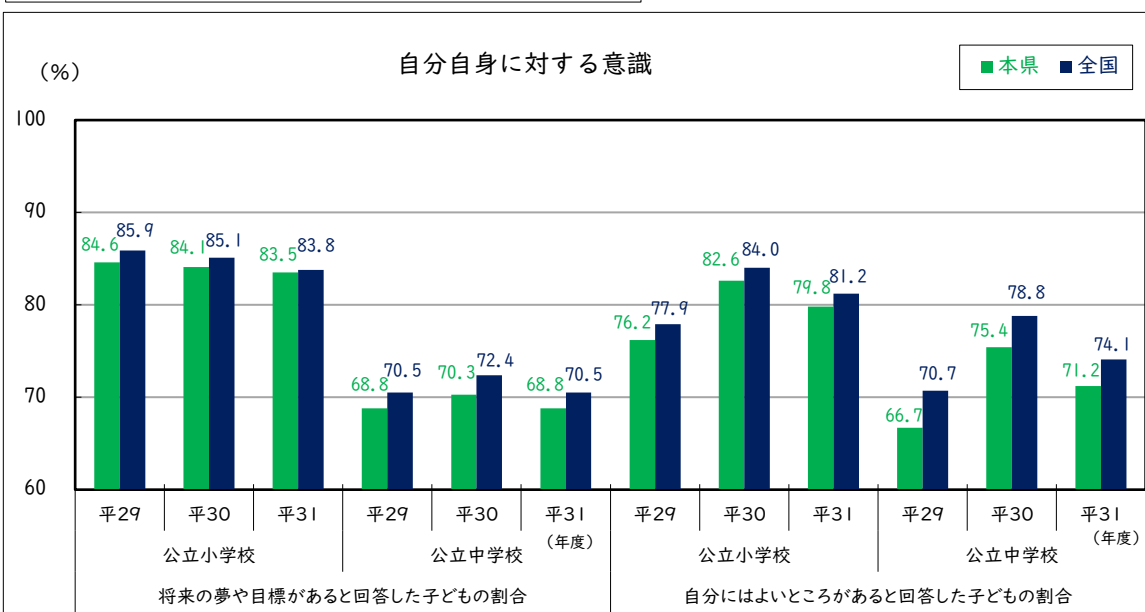
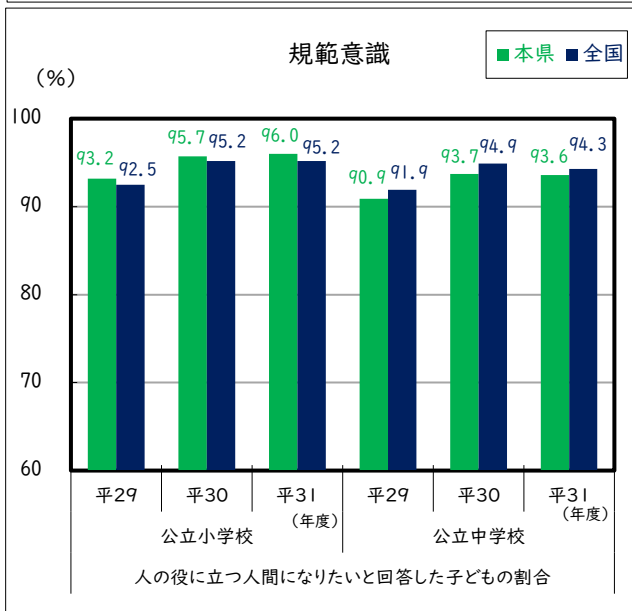
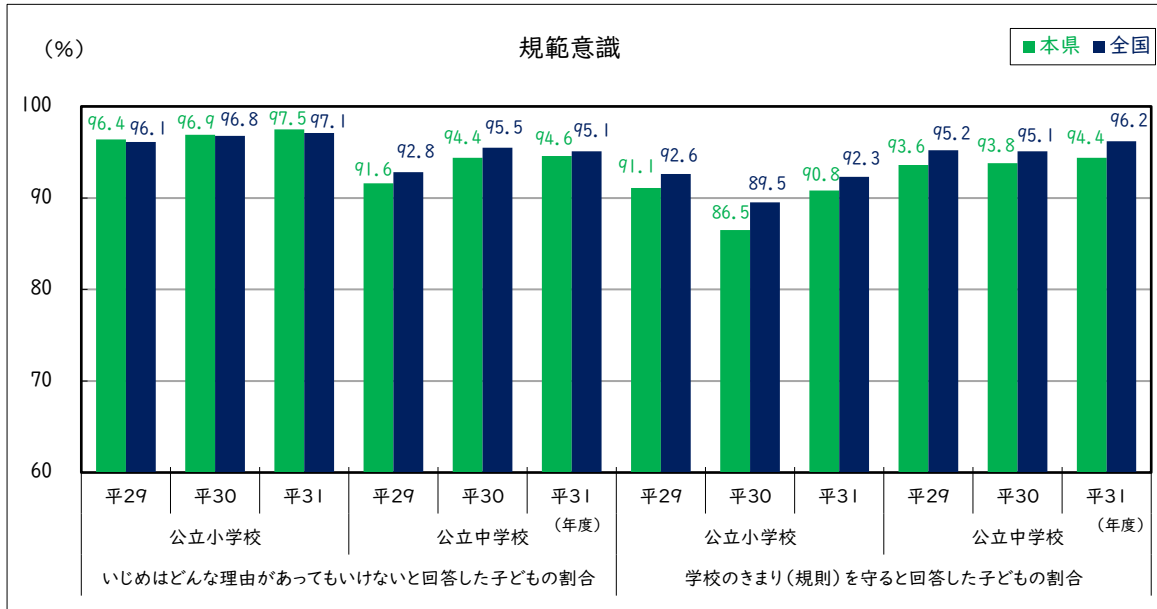


更新：R2.2

(資料) 文部科学省「全国学力・学習状況調査」

5-4 規範意識・自分自身に対する意識

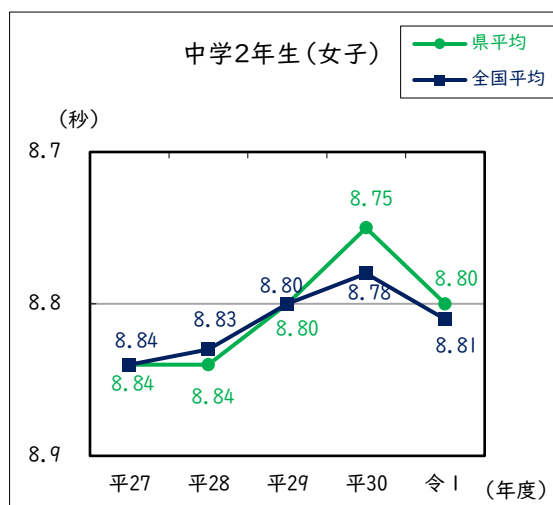
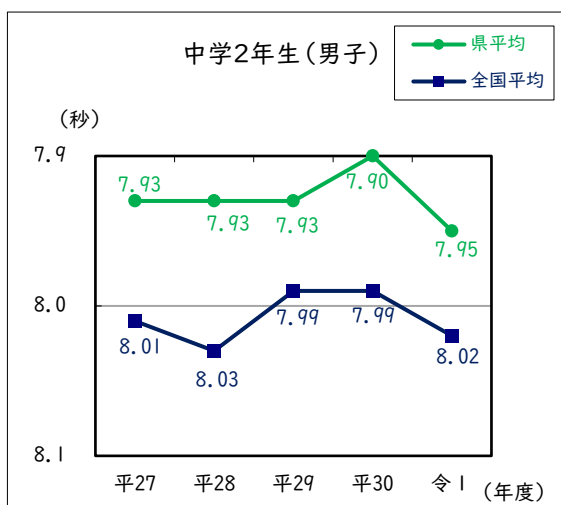
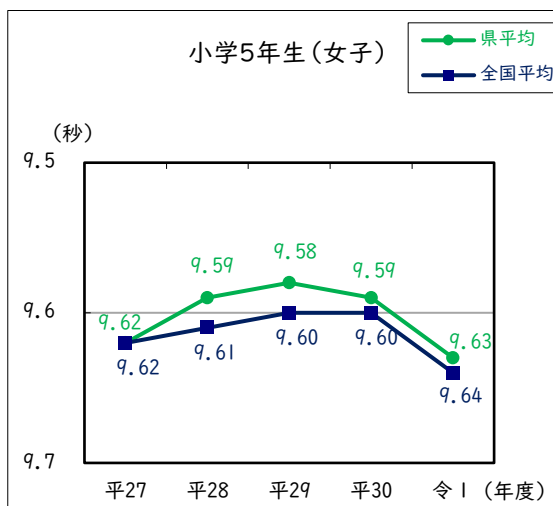
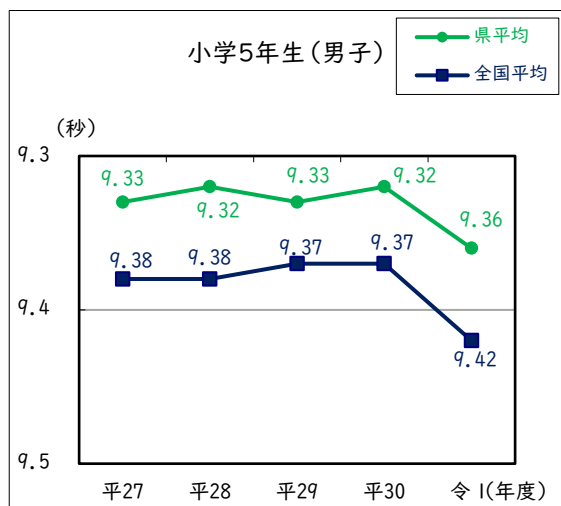
公立小学校において、「いじめはどんな理由があってもいけない」と「人の役に立つ人間になりたい」と回答した子どもの割合は全国平均より上回っているが、中学校では下回っており、「学校のきまり(規則)を守る」「将来の夢や目標がある」「自分にはよいところがある」と回答した子どもの割合は、小・中学校とも全国平均に比べて低い。



6 体力・体格

6-1 50M走

令和元年度は、小・中学校、男女ともに全国平均を上回った。なお、小学校5年生男子は平成20年度調査開始以降、全国平均を上回っている。

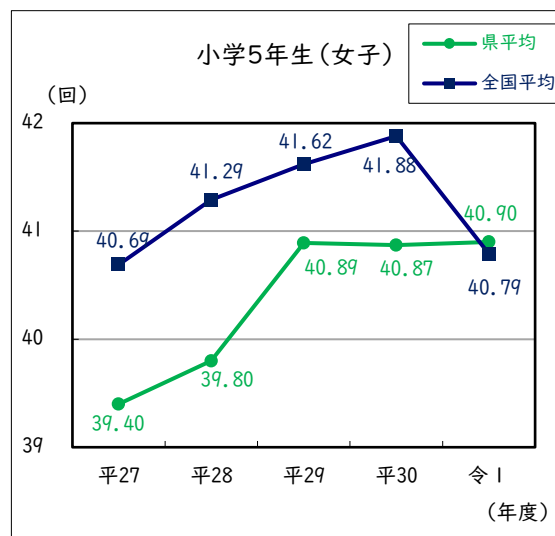
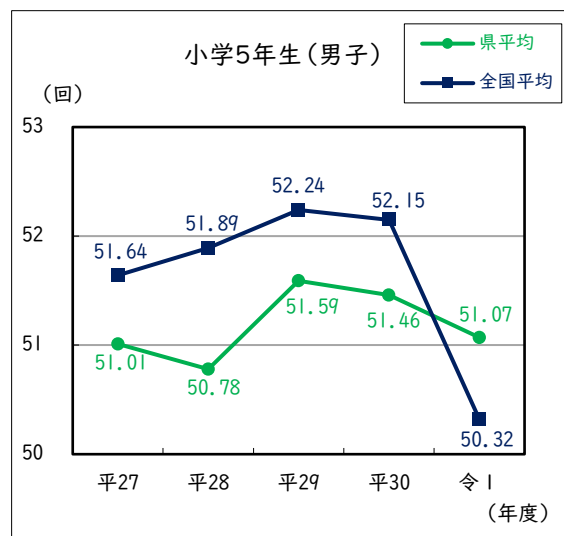


更新:R2.2

(資料)スポーツ庁・文部科学省「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

6-2 20Mシャトルラン

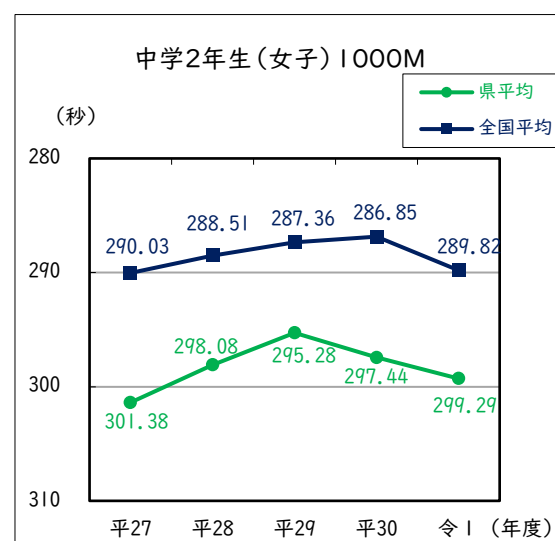
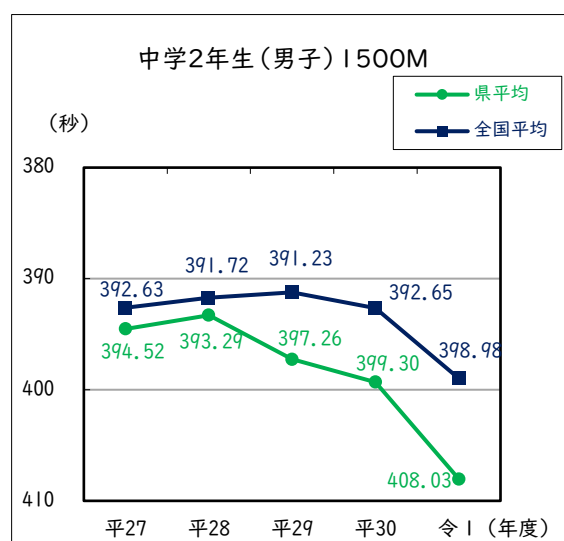
令和元年度は、男女ともに全国平均を上回った。



更新:R2.2

6-3 持久走

男女ともに全国平均を下回っている。

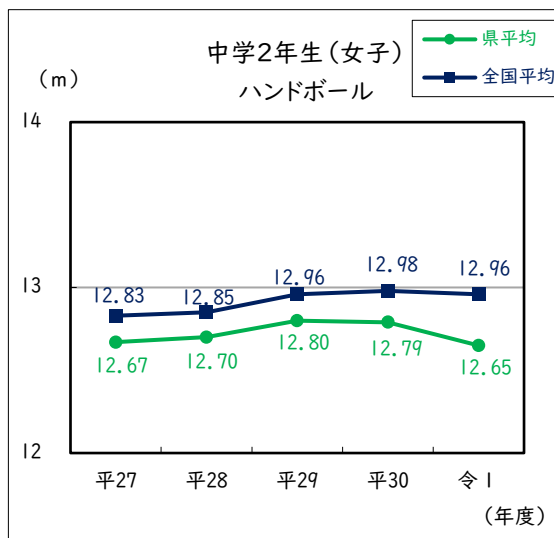
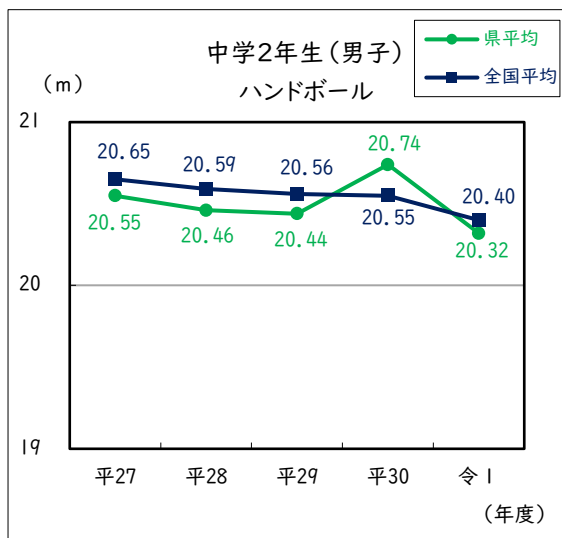
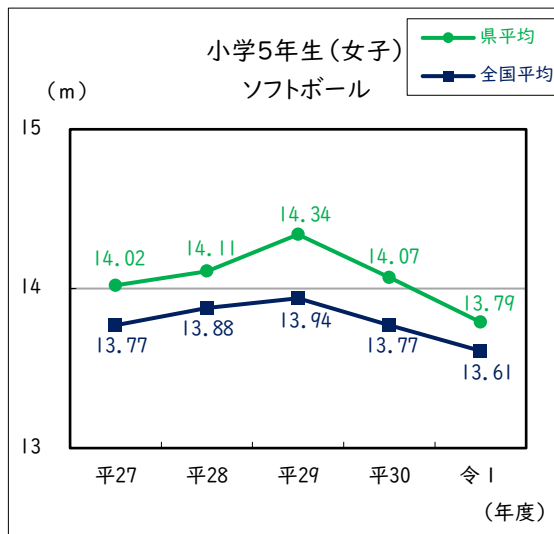
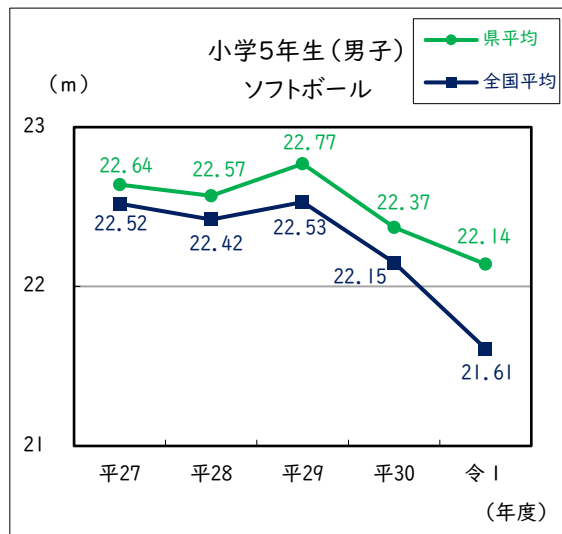


更新:R2.2

(資料) スポーツ庁・文部科学省「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

6-4 ボール投げ

小学5年生は、男女ともに全国平均を上回っている。中学2年生は、男女ともに全国平均を下回っている。

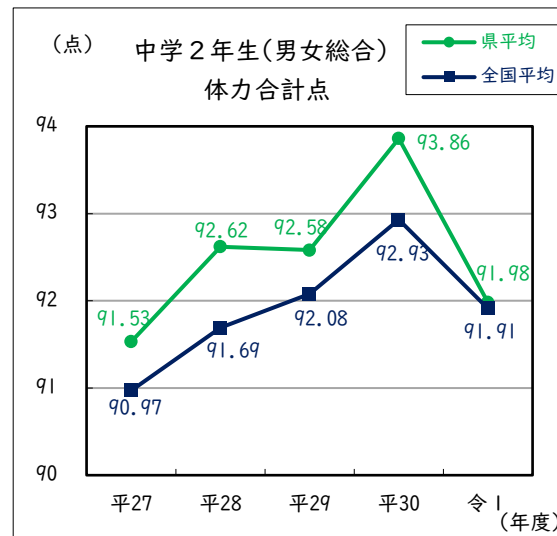
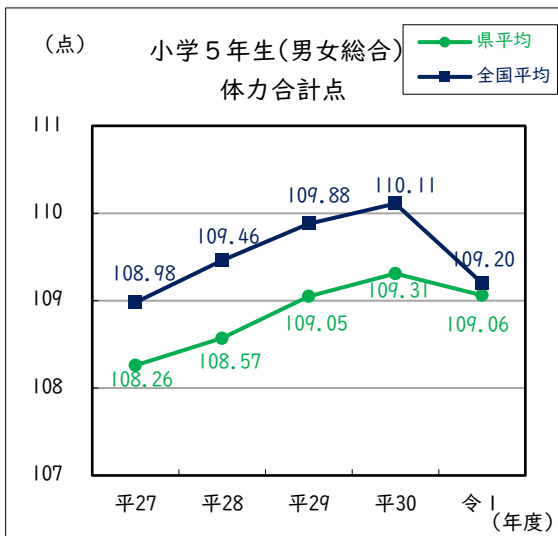
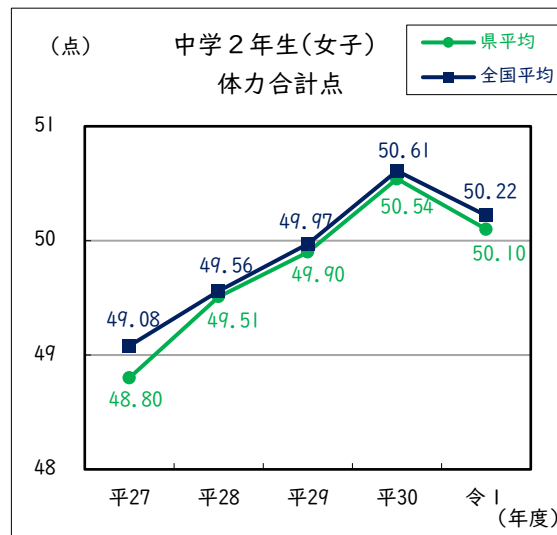
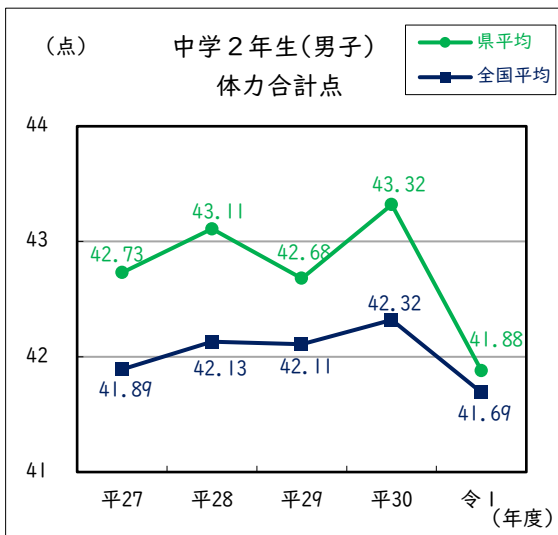
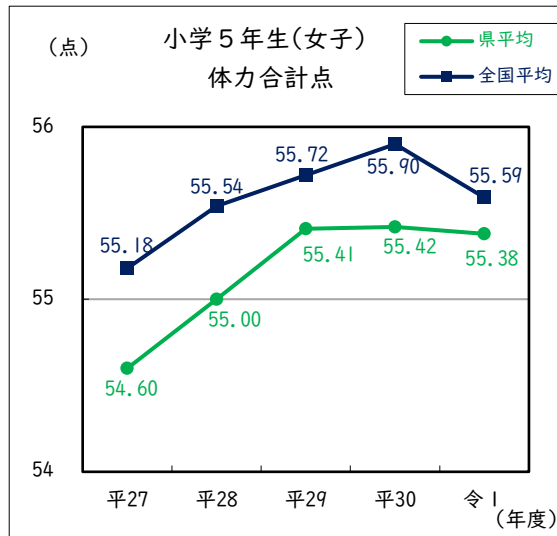
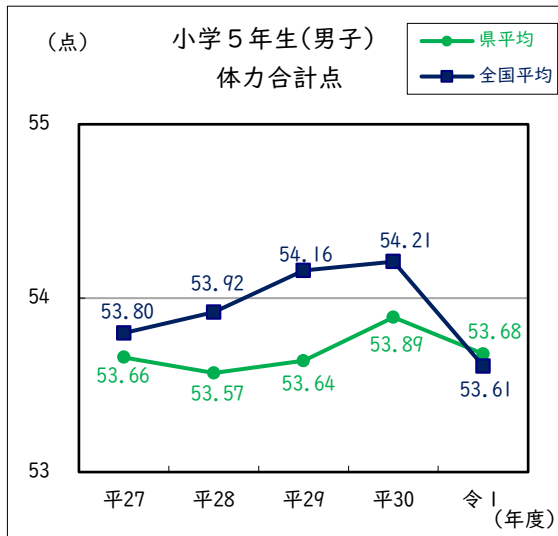


更新:R2.2

(資料) スポーツ庁・文部科学省「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

6-5 体力合計点

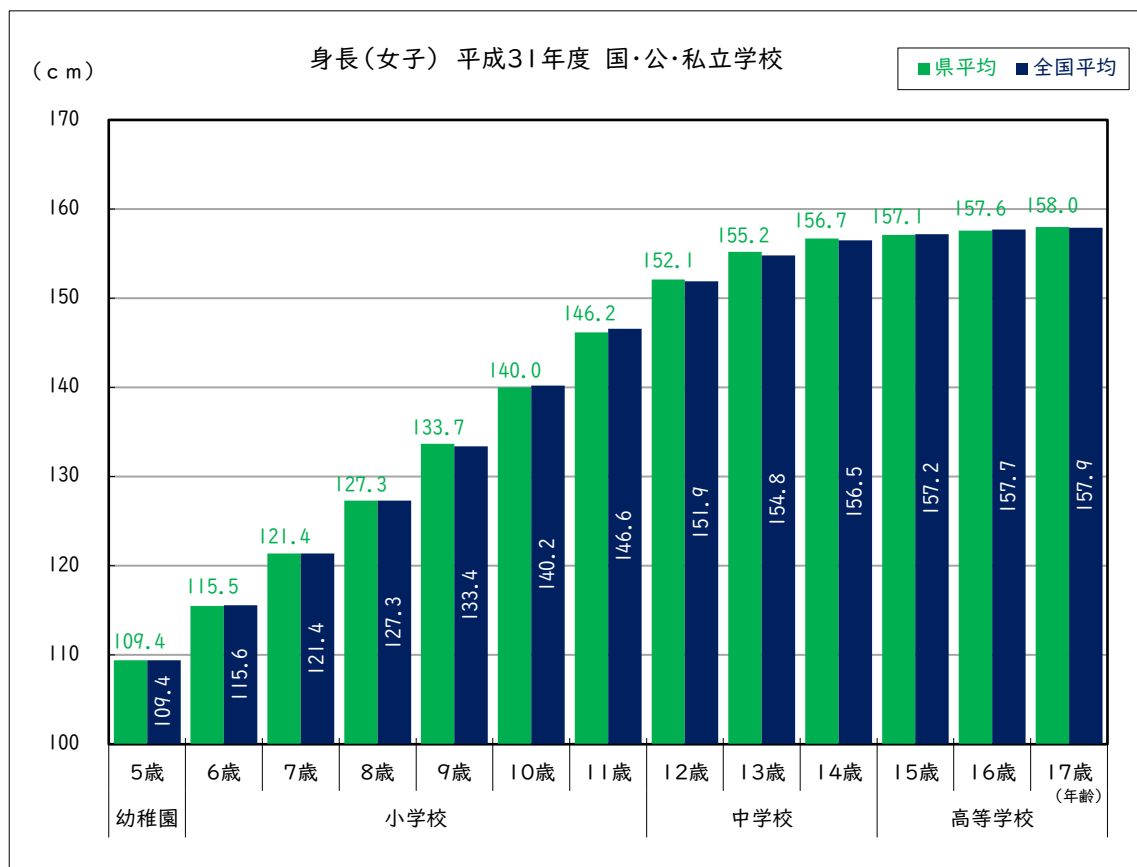
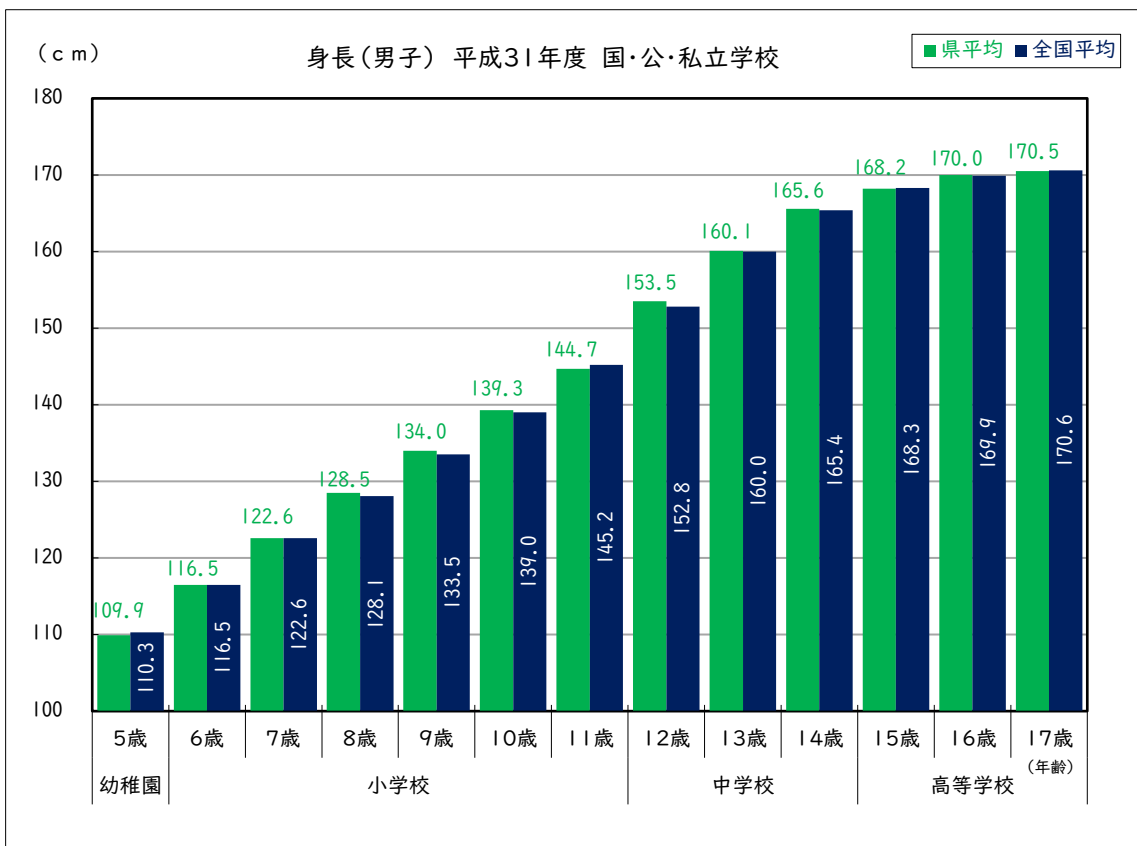
体力合計点とは、握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、50m走、持久走・20mシャトルラン、立ち幅とび、ソフトボール・ハンドボール投げの8種目をスポーツ庁の基準に従って10点満点で採点し合計したもの。小学5年生の男子が全国平均を上回ったが、女子は平均を下回っている。中学2年生の男子は全国平均を上回り、女子は全国平均を下回った。



更新:R2.2

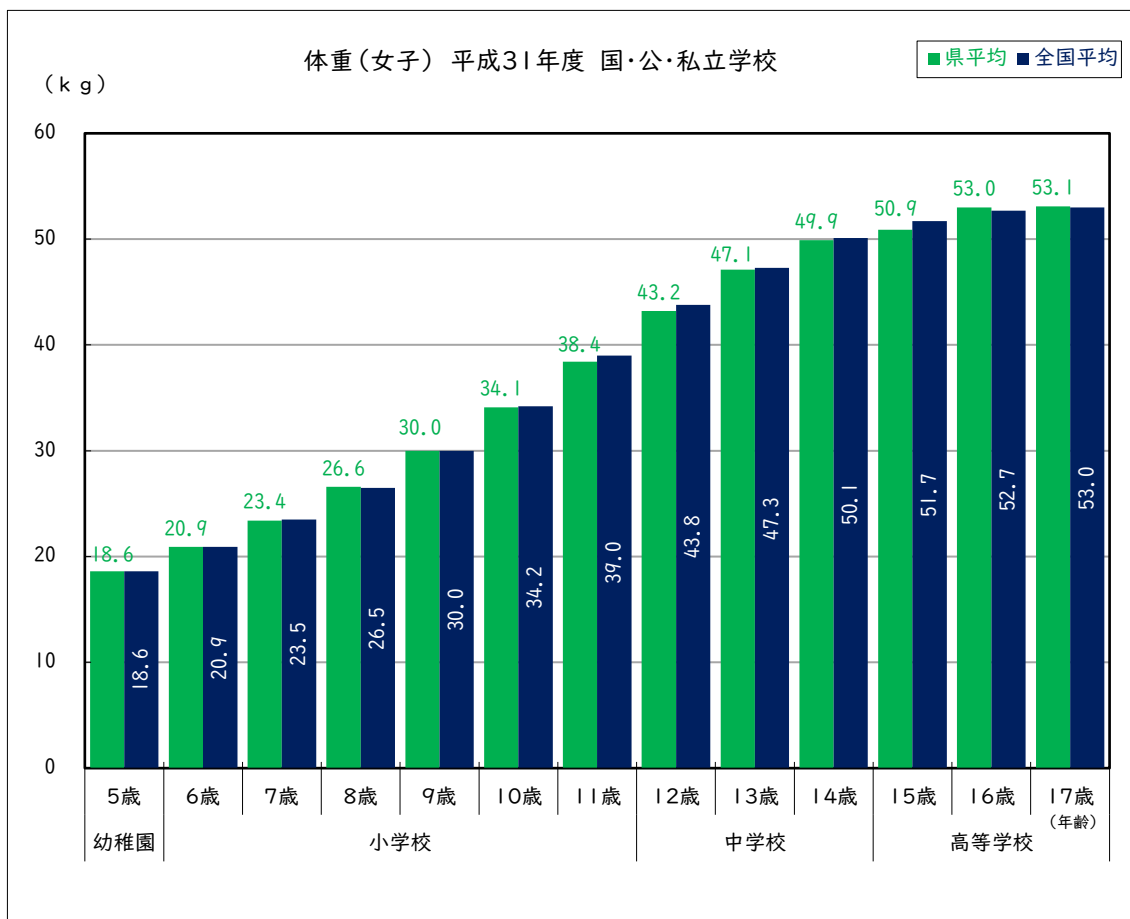
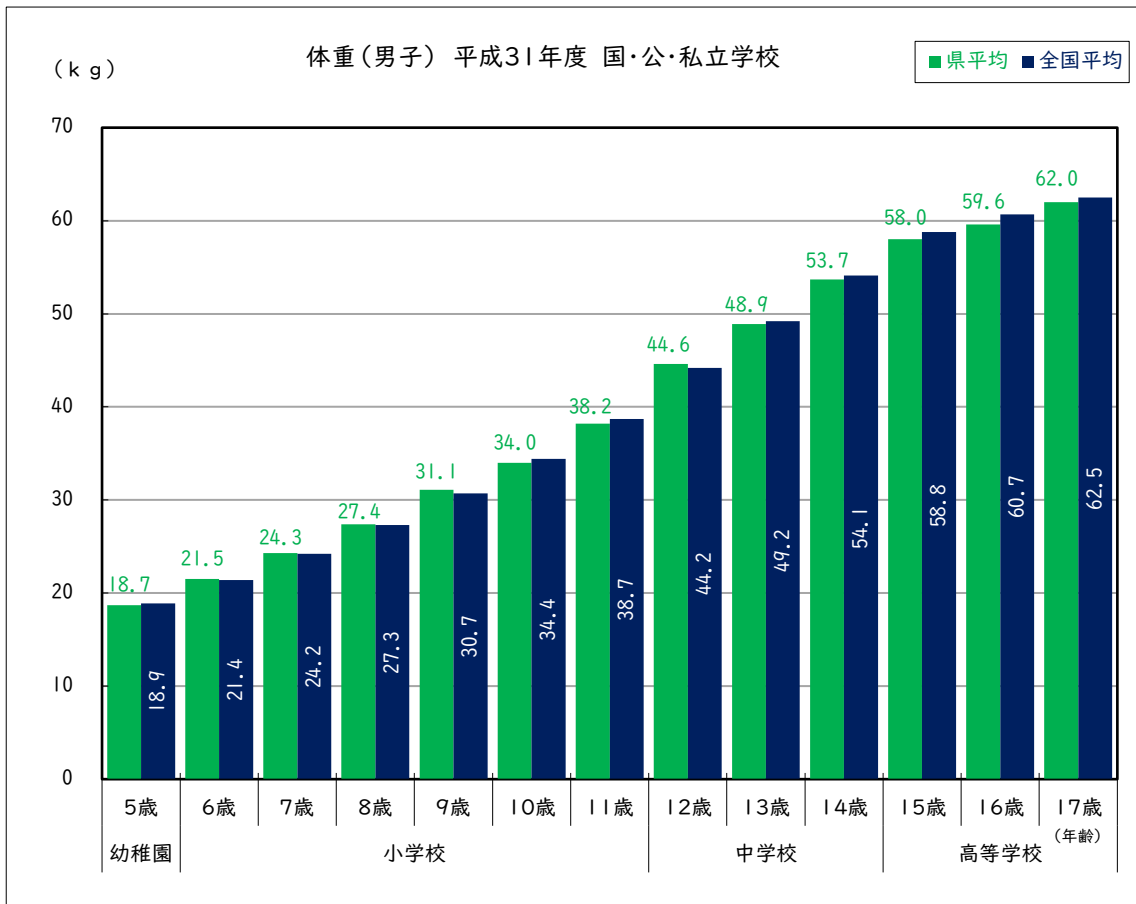
(資料)スポーツ庁・文部科学省「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

6-6 身長、体重



更新:R2.2

(資料) 文部科学省「学校保健統計調査」



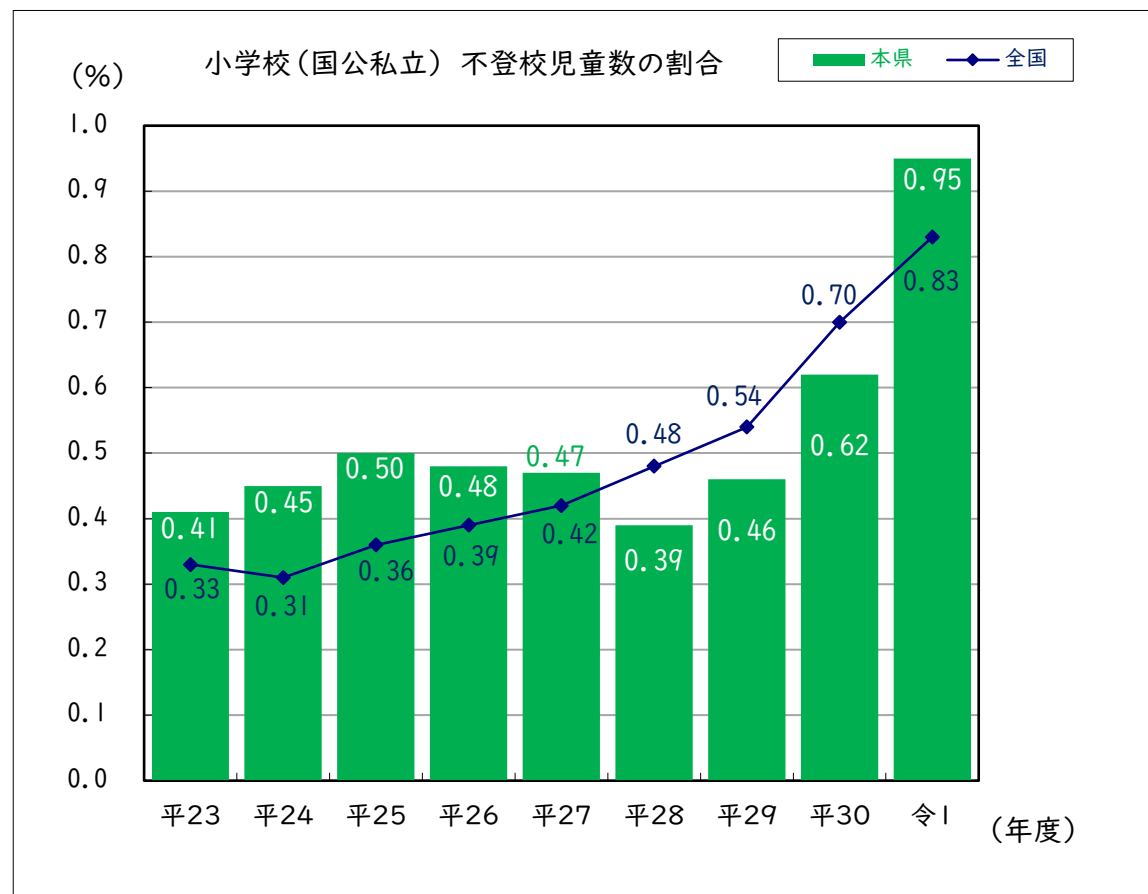
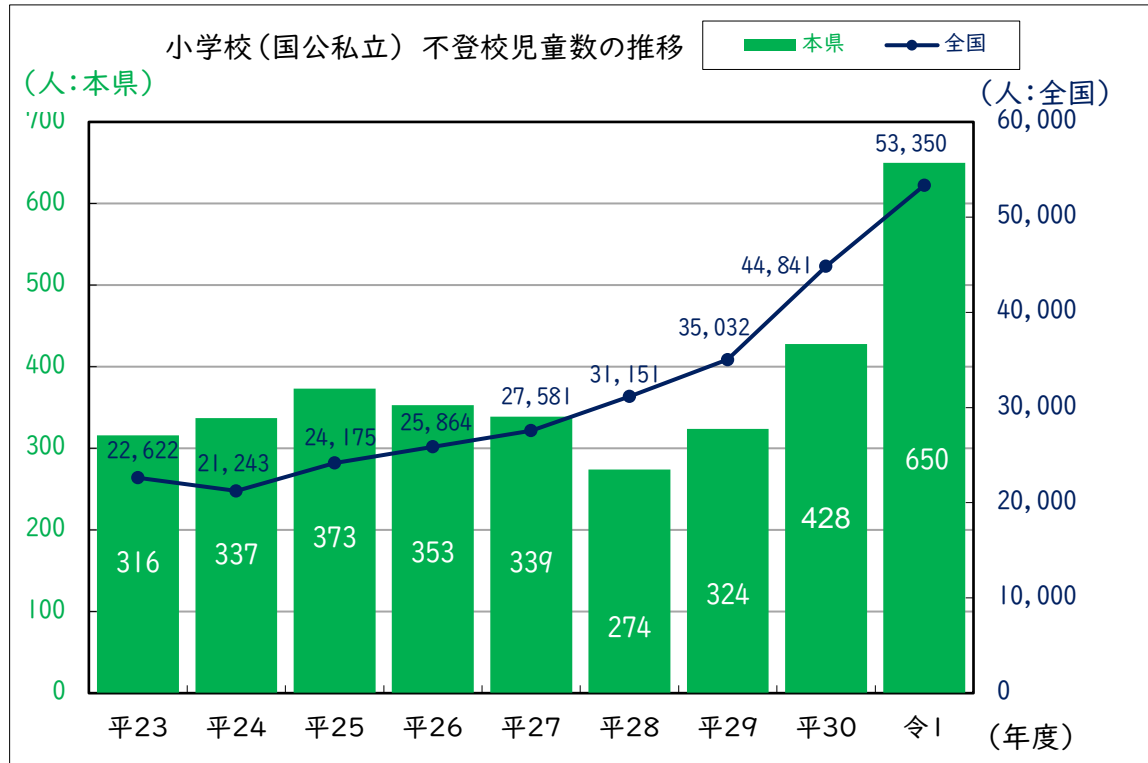
更新:R2.2

(資料) 文部科学省「学校保健統計調査」

7 生徒指導

7-1 不登校児童数(小学校)

小学校における不登校児童数は、全国的な傾向と相まって平成28年度より増加傾向である。小学校における全児童数に占める不登校児童の割合は、近年全国平均を下回っていたが、令和元年度は上回った。

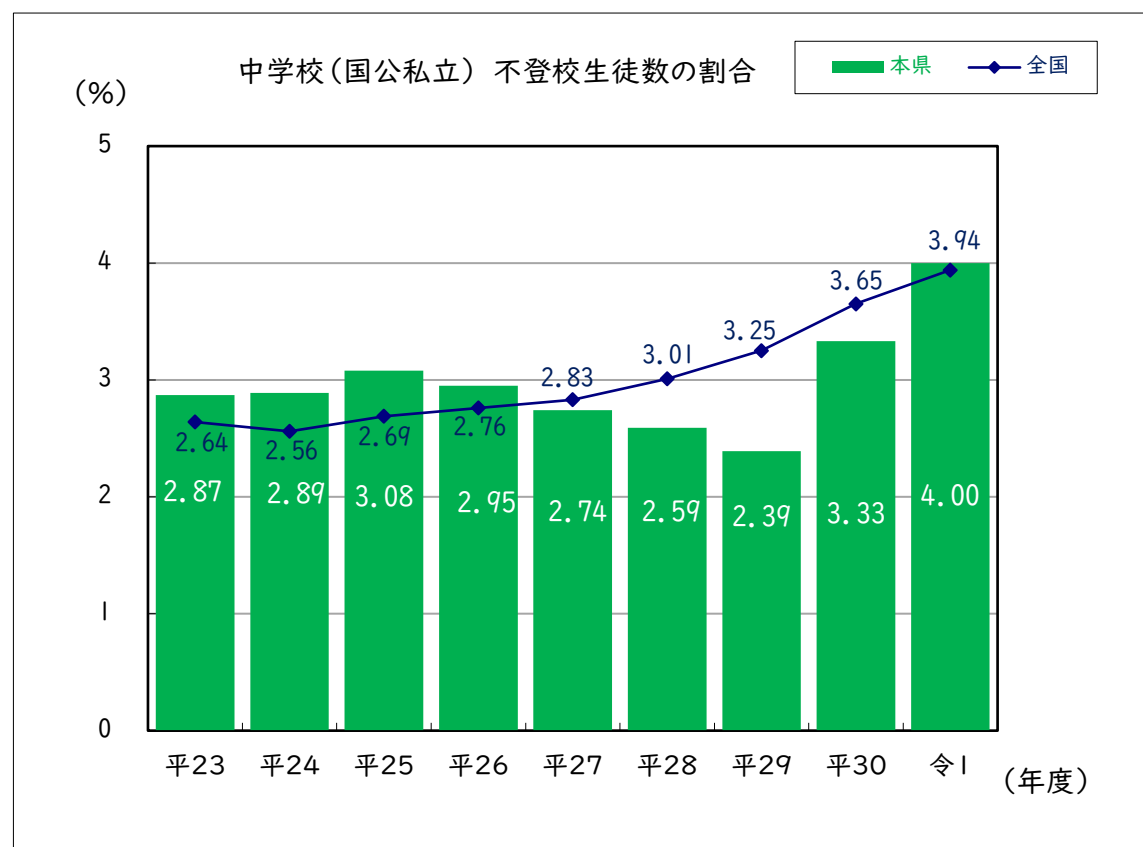
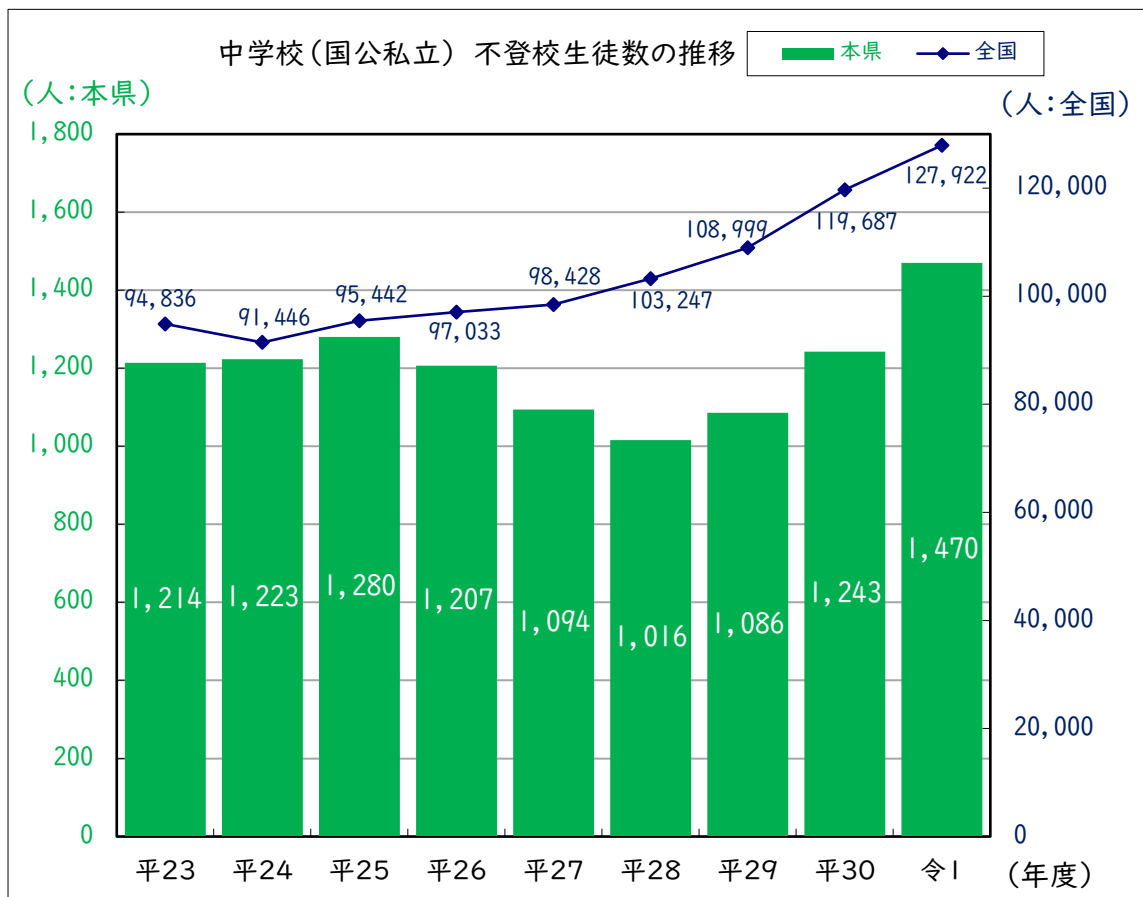


更新:R3.2

(資料)文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

7-1 不登校生徒数(中学校)

中学校における不登校生徒数は、全国的な傾向と相まって平成28年度より増加傾向である。中学校における全生徒数に占める不登校生徒の割合は、近年全国平均を下回っていたが、令和元年度は上回った。

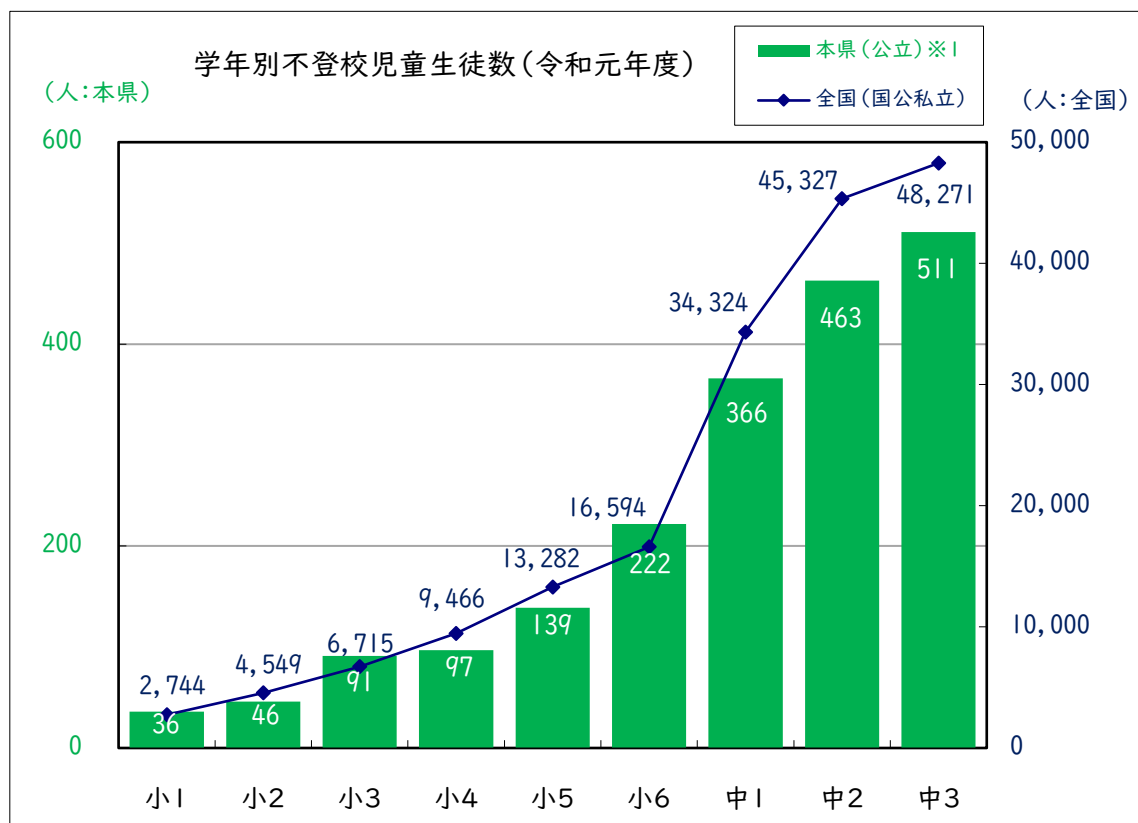


更新:R3.2

(資料)文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

7-2 小・中学校における学年別不登校児童生徒数等

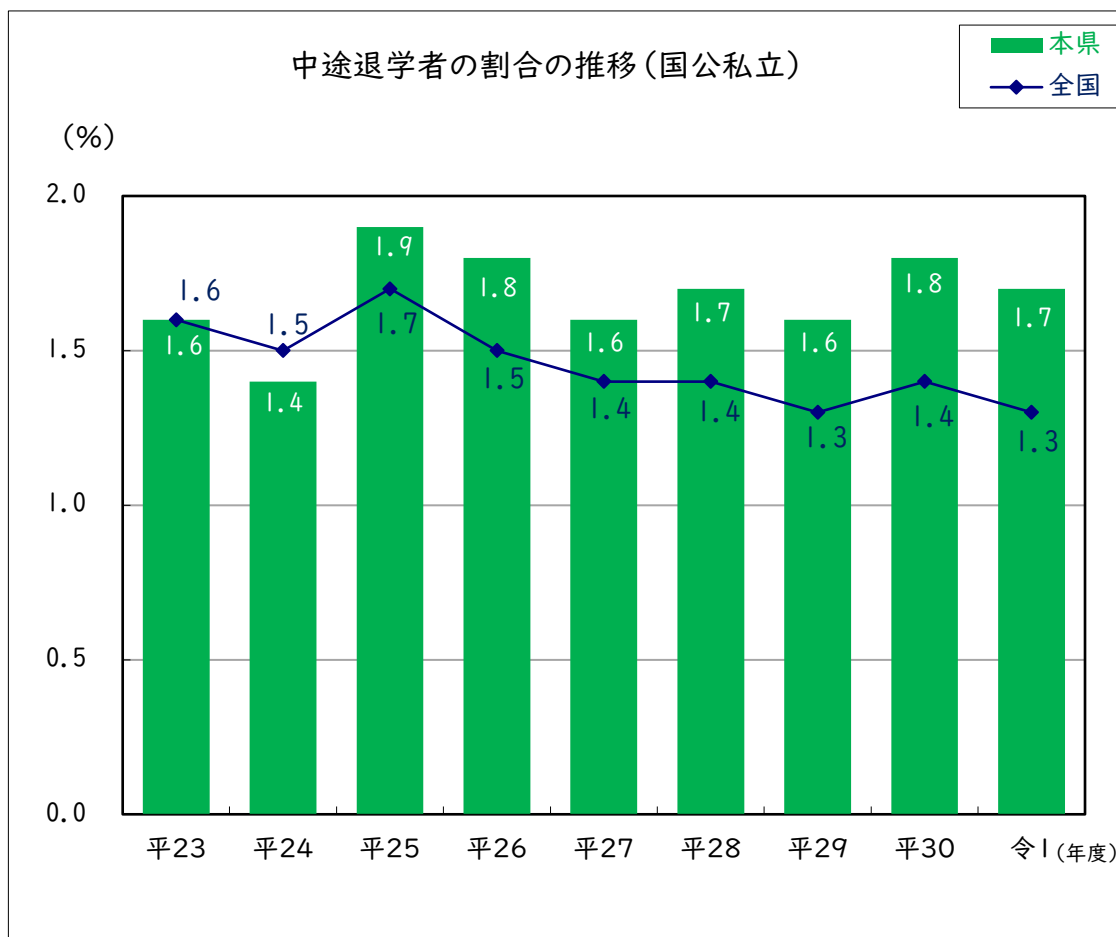
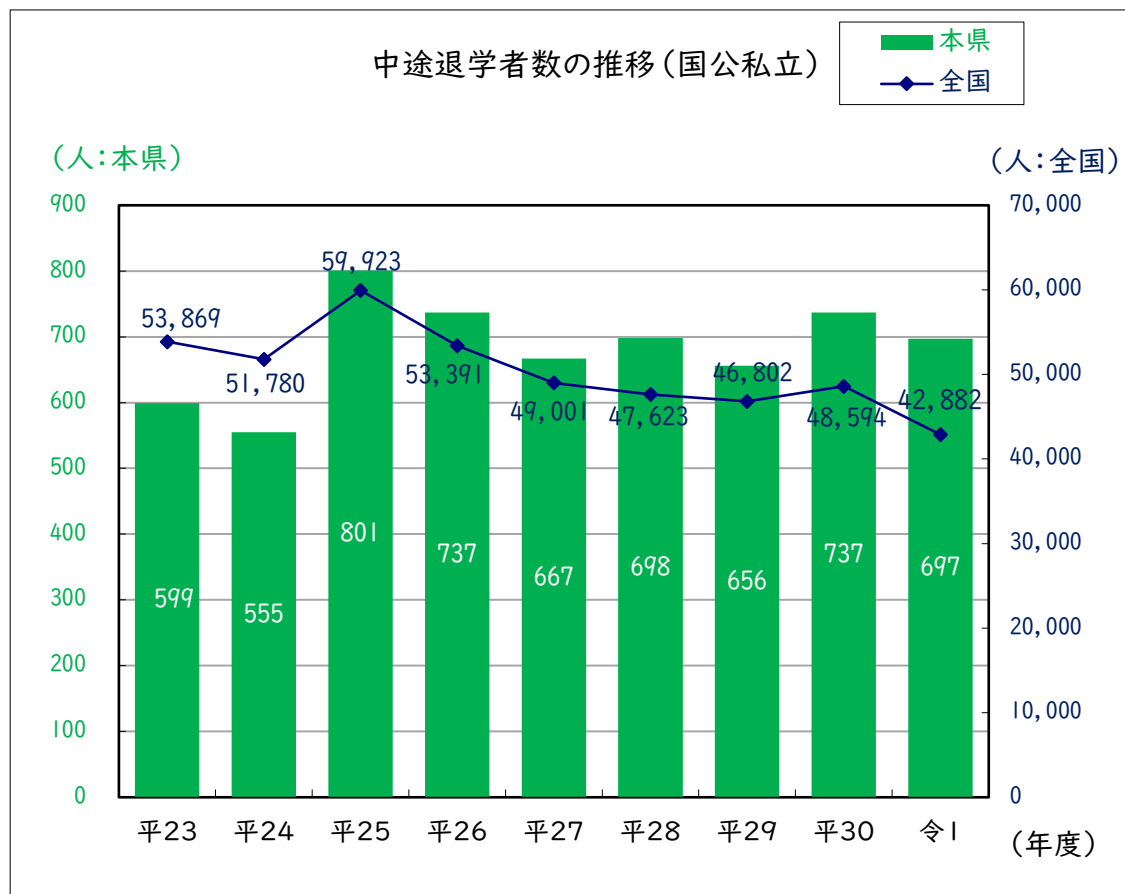
全国の傾向と同様に、学年が上がるにつれて不登校児童生徒数が増加しており、中学校での増加が著しい。



更新:R3.2 (資料)文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」
 ※1 奈良県教育委員会調べ

7-3 高等学校の中途退学者数

高等学校の全生徒数に占める中途退学者の割合は、平成25年度から全国平均を上回っている。

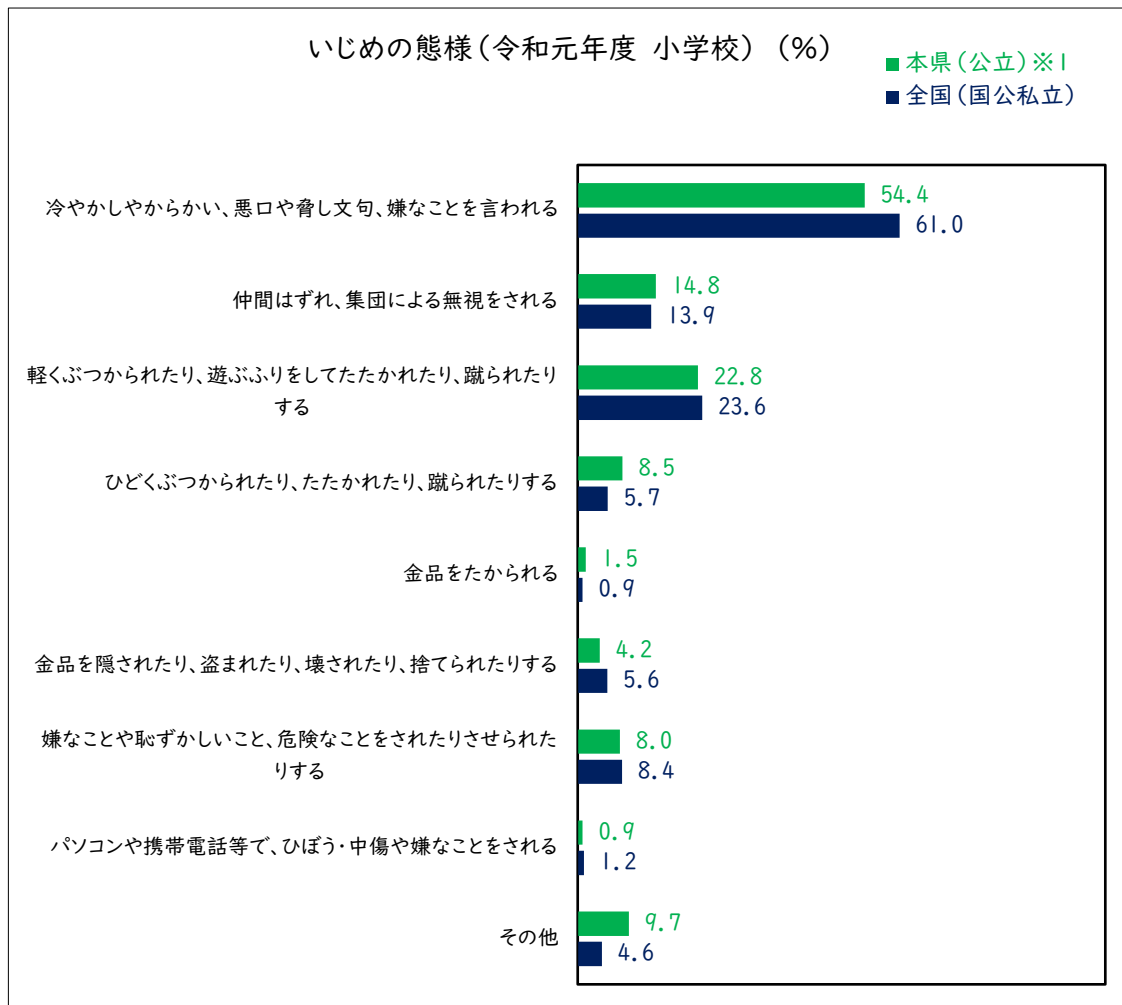
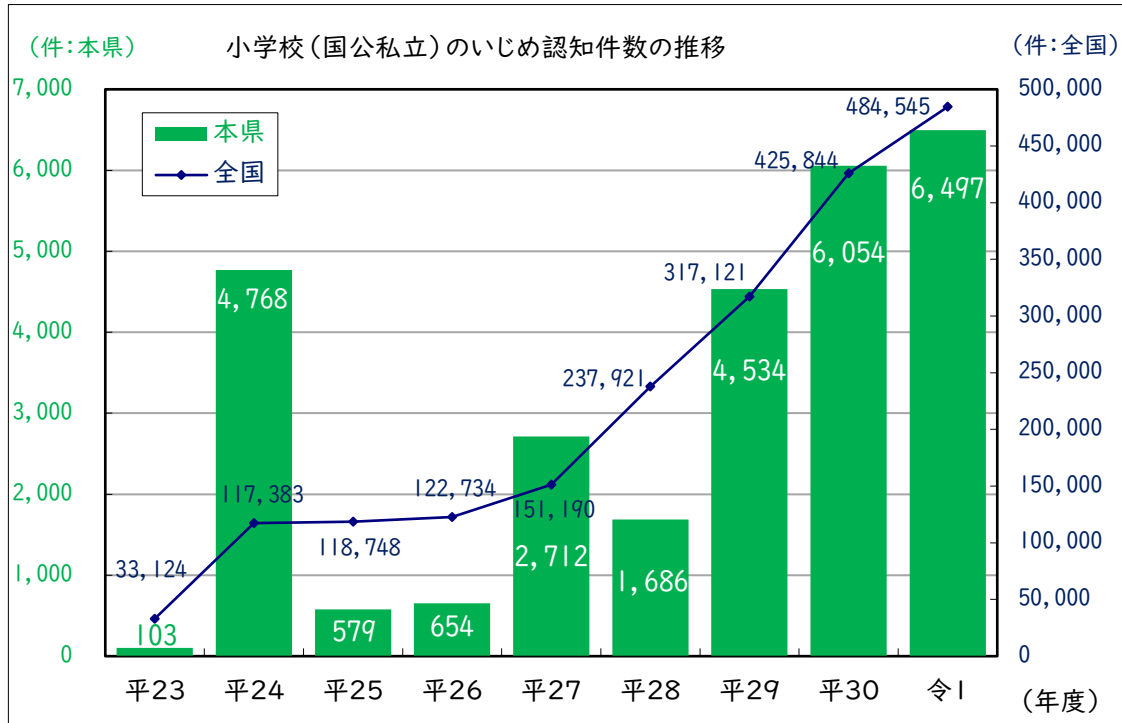


更新:R3.2

(資料)文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

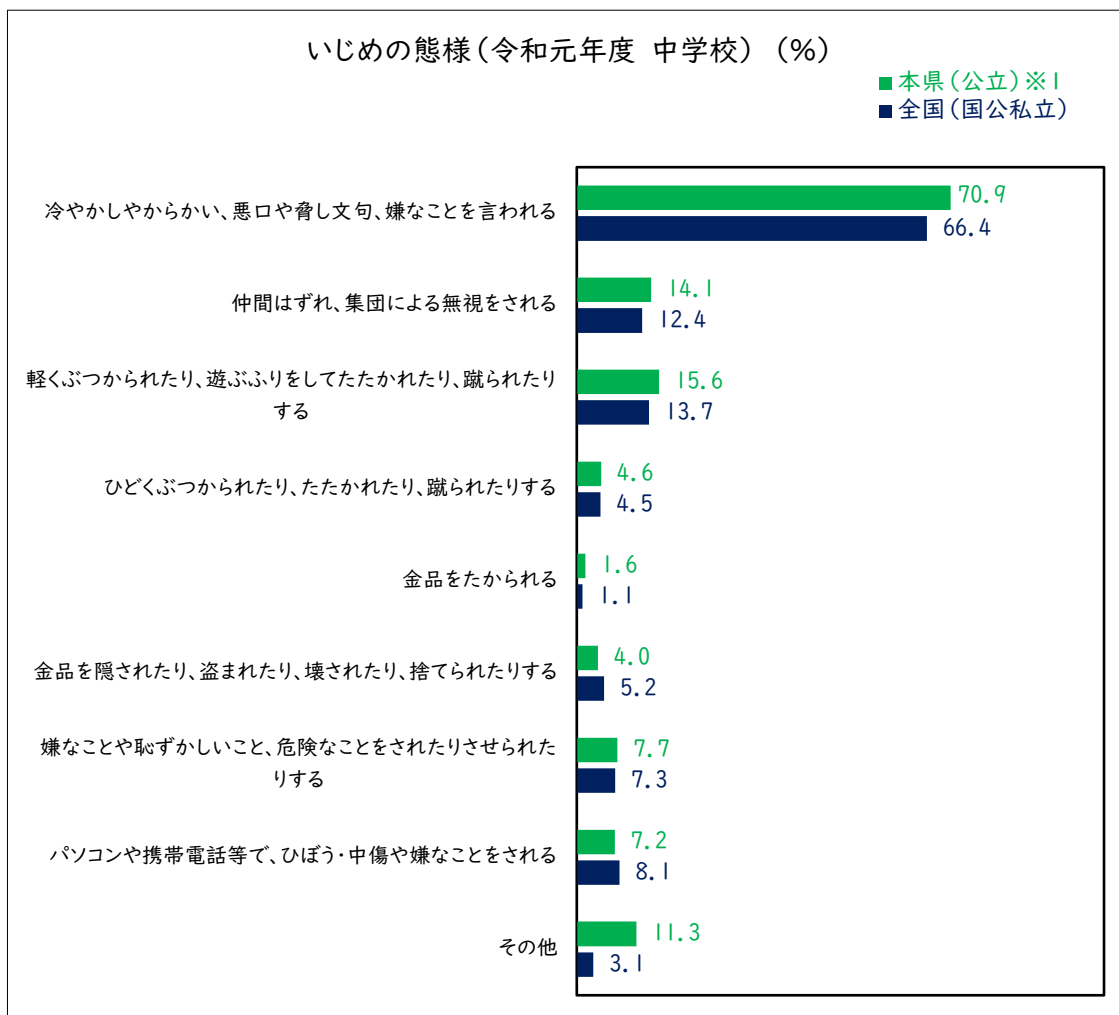
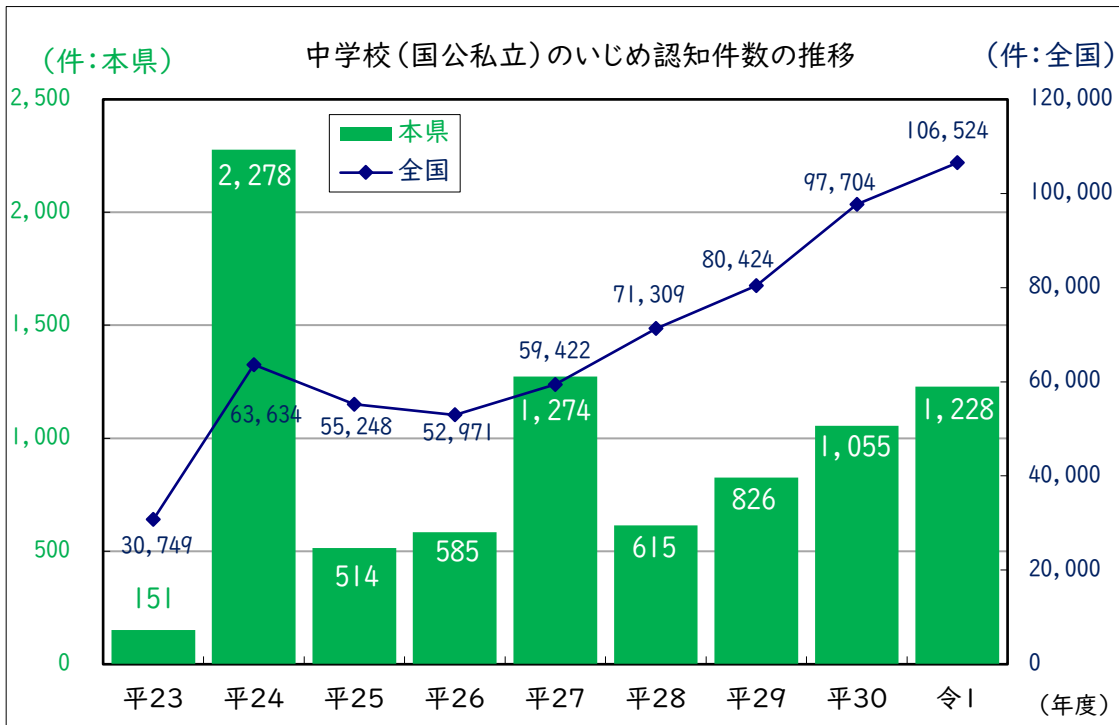
7-4 いじめの認知件数等(小学校)

小学校のいじめ認知件数は、調査方法の変更により、平成24年度には大幅に増えた。また、平成29年度以降は積極的な認知に努めた結果、前年に比べて大きく増加している。



7-4 いじめの認知件数等(中学校)

中学校のいじめ認知件数は、調査方法の変更により、平成24年度には大幅に増えた。

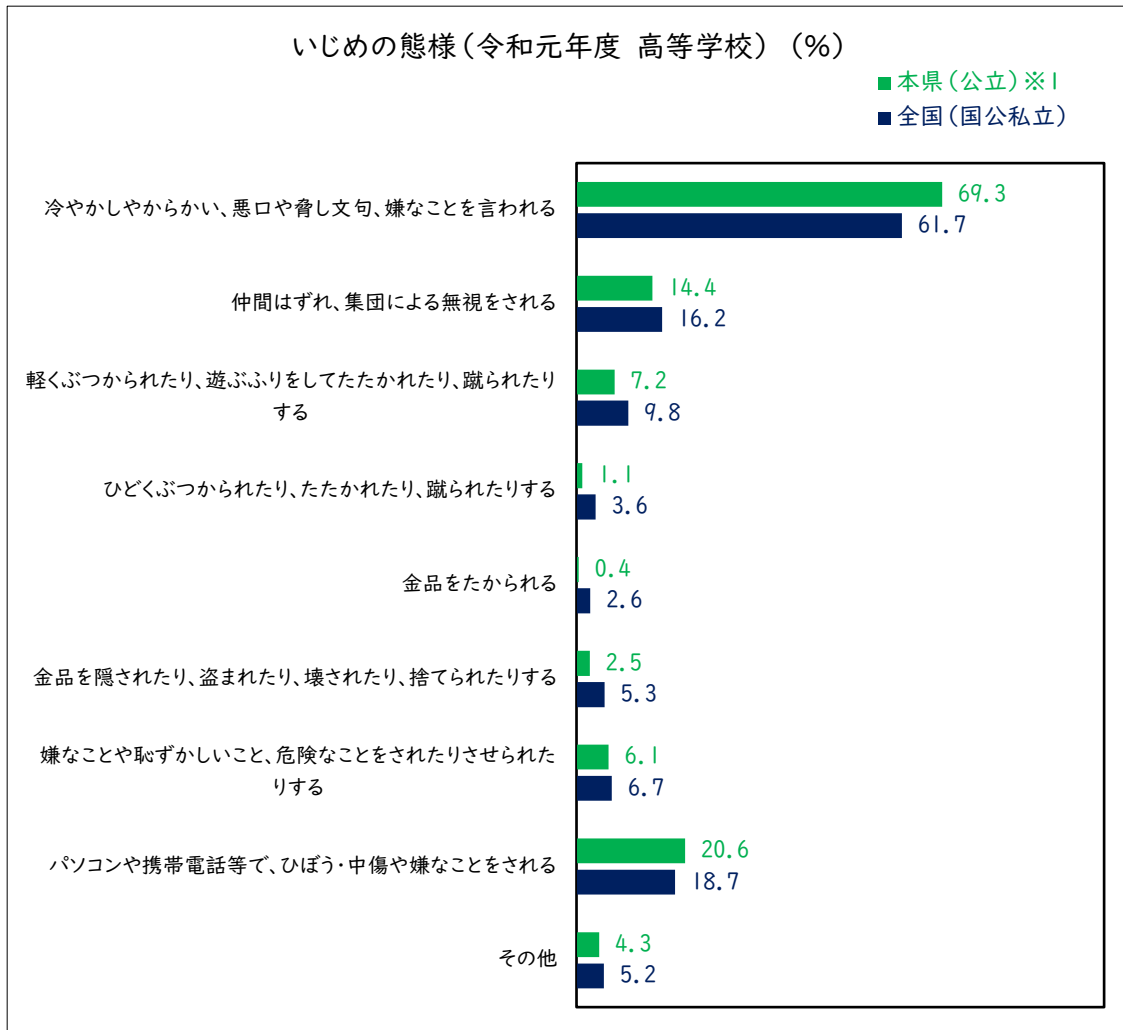
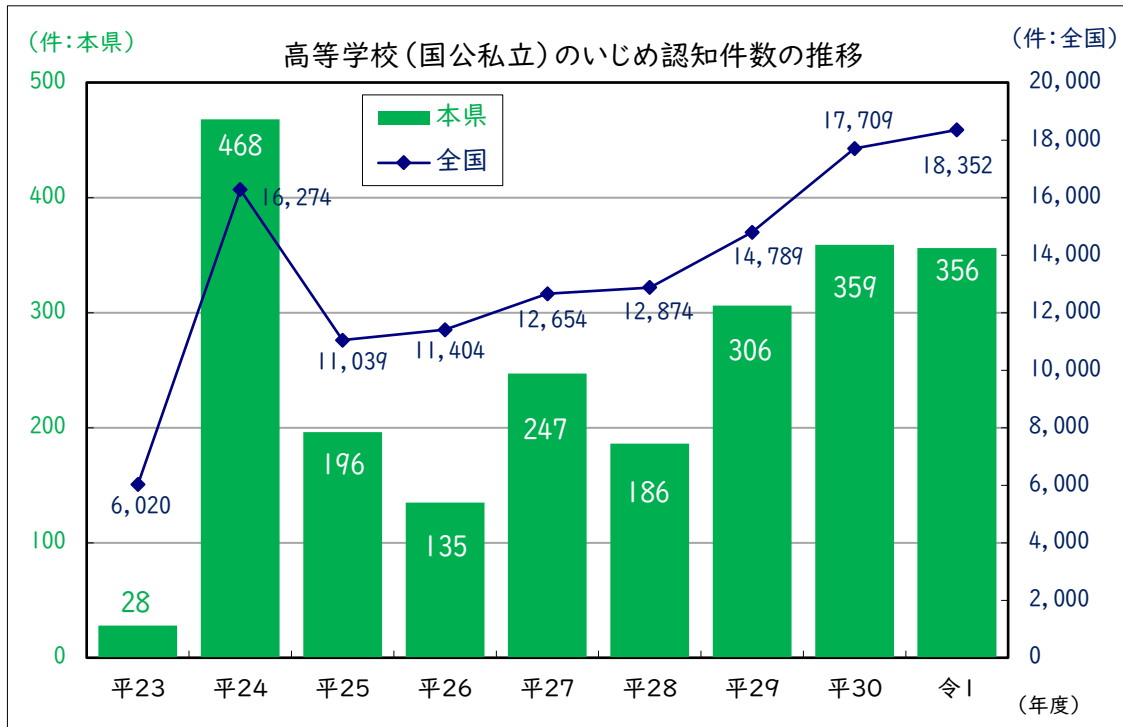


更新:R3.2 (資料)文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

※1 奈良県教育委員会調べ

7-4 いじめの認知件数等(高等学校)

高等学校のいじめ認知件数は、調査方法の変更により、平成24年度には大幅に増えた。いじめの態様について、他の校種に比べ、パソコンや携帯電話等の誹謗中傷等が多くなっている。

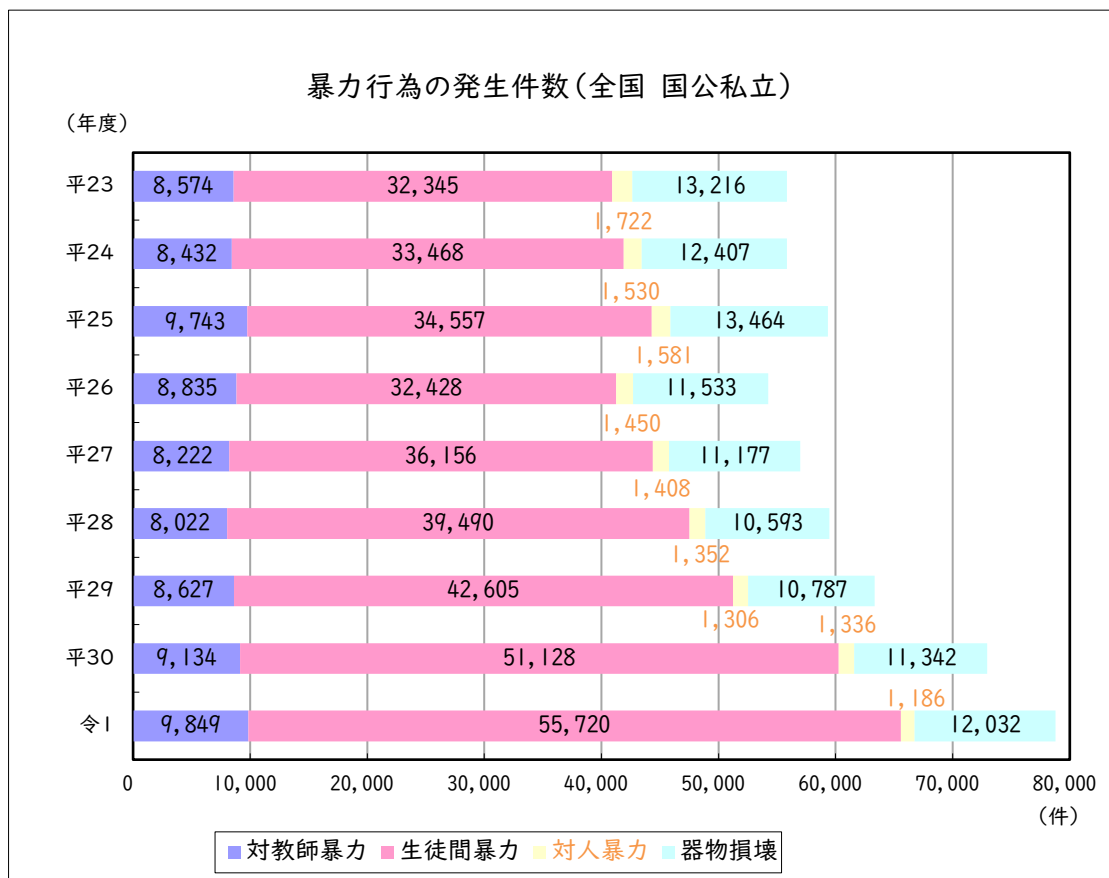
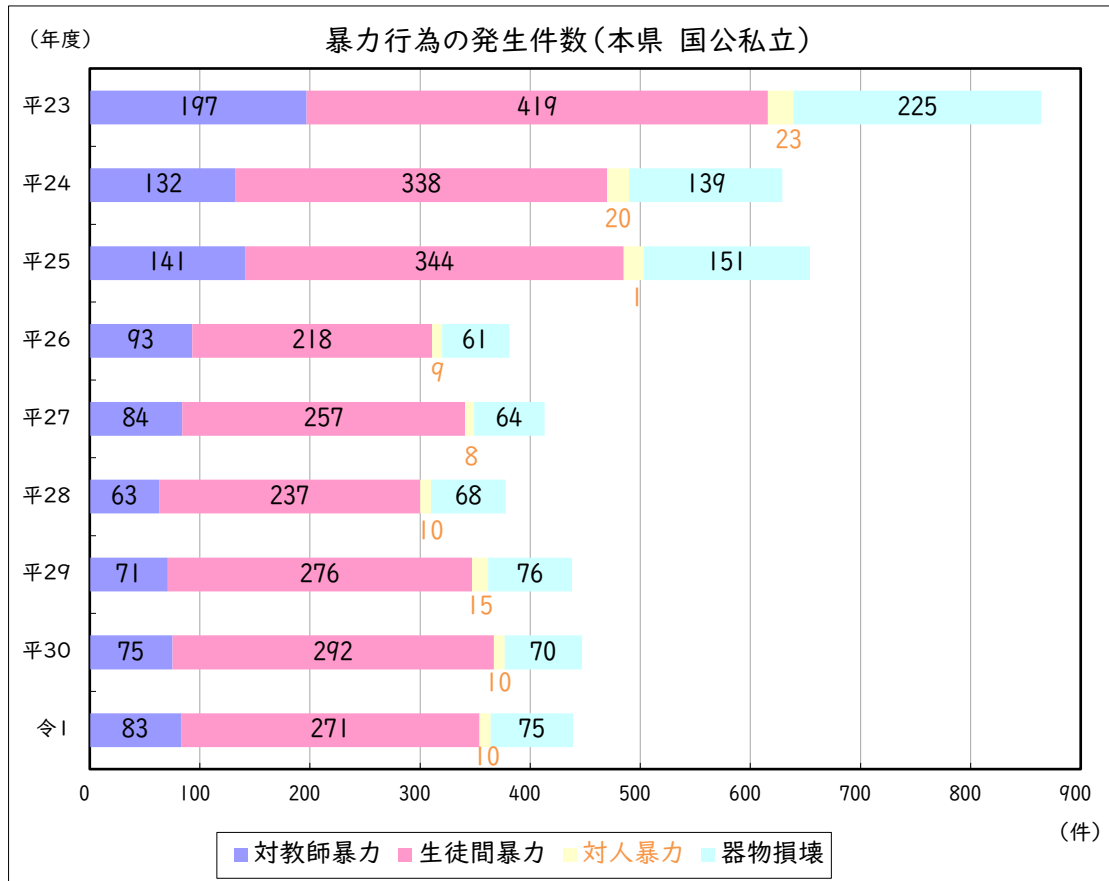


更新:R3.2 (資料)文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

※1 奈良県教育委員会調べ

7-5 暴力行為の発生件数(小学校・中学校・高等学校)

暴力行為の発生件数は、減少傾向のあと、平成26年度からはほぼ横ばいになっている。内訳としては、「生徒間暴力」が半分以上を占めている。



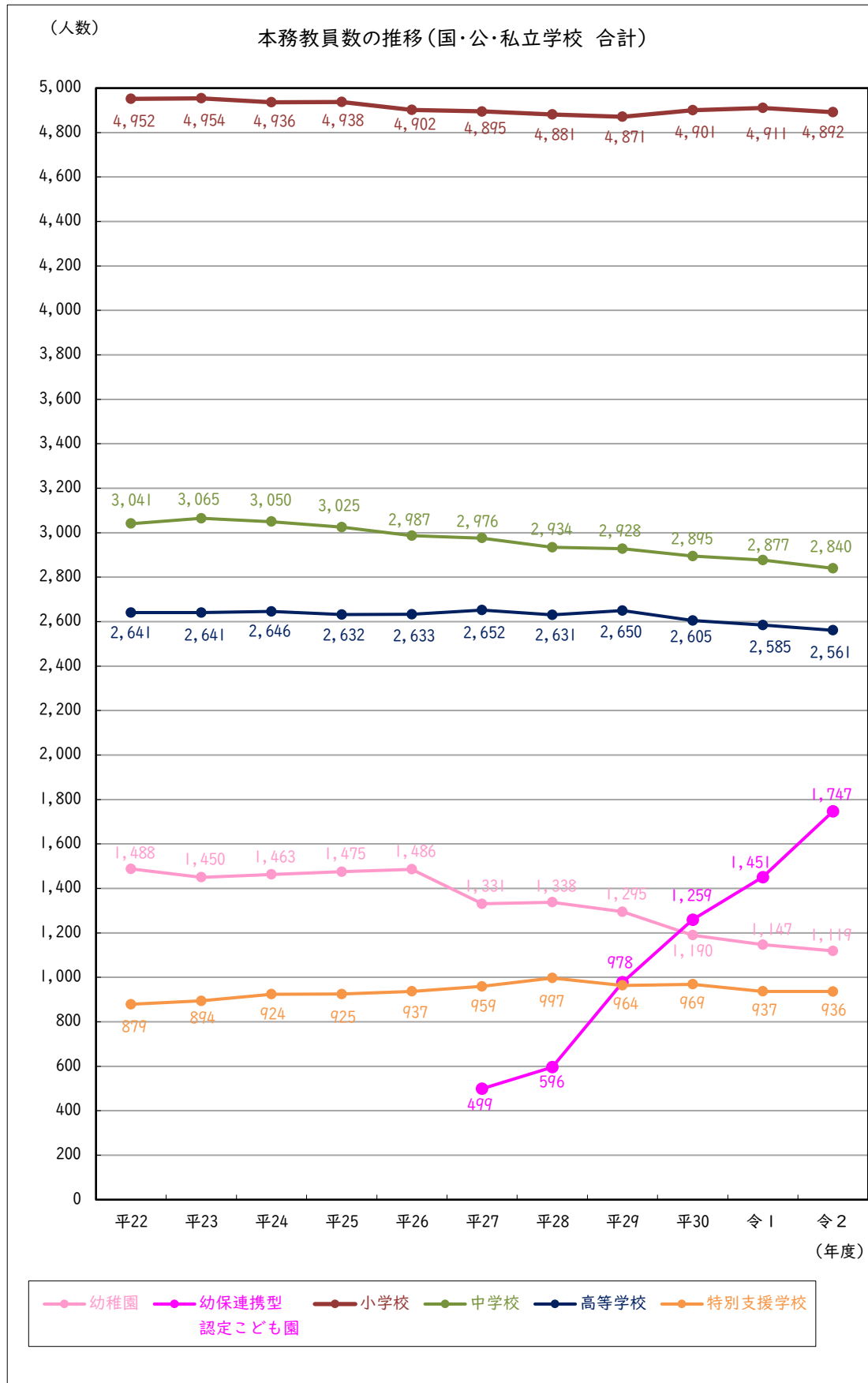
更新:R3.2

(資料)文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

8 教職員等

8-1 本務教員数の推移

本務教員数は、全体的に減少傾向にあるが、幼保連携型認定こども園は、園数の増加にともない増加している。

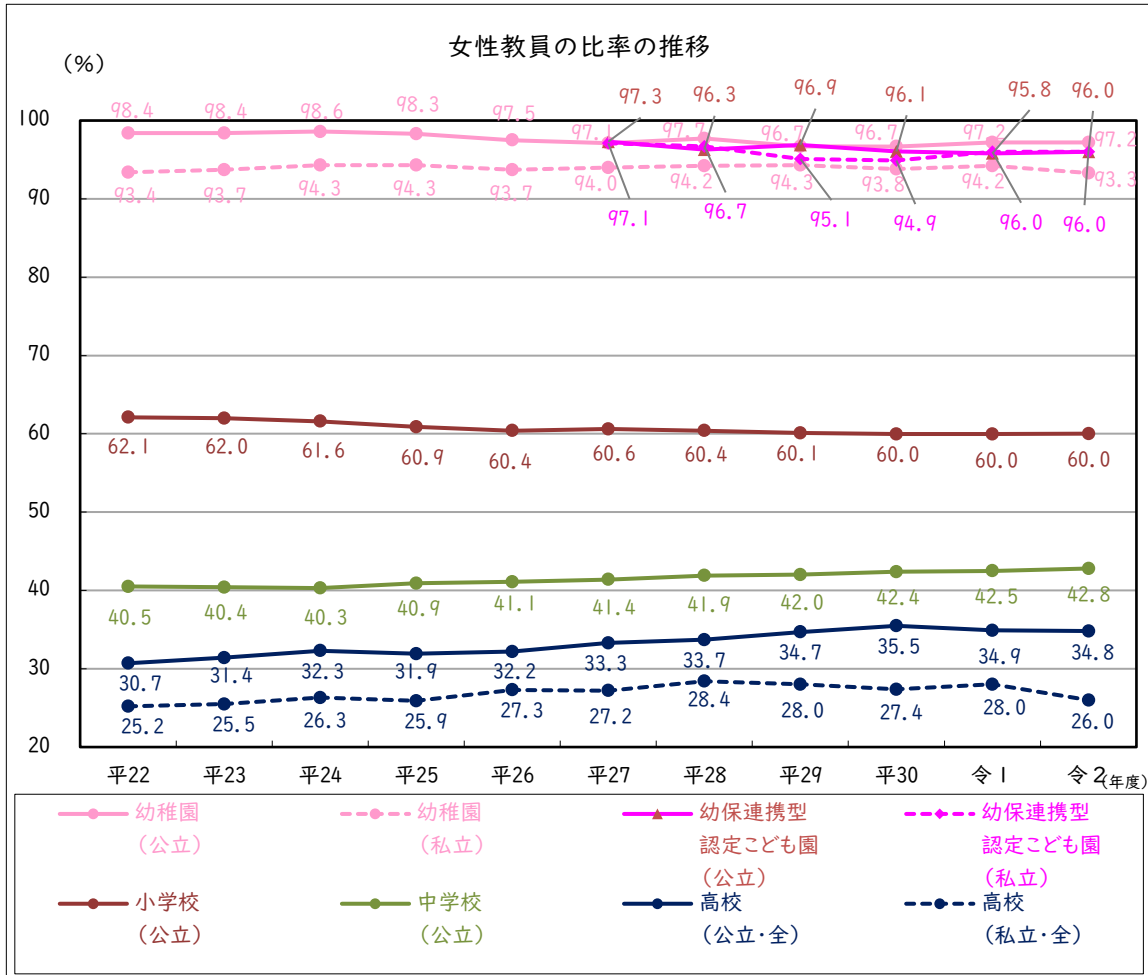


更新:R3.2

(資料)文部科学省「学校基本調査」

8-2 女性教員の比率の推移

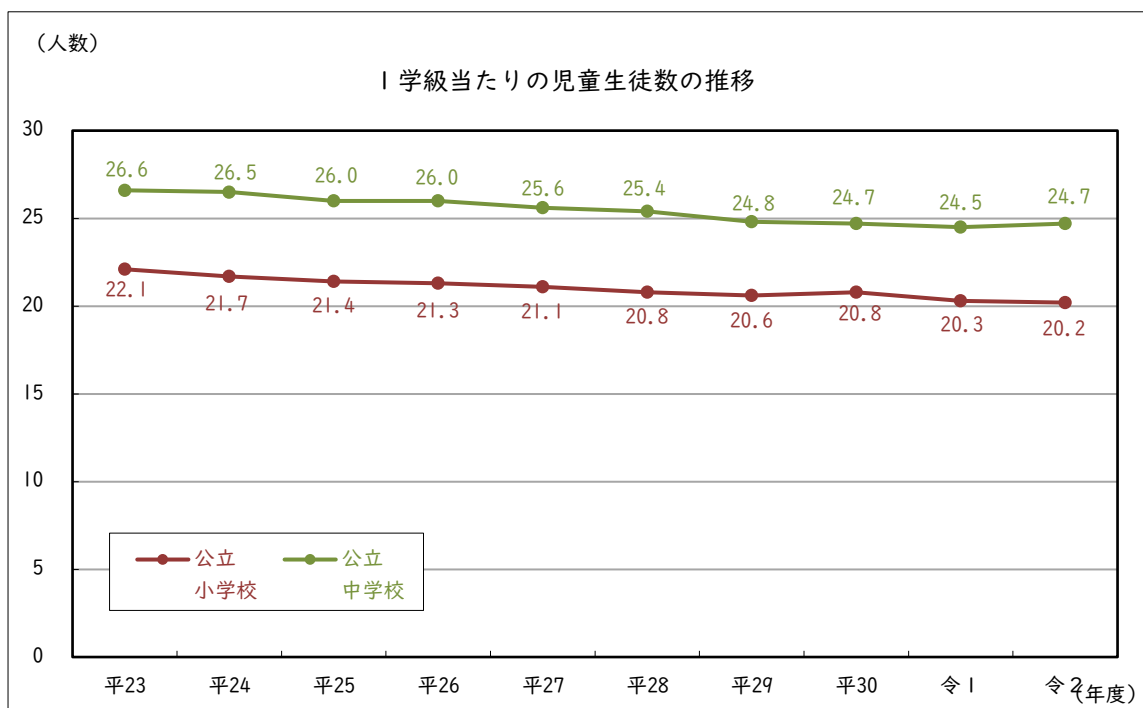
女性教員の比率は概ね横ばいで推移しており、高等学校が最も低い。



更新:R3.2

8-3 1学級当たりの児童生徒数の推移

1学級当たりの児童生徒数は、公立小・中学校とも概ね減少傾向にある。

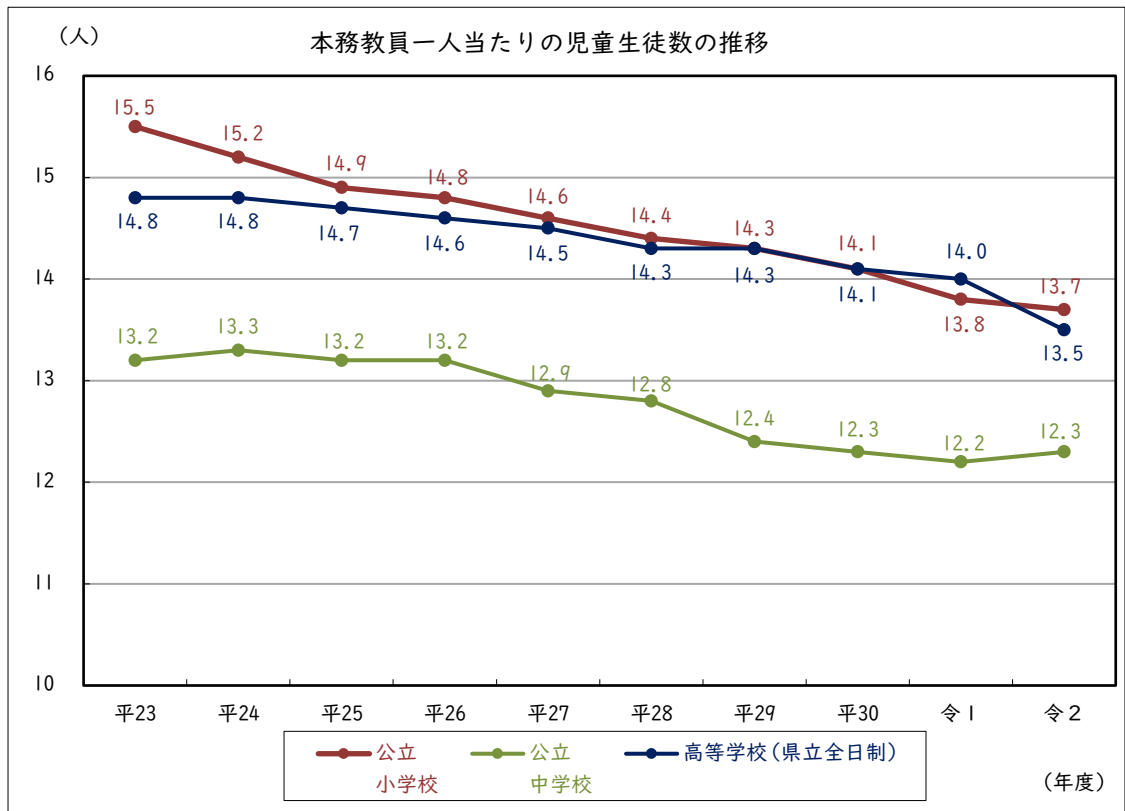


更新:R3.2

(資料)文部科学省「学校基本調査」

8-4 本務教員一人当たりの児童生徒数の推移

本務教員一人当たりの児童生徒数は、公立小学校・中学校・高等学校ともに減少傾向にある。

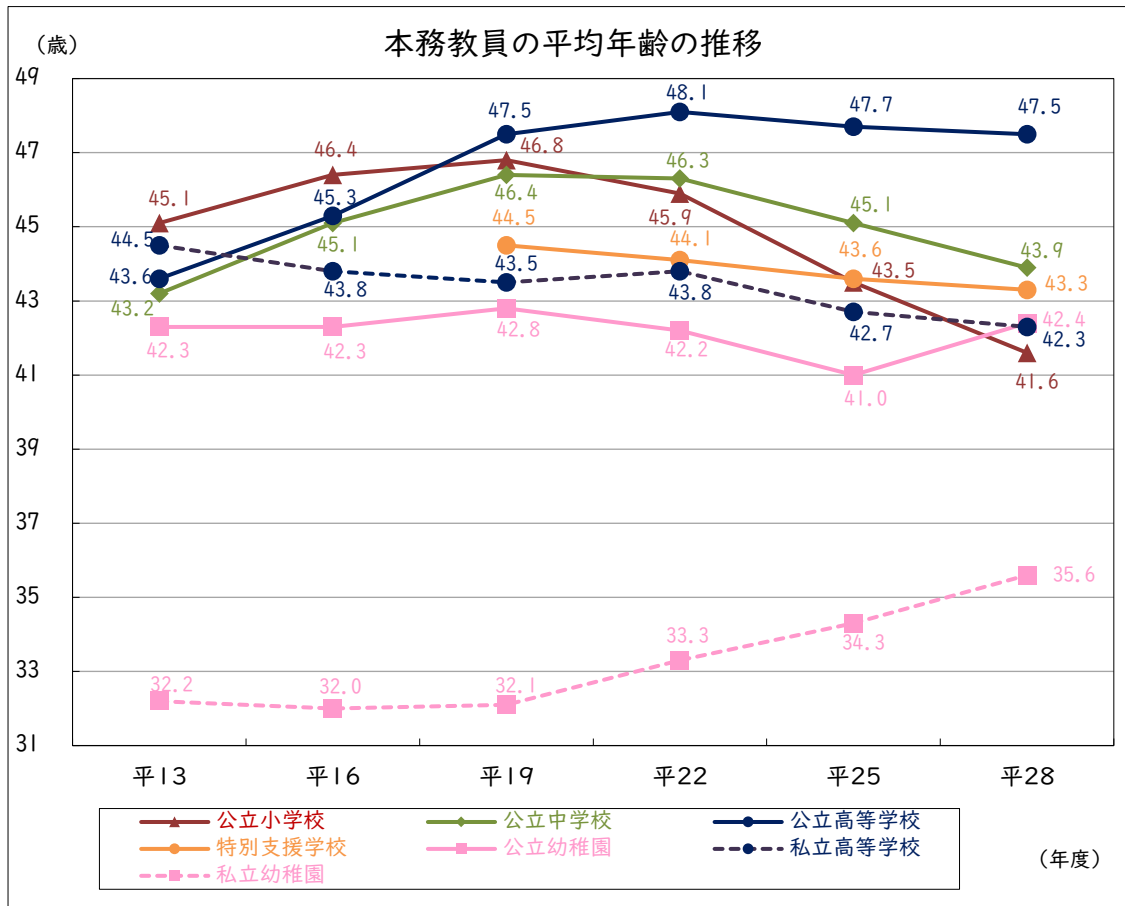


更新:R3.2

(資料)文部科学省「学校基本調査」

8-5 本務教員の平均年齢の推移

本務教員の平均年齢は、幼稚園を除き下がる傾向にある。

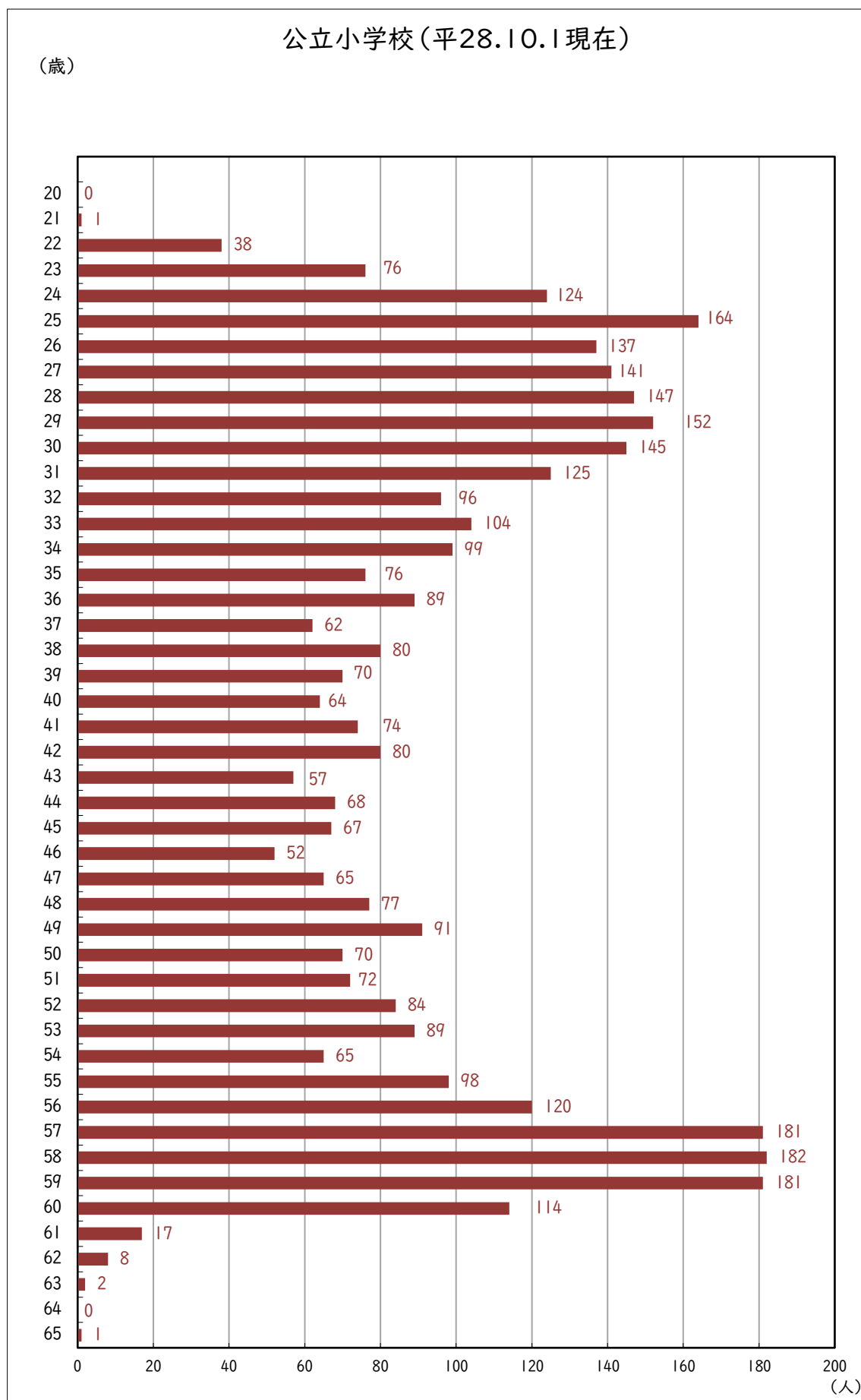


更新:H31.2

(資料)文部科学省「学校教員統計調査」

8-6 教員の年齢構成(小学校)

公立小学校の教員数は、20歳代と50歳代後半で多くなっている。

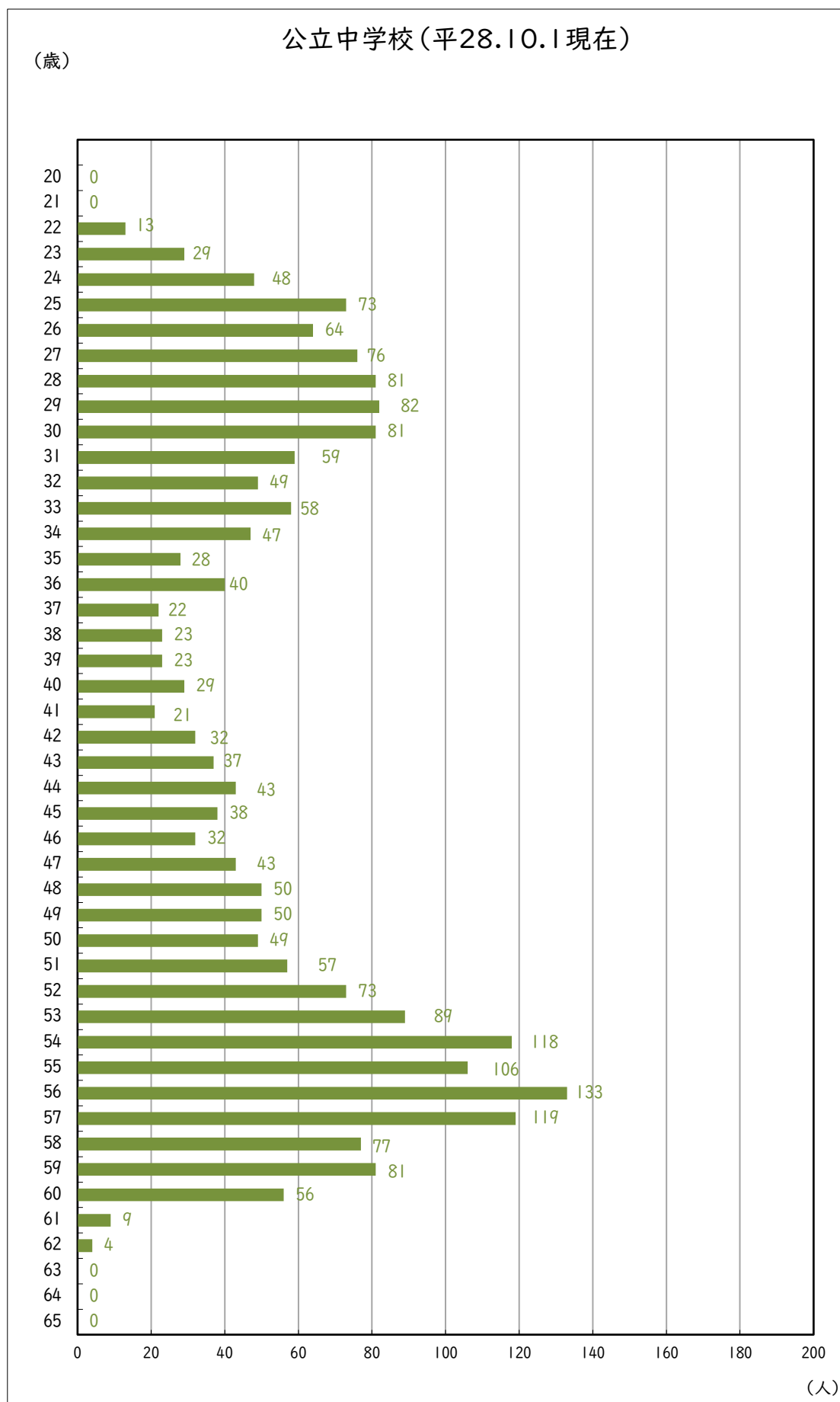


更新:H30.2

(資料)文部科学省「学校教員統計調査」

8-6 教員の年齢構成(中学校)

公立中学校の教員数は、20歳代と50歳代で多くなっている。

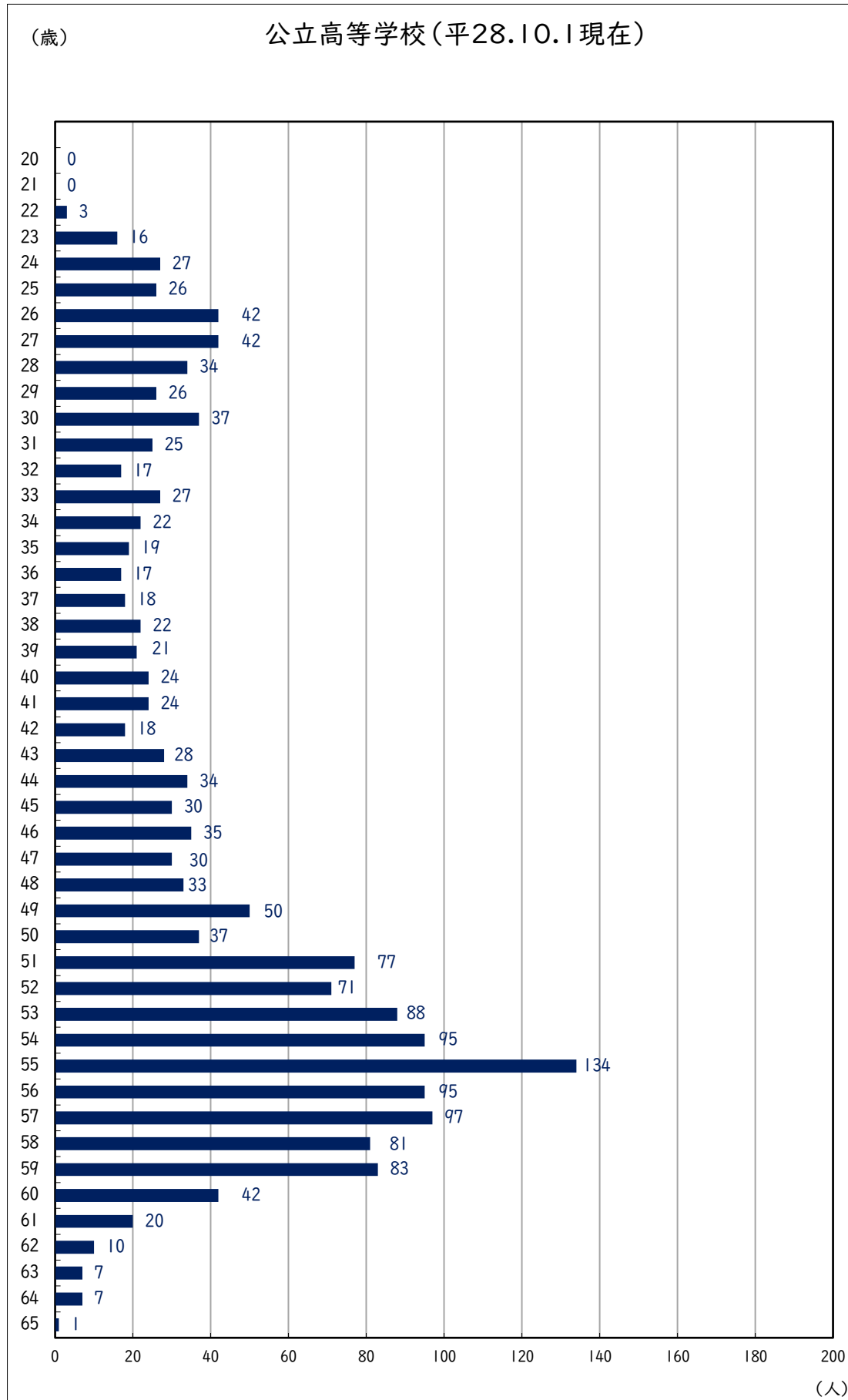


更新:H30.2

(資料)文部科学省「学校教員統計調査」

8-6 教員の年齢構成（高等学校）

公立高等学校では20歳代～40歳代の教員数が極めて少なく、50歳以上が多い。55歳の教員は、134人と最も多い。

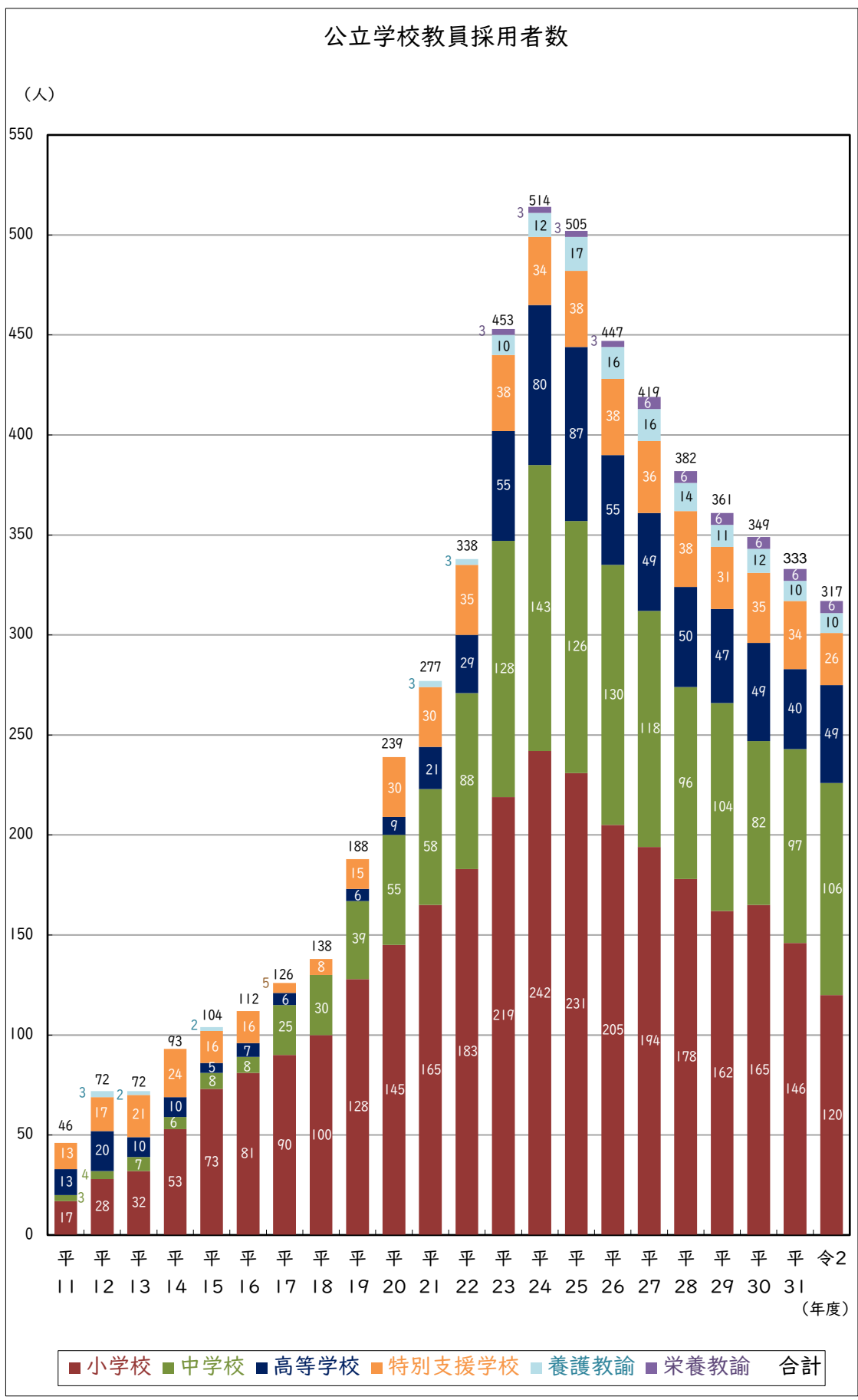


更新:H30.2

(資料)文部科学省「学校教員統計調査」

8-7 公立学校教員採用者数の推移

平成12年度から公立学校教員の採用者数は増加傾向にあったが、平成24年度をピークに減少傾向にある。

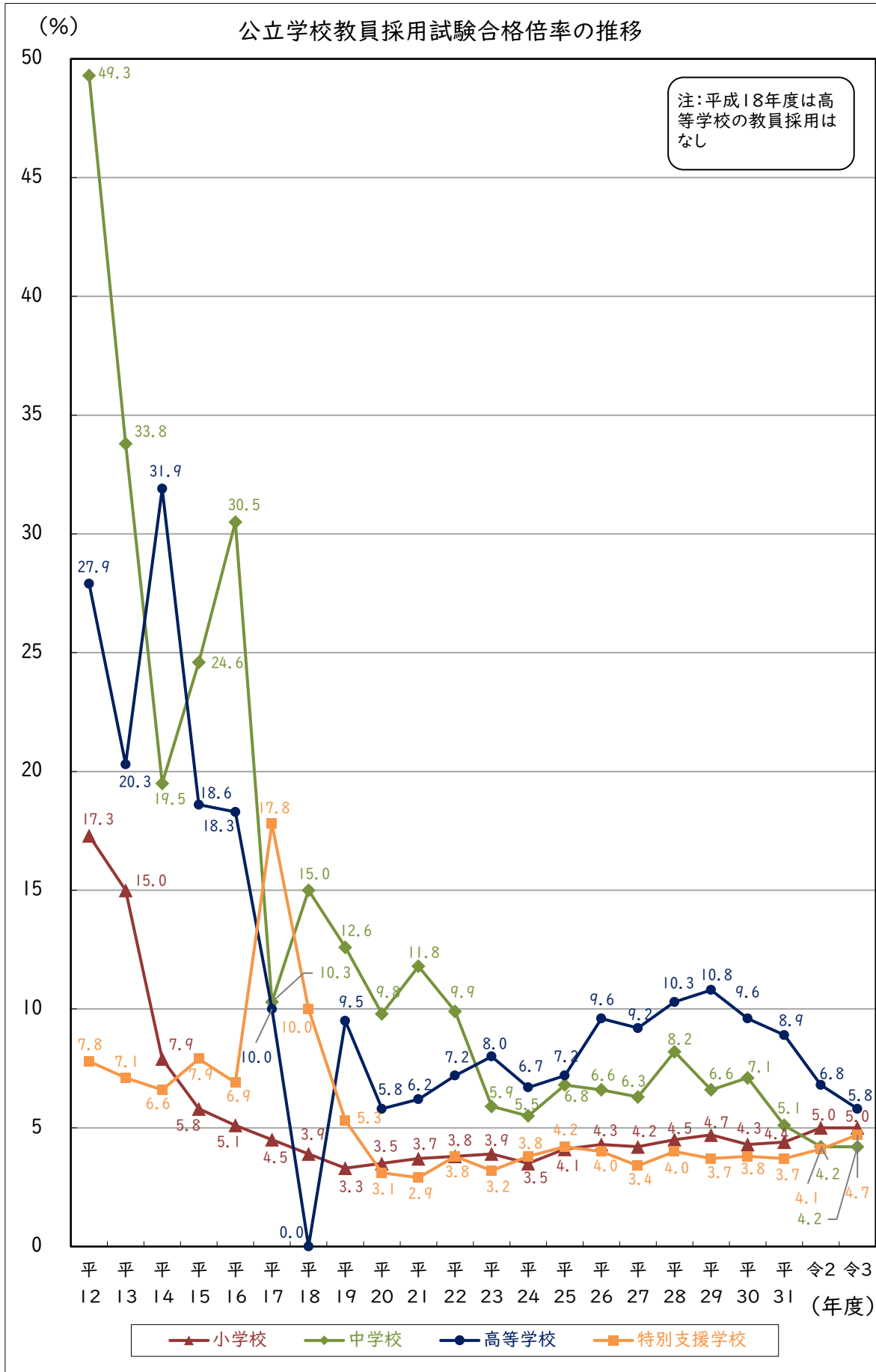


更新:R3.2

(資料) 奈良県教育委員会調べ

8-8 公立学校教員採用倍率の推移

公立学校教員採用倍率の全体平均は平成12年度から低下傾向にあったが、平成20年度以降の小学校・特別支援学校の採用倍率はゆるやかに増加傾向である。また平成28年度以降の中学校・高等学校の採用倍率は減少傾向である。

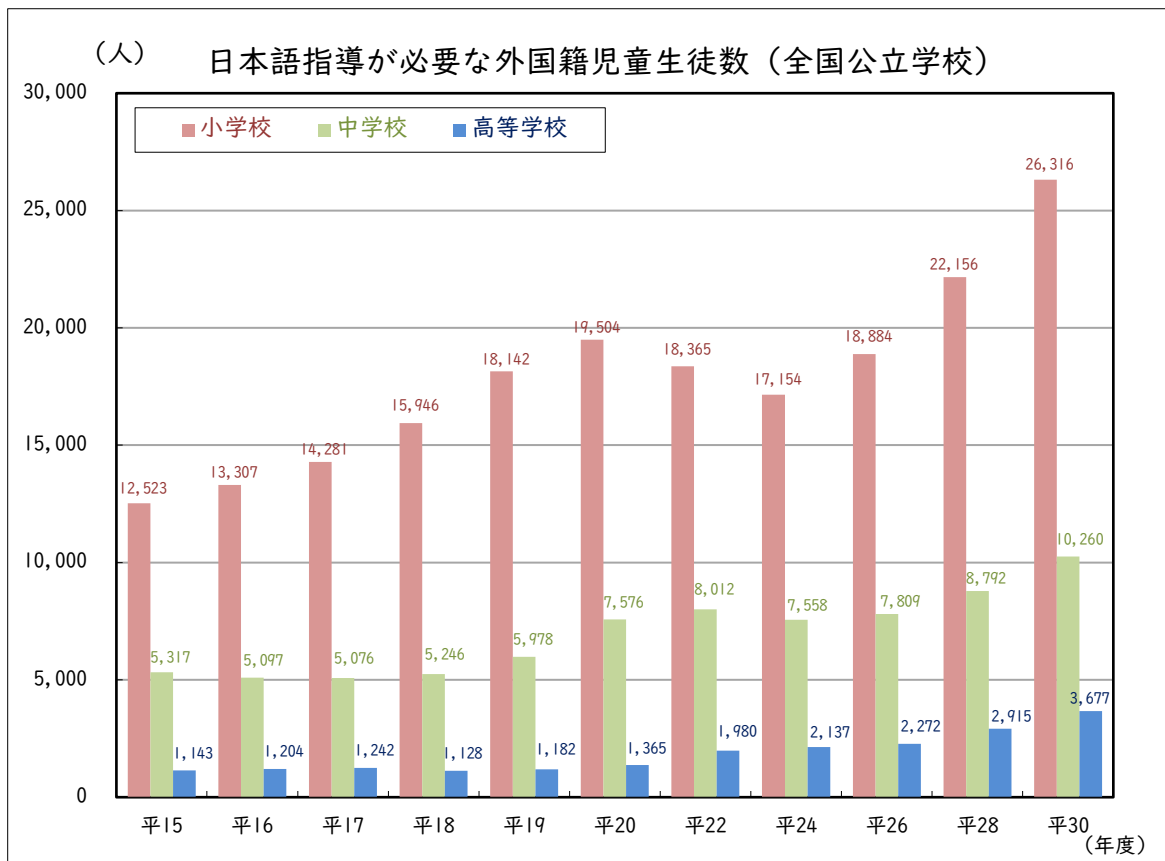
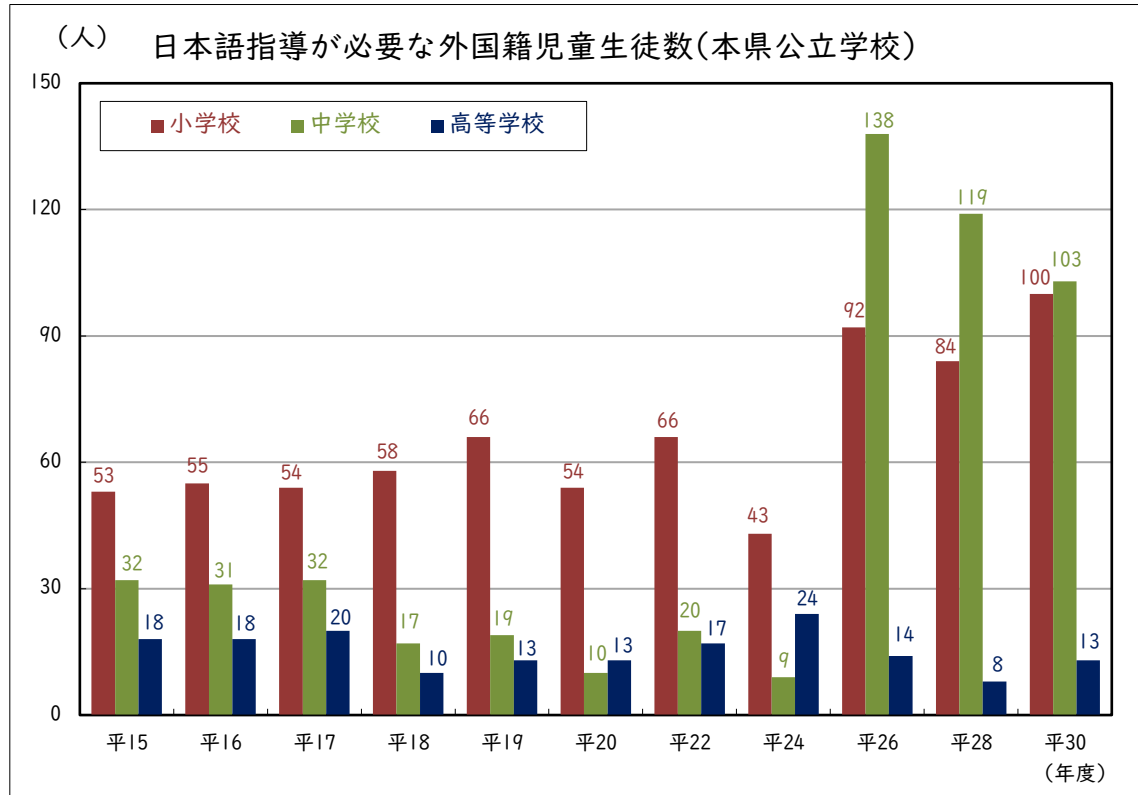


(資料) 奈良県教育委員会調べ

9 国際化

9-1 日本語指導が必要な外国籍児童生徒数

本県における小・中学校で日本語指導が必要な外国籍児童生徒数は、平成26年度より大きく増加し、100名前後である。

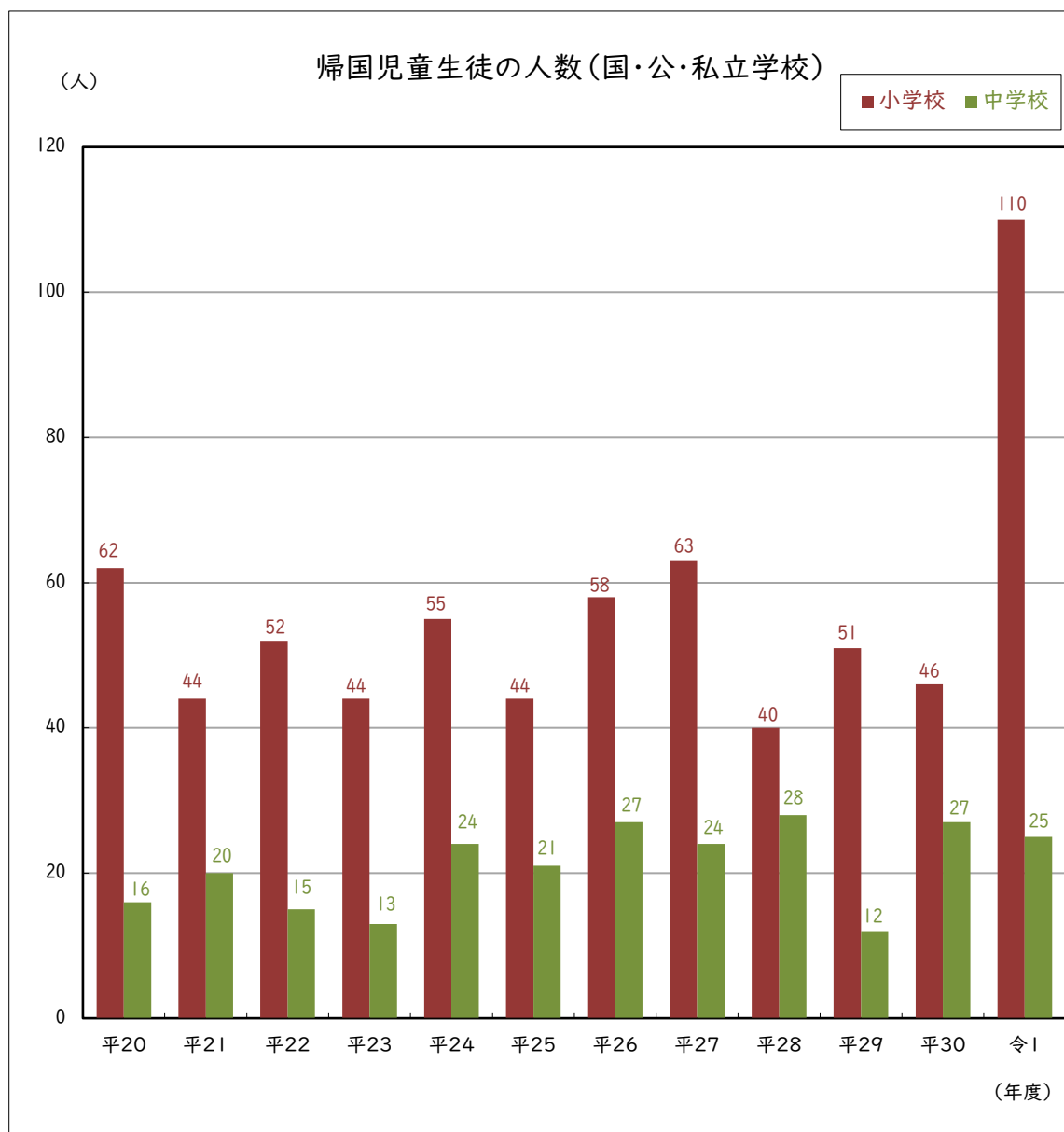


更新:R3.2

(資料)文部科学省「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査」

9-2 帰国児童生徒の人数

令和元年度間の小学校の帰国児童数は、前年に比べて大幅に増加している。

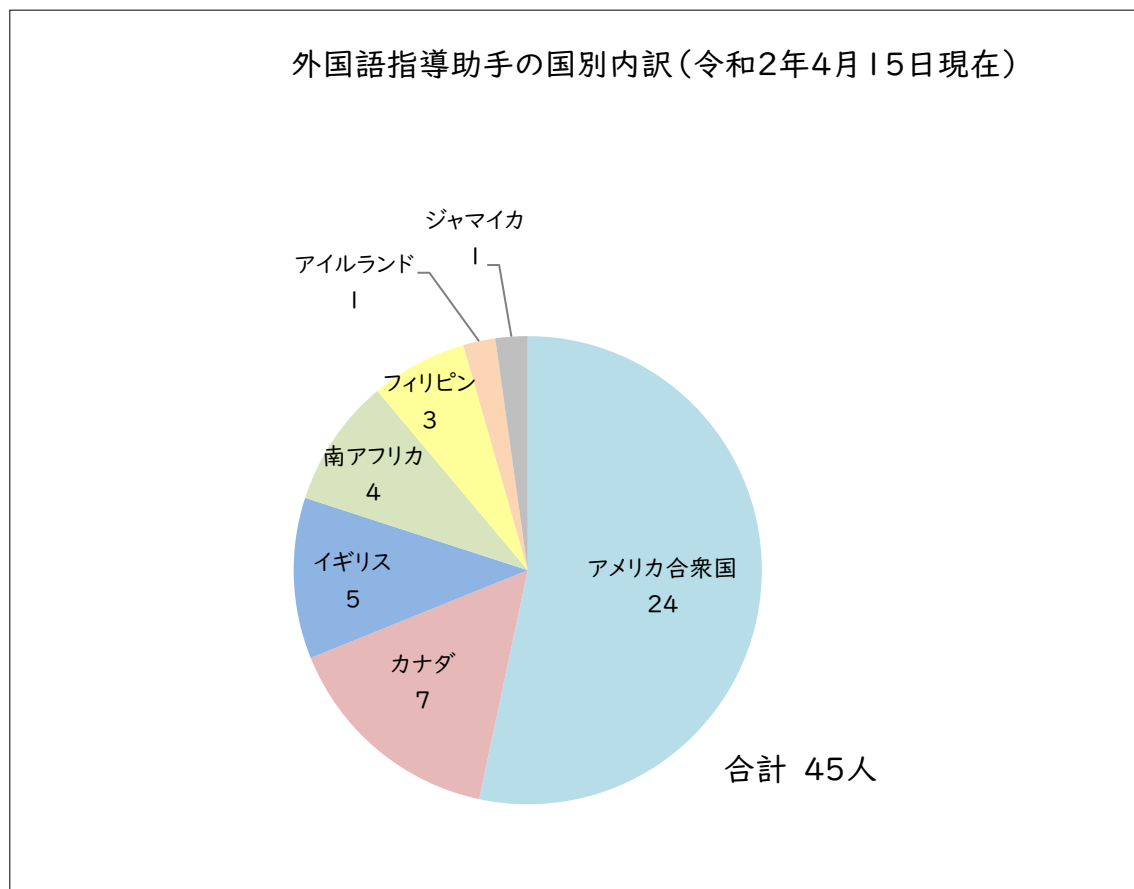
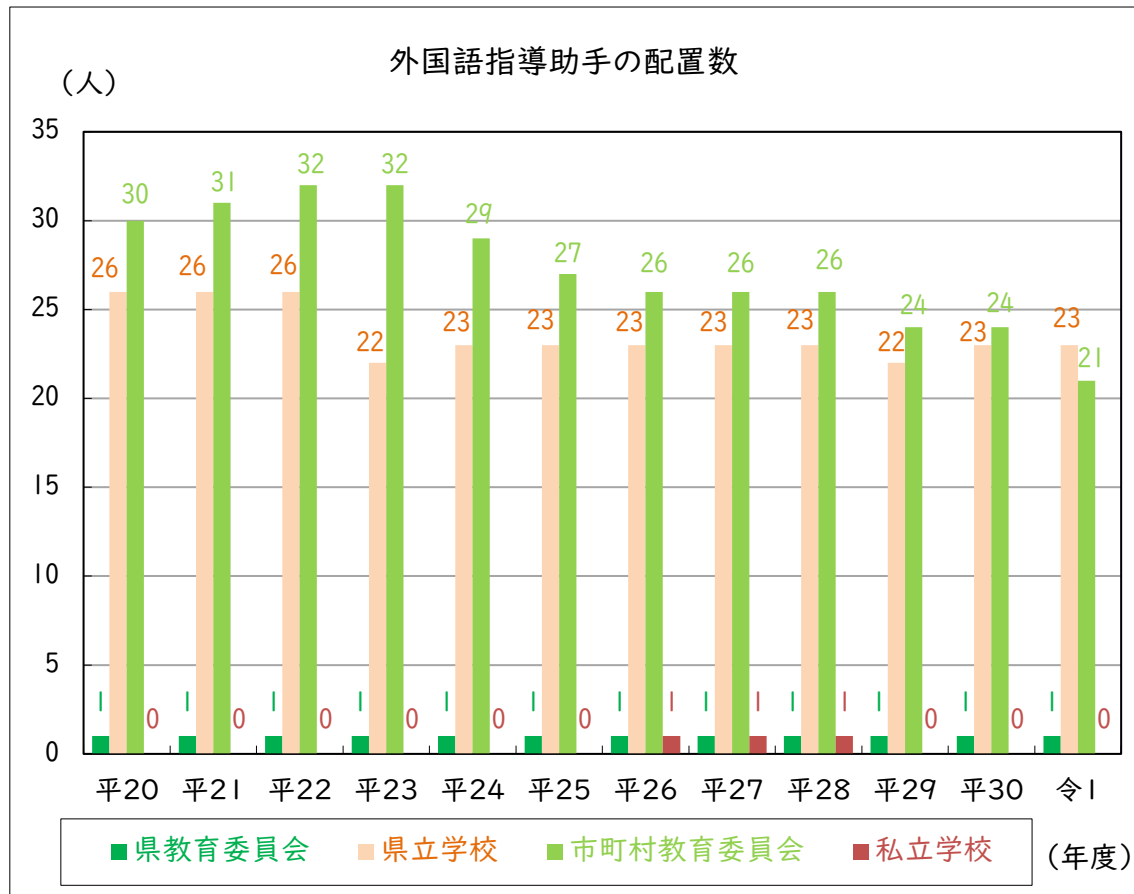


更新:R3.2

(資料) 文部科学省「学校基本調査」

9-3 外国語指導助手の配置状況

外国語指導助手の配置数は、約10年間あまり変化がない。外国語指導助手の国別内訳については、アメリカが24人と約50%を占めており、合計7か国で45人となっている。



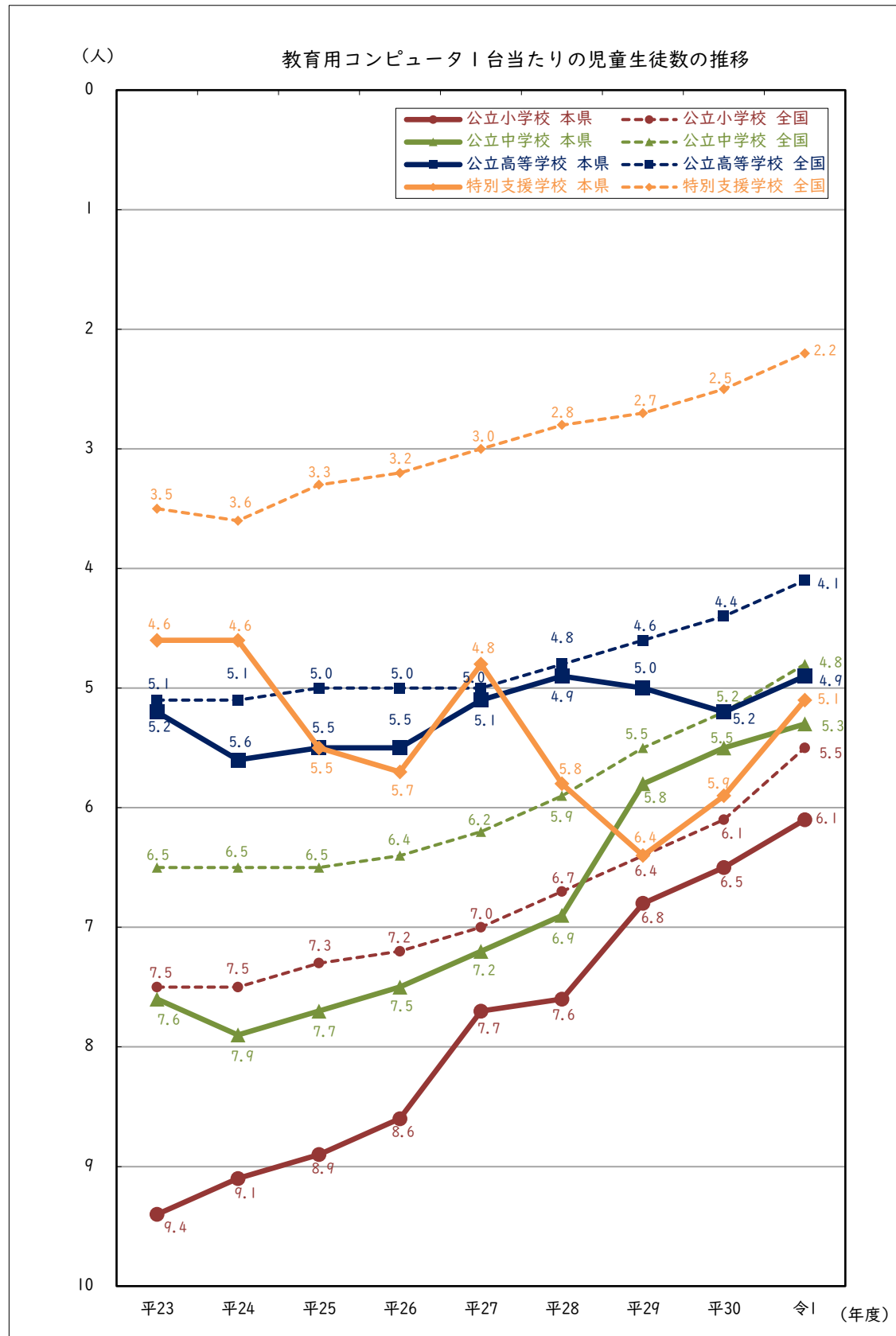
更新:R3.2

(資料) 奈良県教育委員会「奈良県の教育」

10 情報化

10-1 教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数の推移

コンピュータ1台当たりの児童生徒数は、全ての校種で全国平均より多い。

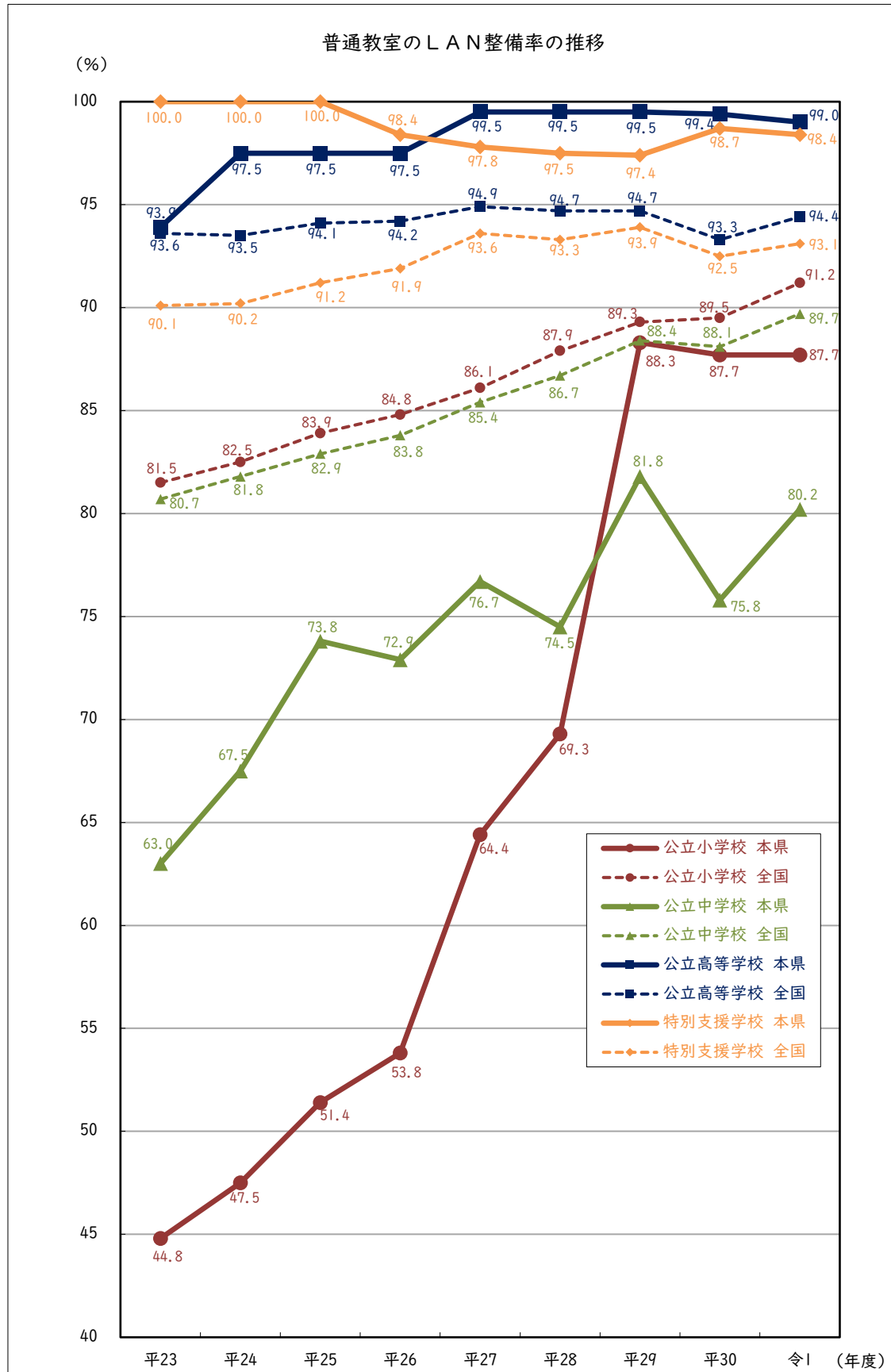


更新:R3.2

(資料) 文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」

10-2 普通教室のLAN整備率の推移

普通教室のLAN整備率は、県立高等学校と特別支援学校で全国平均を上回っている。

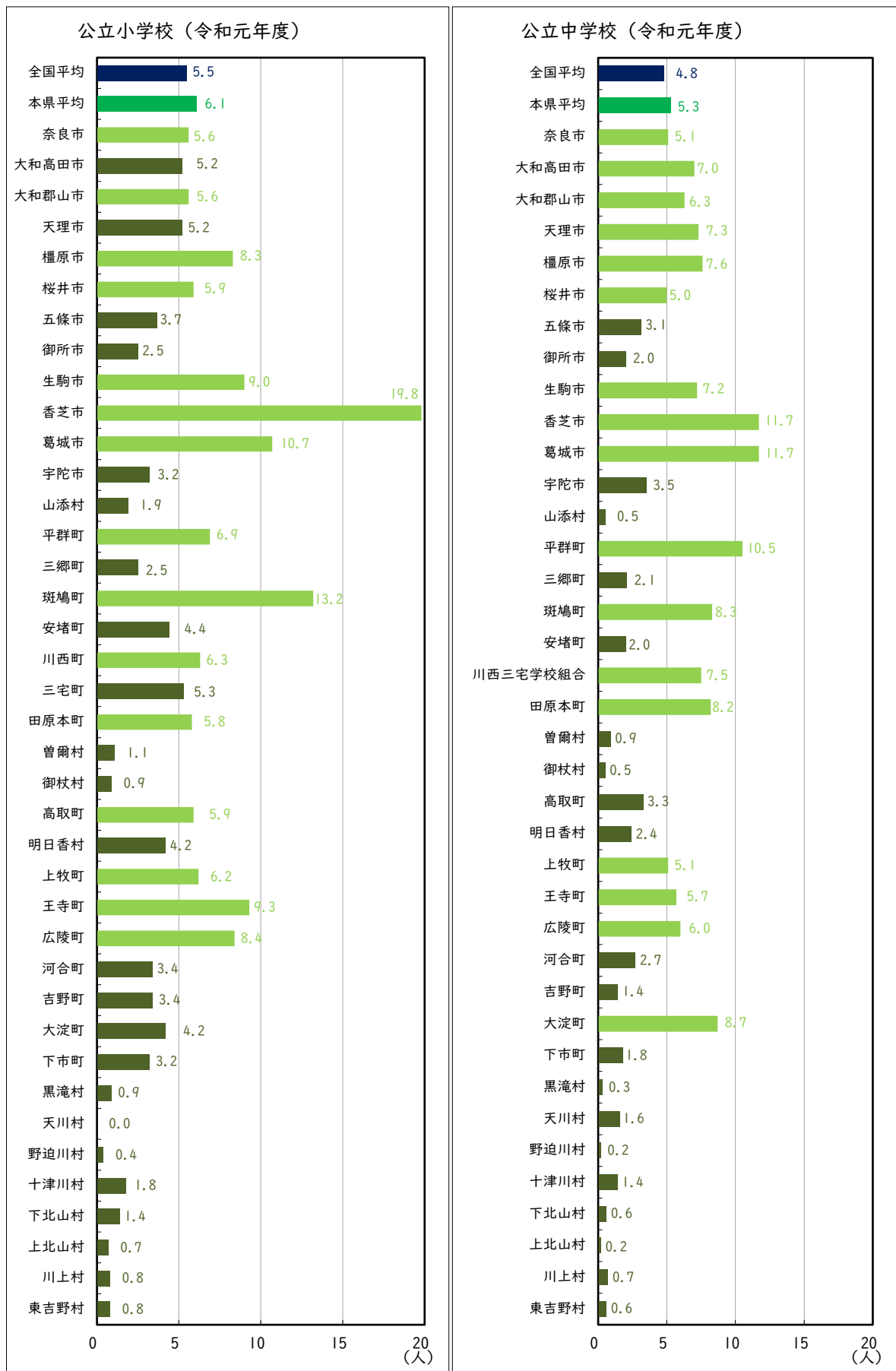


更新：R3.2

(資料) 文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」

10-3 教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数 (県内市町村別)

コンピュータ1台当たりの児童生徒数が全国平均より多い市町村は、公立小学校では15あり、公立中学校では17ある。



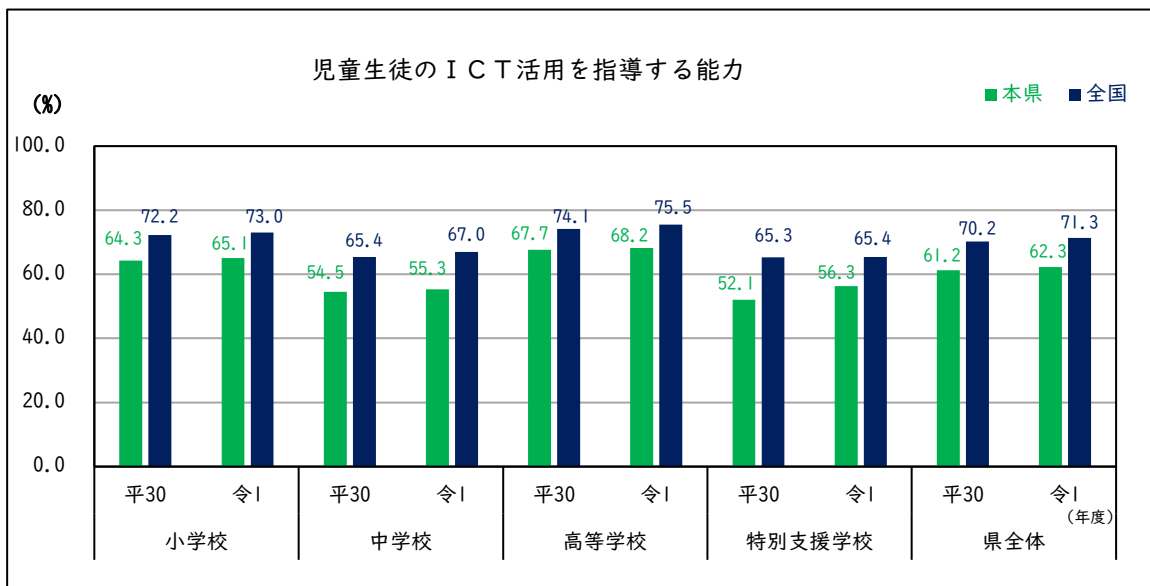
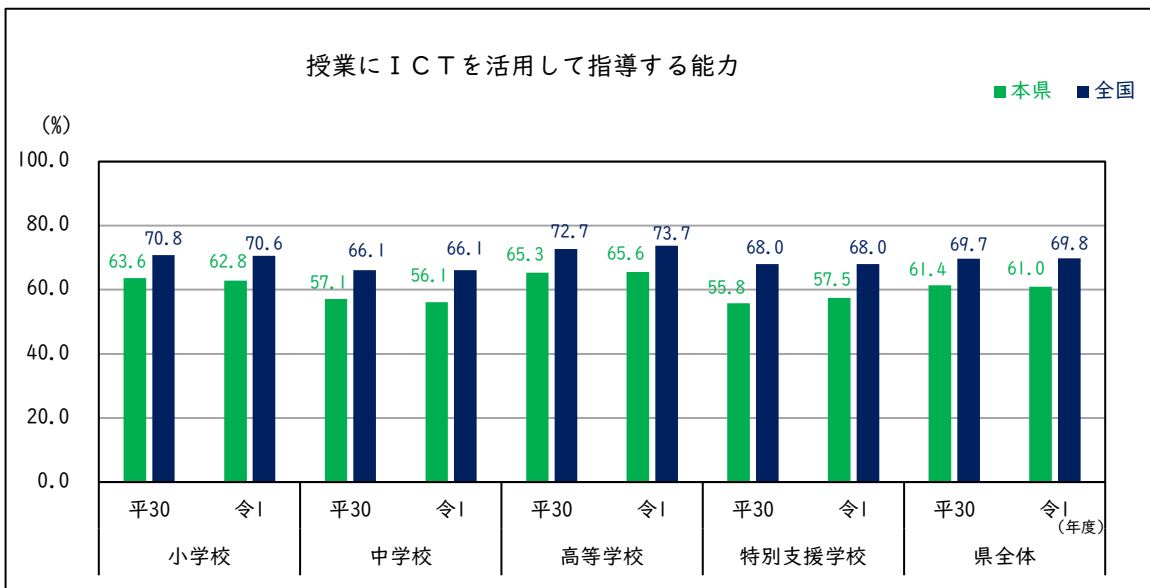
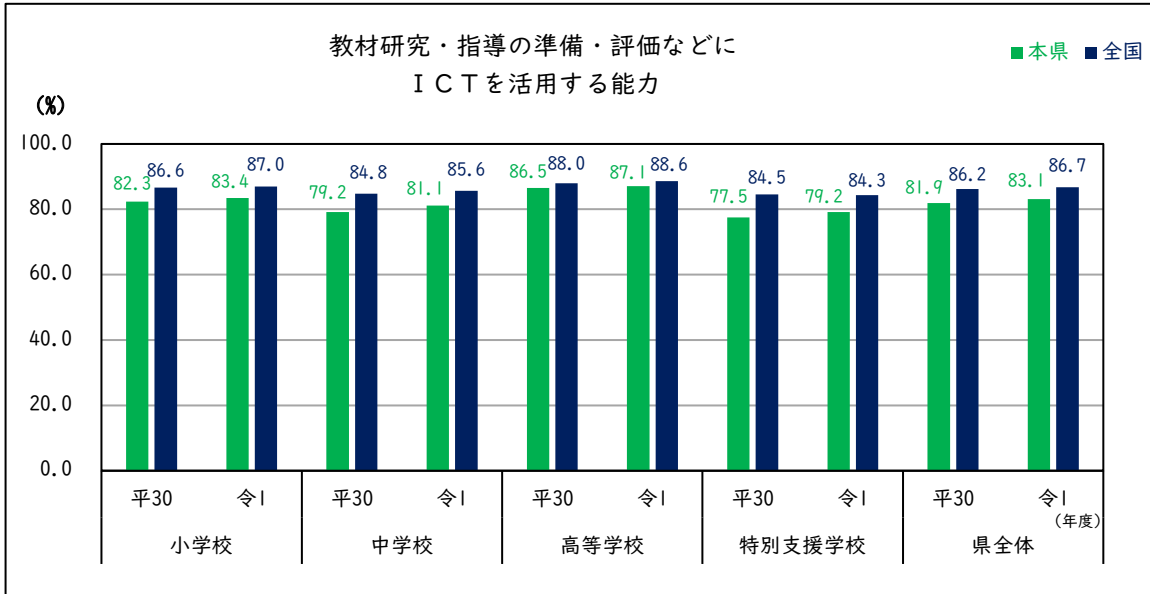
更新:R3.2

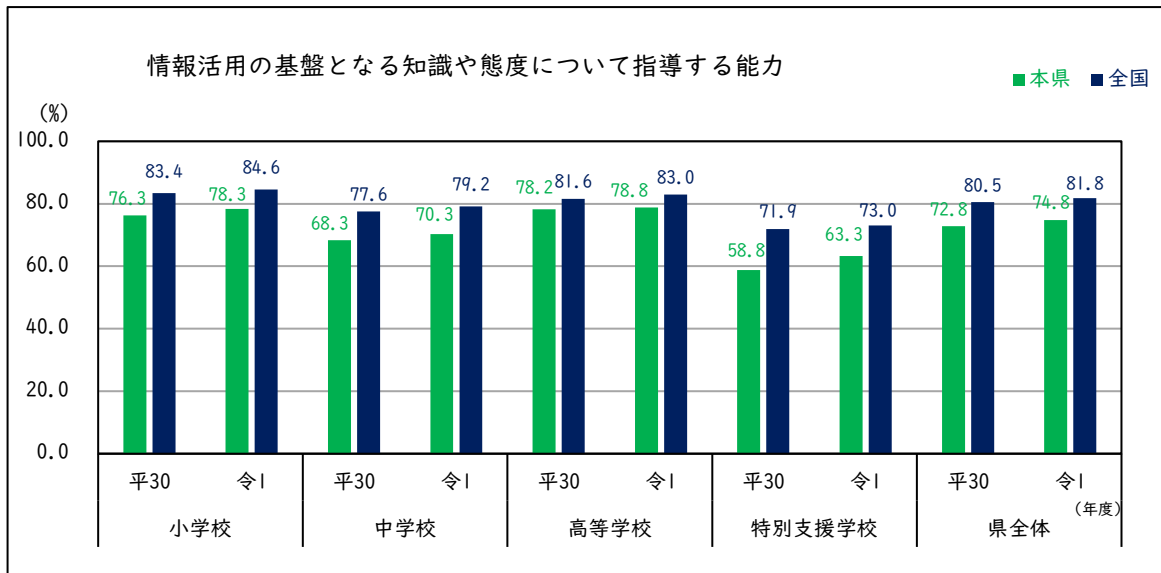
(資料) 文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」

10-4 教員のICT活用指導力の状況(公立学校)

教員のICT活用指導力の状況は、全ての項目で全国平均を下回っている。

「わりにできる」「ややできる」と回答した教員の割合(%)





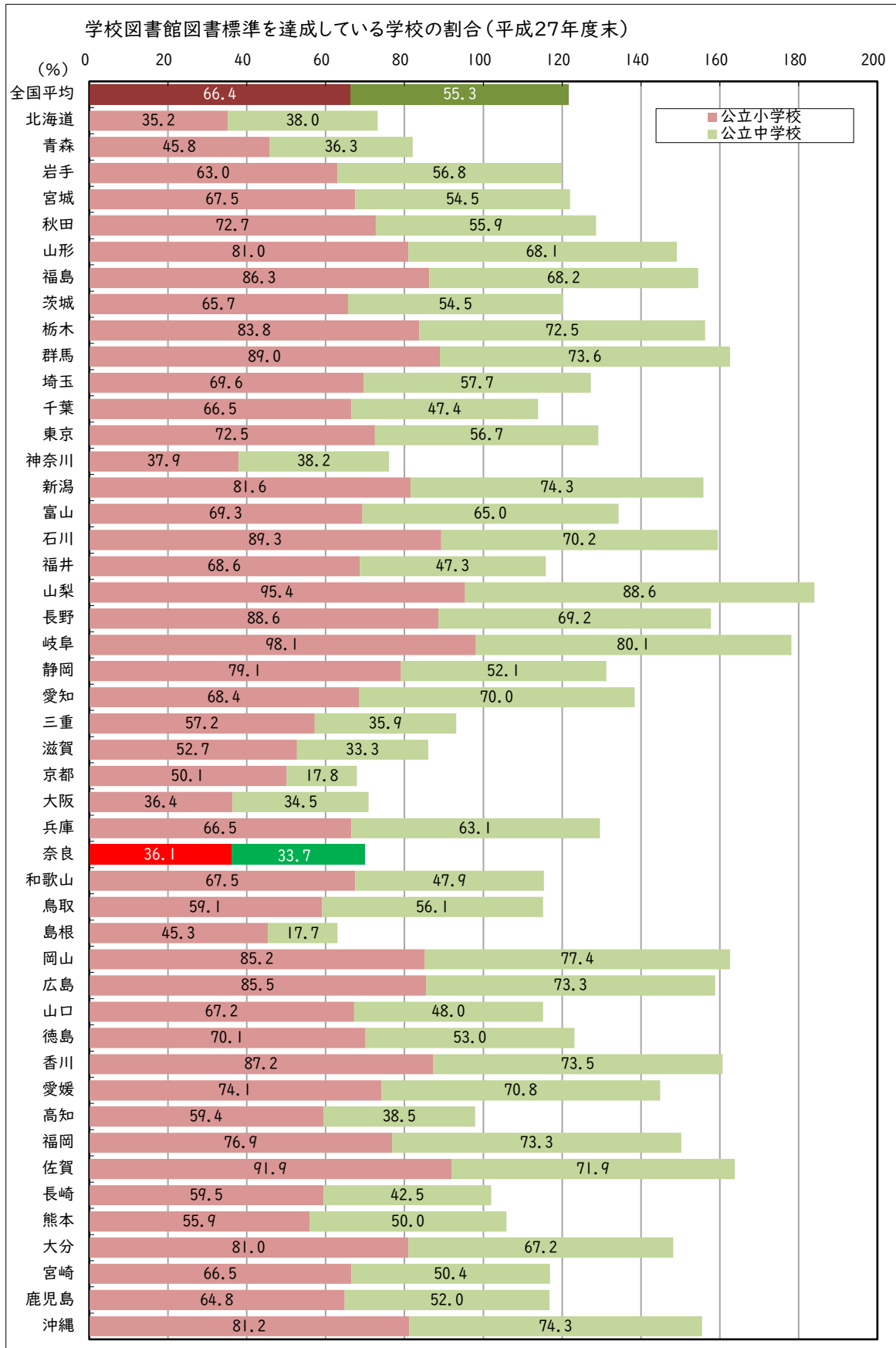
更新:R3.2

(資料) 文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」

11 その他

11-1 図書標準の達成状況(全国)

奈良県の公立小学校と公立中学校の図書標準の達成状況は、どちらも全国平均を大きく下回っており、それぞれ全国で46番目と44番目である。



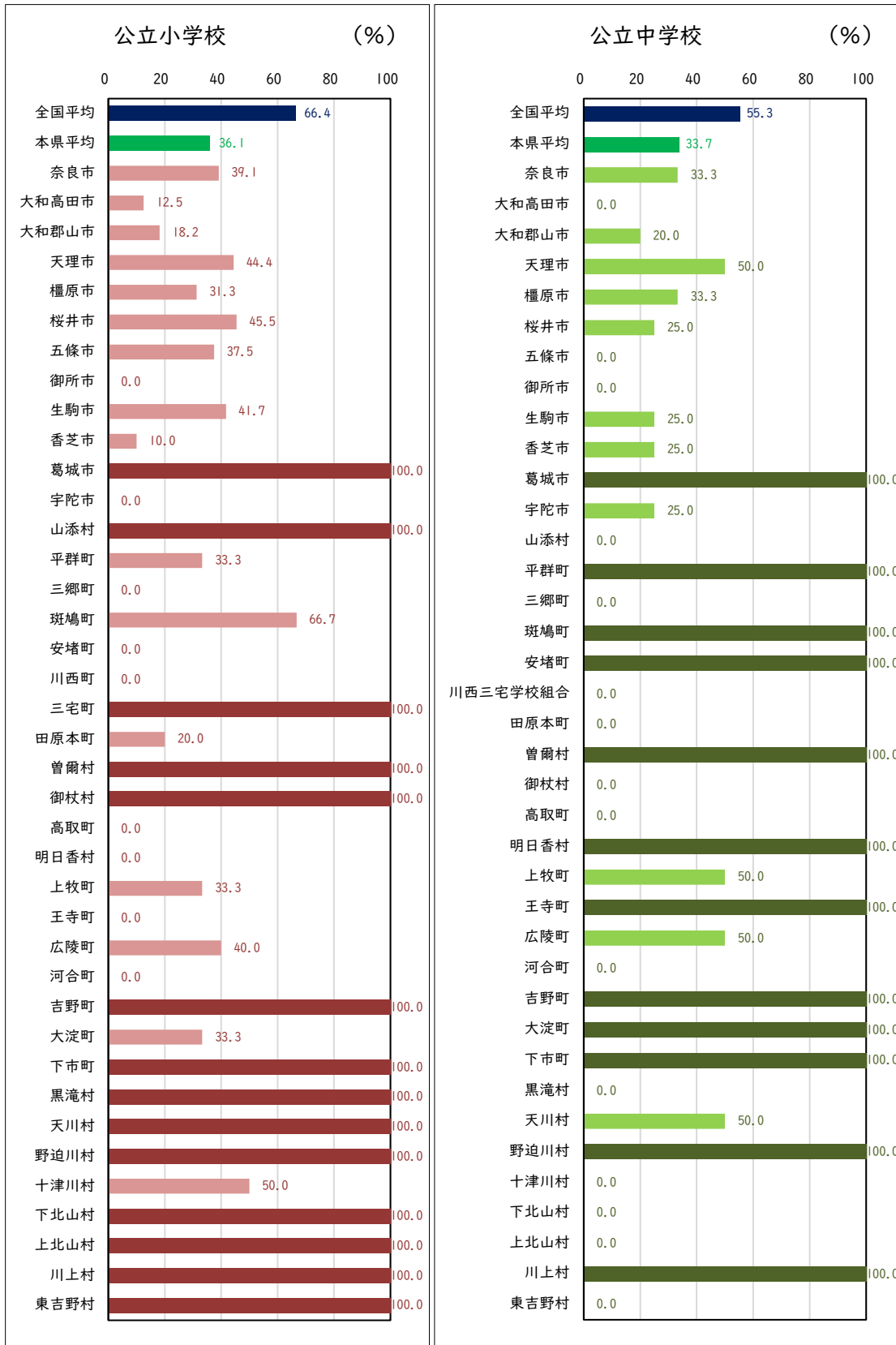
更新:H29.1

(資料)文部科学省「学校図書館の現状に関する調査」

11-2 図書標準の達成状況(県内市町村別)

公立小学校では14市町村が図書標準達成率100%であり、9市町村が0%である。公立中学校では12市町村が図書標準達成率100%であり、15市町村が0%である。

学校図書館図書標準を達成している学校数が、全学校数に占める割合(平成28年度)



更新:H29.1

(資料)文部科学省「学校図書館の現状に関する調査」